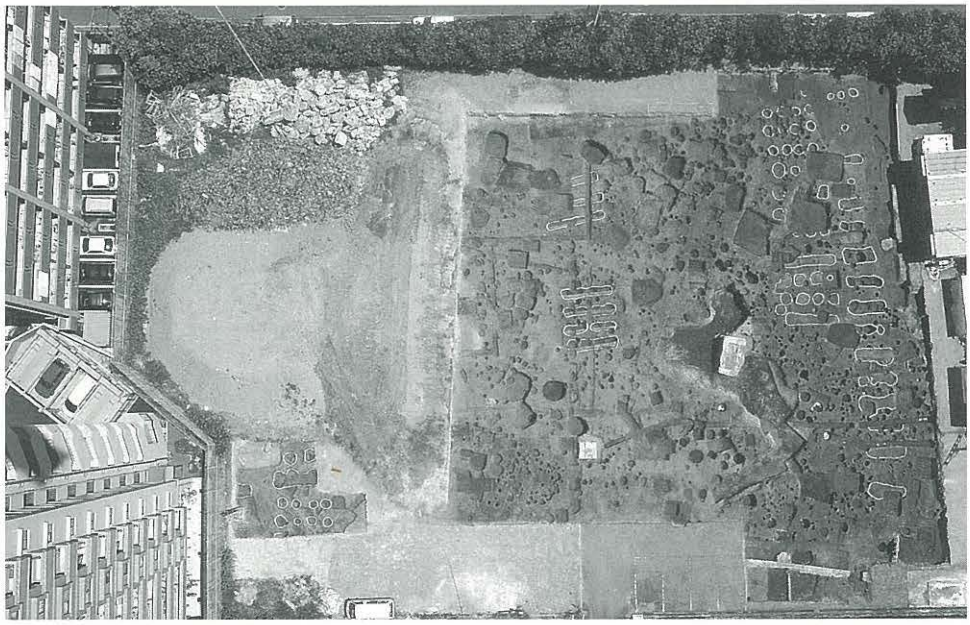
福岡市埋蔵文化財年報
Vol. 15

－平成12(2000)年度版－



2002

福岡市教育委員会

序

福岡市においては、文化財保護法の趣旨に基づき、埋蔵文化財の適切な保存と活用を図ることを目的として、公共及び民間の各種開発事業の事前審査、記録保存のための緊急調査、重要遺跡確認調査等を実施しております。

平成12年度は、ここ数年来の長引く不況下で開発事業の相対的な減少傾向があったものの、道路や下水道整備等の都市基盤整備を中心とした公共事業や、民間の専用住宅建設等の小規模な開発事業に起因する事前審査及び緊急調査の実施件数はほぼ例年どおりでした。これは、埋蔵文化財の周知化が進むとともに、開発関係各位の文化財保護に対するご理解が深められつつある状況を示していると思われます。

本書は、平成12年度における埋蔵文化財保護行政の概要報告です。本書が文化財保護のより一層のご理解の一助となり、また学術資料として活用いただければ幸いです。

平成14年３月28日
福岡市教育委員会
教育長　生田　征生

例 言

・本書は、埋蔵文化財課が平成12年度に実施した各種開発事業に伴う事前審査と発掘調査の概要及び本報告、ならびに新指定文化財の概要について収録したものである。
・本書に記載ある報告のうち、調査番号0013・0024・0035・0046・0059の調査はこの年報をもって、本報告とする。その他については別途、本報告書が刊行される予定または、既刊済であり、刊行予定年度については各報告の文末に記載している。
・Ⅱ．3）各調査の概要及び調査報告は各調査担当者が分担執筆した。その他については田中壽夫が執筆した。
・本書は田中壽夫が編集した。

目　次

頁
Ⅰ．開発事前審査 …… 1
　1）平成12年度の概要 …… 1
　2）試掘調査一覧 …… 2
Ⅱ．発掘調査の概要 ……14
　1）平成12年度の概要 ……14
　2）発掘調査一覧 ……16
　3）各調査の概要及び調査報告 ……19
Ⅲ．平成12年度の新指定文化財 ……86
附　平成12年度刊行報告書一覧 ……89
平成12年度調査遺跡索引 ……90

平成12年度文化財部の組織と事務分掌

- 文化財部
  - 埋蔵文化財課
    - 調査第1係：課の庶務及び西部地区（早良・城南・西区内）の開発事業に係る埋蔵文化財発掘調査
      - （主任文化財主事）
    - 調査第2係：国庫補助事業及び東部地区（東・博多・中央・南区内）の開発事業に係る埋蔵文化財発掘調査
      - （主任文化財主事）
    - 事前審査係：公共及び民間開発事業に係る埋蔵文化財の事前審査
      - （主任文化財主事）
  - 課長（大規模事業等担当）
    - 主査：大規模事業に係る埋蔵文化財の発掘調査
  - 文化財整備課
    - 管理係：部の総括、課の庶務・経理及び文化財指定、管理
    - 整備係：史跡の保存・整備
    - 主査：文化財調査等
  - 課長（鴻臚館跡調査担当）
    - 主査：鴻臚館跡調査
  - 埋蔵文化財センター
    - 管理係：施設の管理・運営
    - （主任文化財主事）：埋蔵文化財関係資料の調査・保存・整理・教育普及

埋蔵文化財所管各課の職員構成

●埋蔵文化財課長　山崎純男
調査第1係長　山口譲治
主任文化財主事　横山邦嗣　米倉秀紀
係員(文化財主事)　常松幹雄　池田祐司　屋山　洋　久住猛雄
星野恵美　藏富士寛　阿部泰之
調査第2係長　力武卓治
主任文化財主事　山崎龍雄　杉山富雄
係員(文化財主事)　佐藤一郎　長家　伸　榎本義嗣
田上勇一郎　井上繭子　本田浩二郎　上角智希
事前審査係長　田中壽夫
主任文化財主事　大庭康時
係員(文化財主事)　瀧本正志　大塚紀宜　加藤隆也
●課長（大規模事業等担当）二宮忠司
主査　松村道博
係員(文化財主事)　吉留秀敏　菅波正人　松浦一之介
●埋蔵文化財センター所長　折尾学
運営係長　村上敏文
係員　矢野昌治
主任文化財主事　濱石哲也
係員(文化財主事)　加藤良彦　比佐陽一郎

Ⅰ．開発事前審査

土木工事等の各種開発事業に係る埋蔵文化財の取り扱いについては、福岡市文化財分布地図を基本資料とし、これまでの発掘調査及び試掘調査等の成果を参考にしながら、書類審査・現地踏査・試掘調査等を実施し、開発事業計画地における埋蔵文化財の有無を確認した上で、保存に係わる協議等を行っている。

公共事業については、関係機関・部局に次年度予定の事業計画の照会を行い、市域内で実施予定の公共事業計画を全般的に把握し、埋蔵文化財の保存上問題になると判断される事業についてはその取り扱いについて協議を求めている。民間の開発事業については、都市計画法に基づく1,000㎡以上の開発事業、建築基準法に基づく建築事業等を対象として事前協議を求めている。また、開発業者や、不動産取引関係者、一般市民等の分布地図閲覧や埋蔵文化財に係る計画策定段階での照会にも窓口で応じ、埋蔵文化財の保存上の措置について必要な指示を行っている。

1）平成12年度の概要

平成12年度の公共及び民間開発事業等に伴う事前審査申請件数は、公共事業1179（72）件、民間事業1104（63）件の計2283（135）件であった（()は過年度内数。以下同じ）。また、事前審査窓口における埋蔵文化財の有無に係わる照会等は3597件であった。事業別では、新規受付件数で見ると公共事業が昨年度（872件）と比較して26.9%増加、民間事業は１.04%増えている。

全市的にはここ数年の傾向として、都心部の博多区及び西部地区に申請件数が偏る傾向がある。各区別にみると、博多区の450件が最も多く、西区の381件、次に東区が371件となる。東区は公共事業が昨年に比較し48%増加している。博多区は21.9%の増加となっている。いずれも下水道敷設等の公共事業の増加によるものである。西区は昨年度とほぼ同じである。

事前審査の内訳をみると、申請件数の44.1%にあたる1007件は埋蔵文化財包蔵地外である。事審件数2283件のうち試掘を要すと判断されたのは、384件で、うち308件について実施した。書類審査及び試掘調査等の結果、開発により保存上問題があり、本格的な調査が必要と判断されたのは76件である。その他については慎重工事、工事立会で対処した。

なお、窓口における照会は3597件で、昨年度と比較し27%の増加である。不動産売買取引に伴う事前照会がここ数年来多くなっており、周知化が進むにつれその傾向が今後さらに高まっていくものと思われる。

表１．事前審査件数の推移　（12年度新規受付件数）

	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度
公　共	478	560	561	566	674	872	1,107
民　間	640	739	899	689	636	1,001	1,041
合　計	1,118	1,299	1,460	1,255	1,310	1,873	2,148

表２.試掘調査内訳

内　訳		件　数	12年度	過年度
要試掘	実施後判断済	305	249	56
	実施後協議中	3	3	0
	未　実　施	76	69	7
	計	384	321	63

表３．平成12年度　公共及び民間開発事業事前審査総括表

区	事業種別	審査種別（書類審査・現地踏査・試掘調査）で見た判断指示の結果																			
		開発同意			慎重工事			工事立会			要本調査			審査継続（協議）中	重複申請	計画取り下げ	処理保留	区及び事業別審査受付合計			窓口照会件数合計
		書類	踏査	試掘	書類	踏査	試掘	書類（要立会）	踏査	試掘	書類	踏査	試掘					件数小計	12年度分合計	過年度受付分	
東　区	公共	173	0	3	7	0	3	0	0	0	1	0	5	1	0	0	32	225	371	(16)	491
	民間	36	2	6	106	5	17	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	177		(15)	
南　区	公共	124	0	0	15	2	4	0	0	0	5	0	0	2	0	0	21	173	279	(6)	539
	民間	12	3	0	61	4	18	2	2	2	2	0	4	4	0	2	3	119		(7)	
博多区	公共	124	0	1	19	2	8	3	0	0	6	0	5	5	0	0	34	207	450	(14)	768
	民間	39	0	7	90	5	61	16	0	8	8	0	9	14	0	3	10	270		(13)	
中央区	公共	117	0	0	2	0	2	2	0	0	0	0	0	2	0	0	6	131	156	(2)	563
	民間	12	1	2	10	0	7	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	37		(10)	
城南区	公共	68	0	0	3	1	4	0	0	0	1	0	0	1	0	0	12	90	159	(9)	268
	民間	5	1	1	40	7	10	5	3	0	4	0	3	3	0	2	0	84		(6)	
早良区	公共	77	0	0	17	0	6	1	0	1	1	0	2	7	0	0	3	115	352	(12)	524
	民間	28	1	3	111	12	40	5	1	2	2	0	9	3	0	1	34	252		(3)	
西　区	公共	131	1	3	20	5	6	5	0	0	3	0	2	4	0	0	58	238	381	(13)	337
	民間	21	1	4	80	11	31	3	3	2	1	0	1	0	1	0	6	165		(9)	
小　計	公共	814	1	7	83	10	33	11	0	1	17	0	14	22	0	0	166	1179	2,148	(72)	(不明)
	民間	153	9	23	498	44	184	34	9	14	17	0	29	28	1	8	53	1104		(63)	77
合　計		967	10	30	581	54	217	45	9	15	34	0	43	50	1	8	219	2283		(135)	3597

2）試掘一覧

①東区

区別番号	調査番号	受付番号 年度		番号	受付日	申請者	申請地	開発予定面積（㎡）	民間：開発の概要 公共：事業名	分布 地図	遺跡 番号	遺跡名 遺跡	次数	試掘調査実施日	試掘報告番号	試掘結果	審査結果 判断・指示
1		11	1	276	00.04.14	市都市整備局	東区千早４丁目～香椎駅前２丁目	9,000.0	立体交差事業	17	—	包蔵地外	—	2000／４／26	12－051	遺構なし	開発同意
2		11	1	277	00.05.23	市環境局	東区蒲田５丁目	28,000.0	施設拡充	1	—	包蔵地外	—	2001／２／20		遺構なし	開発同意
3		11	1	748	00.01.13	市都市整備局	東区香椎駅前１丁目他	206,507.0	区画整理事業	17・18	0116	元寇防塁推定線上	—	2000／８／30	12－285	遺構なし	開発同意
4		11	2	836	00.01.31	会社法人	東区三苫６丁目1246－１	1,115.0	戸建住宅	28	0108	三苫遺跡群	—	2000／４／11	12－007	遺構なし	開発同意
5		12	2	80	00.04.25	宗教法人	東区馬出４丁目248－１		元寇防塁の確認	34	0116	元寇防塁隣接	—	2000／５／23	12－045	遺構なし	開発同意
6		12	2	99	00.05.09	会社法人	東区香椎３丁目909他	3,850.0	戸建て・共同住宅	17	—	包蔵地外	—	2000／５／11	12－035	遺跡なし	開発同意
7		12	2	299	00.07.24	個人	東区和白４丁目1609－19・20	1,230.8	共同住宅建築	29	0114	梅ヶ崎遺跡	—	2000／８／17	12－107	遺構・遺物なし	開発同意
8		12	2	368	00.08.11	会社法人	東区香椎２丁目743他５筆	4,319.0	共同住宅	17	—	包蔵地外	—	2000／10／17	12－164	遺構・遺物なし	開発同意
9		12	2	589	00.10.20	会社法人	東区和白丘１丁目174他12筆	15,464.5	未定	14	—	包蔵地外	—	2000／11／16	12－187	遺構・遺物なし	開発同意
10		10	1	117	00.05.01	市教育委員会	東区勝馬1587－１	427.4	公民館建設	96	474	勝馬遺跡群	—	2000／６／７	12－058	遺構なし	慎重工事
11		12	1	652	00.10.13	市土木局道路建設部	東区和白１丁目1497－１		一般国道495号道路改良工事	29	0113	唐の原遺跡	—	2000／11／１		遺構なし	慎重工事
12		12	1	1057	00.12.05	建設省	東区雁ノ巣１丁目1302－50	3,943.0	公園植栽造園工事	43	0162	奈多砂丘Ｂ遺跡	—	2000／12／６	12－223	遺構有り	慎重工事
13		11	2	810	00.01.19	個人	東区香椎２丁目797－１他	1,894.0	共同住宅	17	0069	香椎Ａ遺跡	—	2000／６／１	12－054	遺構・遺物あり	慎重工事
14		11	2	833	00.01.28	個人	東区名島２丁目2153－11他１筆	729.8	売買	32	0115	名島城跡	—	2000／４／４	12－001	遺構なし	慎重工事
15		11	2	929	00.03.06	個人	東区三苫６丁目1388	241.3	専用住宅	28	0108	三苫遺跡群	—	2000／４／11	12－008	遺構なし	慎重工事
16		11	2	931	00.03.06	個人	東区舞松原１丁目60－789・790	148.8	専用住宅建築	18	0072	多々良大牟田遺跡	—	2000／４／13	12－012	遺構なし	慎重工事
17		11	2	932	00.03.06	個人	東区名島１丁目2402－９	704.1	専用住宅建築	32	0115	名島城跡	—	2000／４／25	12－023	遺構なし	慎重工事
18		12	2	10	00.04.04	個人	東区多の津２丁目14	1,652.9	事務所建設	19	0074	多々良込田遺跡	—	2000／４／27	12－026	遺構なし	慎重工事
19		12	2	114	00.05.11	個人	東区千早２丁目2500－15	3,208.5	共同住宅建設	32	0115	名島城跡	—	2000／５／17	12－039	遺構なし	慎重工事
20		12	2	123	00.05.15	個人	東区箱崎２丁目2956－３他１筆	250.0	専用住宅建築	34	0116	元寇防塁	—	2000／９／27	12－145	遺構・遺物なし	慎重工事
21		12	2	212	00.06.19	個人	東区蒲田３丁目12－35	220.7	専用住宅建設	2	0003	蒲田部木原遺跡群	—	2000／６／27	12－076	遺構破壊されず	慎重工事
22		12	2	287	00.07.17	個人	東区馬出４丁目10	12,348.0	元寇防塁調査	34	0116	元寇防塁	—	2000／８／16	12－200	遺構なし	慎重工事
23		12	2	364	00.08.09	個人	東区雁ノ巣１丁目1293－29他	954.6	専用住宅建築	43	0162	奈多砂丘Ｂ遺跡	—	2000／９／19	12－144	遺構・遺物なし	慎重工事
24		12	2	402	00.08.23	個人	東区箱崎２丁目2991－２	116.4	事務所兼住宅	34	2639	箱崎遺跡	—	2000／10／５	12－156	遺構有、基礎及ばず	慎重工事
25		12	2	500	00.09.18	個人	東区馬出４丁目１－19・－20	387.2	共同住宅建築	34	0116	元寇防塁	—	2000／10／７	12－165	遺構・遺物なし	慎重工事
26		12	2	710	00.11.30	個人	東区和白４丁目1551－60～64	1,082.0	マンション建築	29	0113	唐の原遺跡	—	2000／12／21	12－215	－３ｍまで客土	慎重工事

区別番号	調査番号	受付番号 年度		番号	受付日	申請者	申請地	開発予定面積（㎡）	民間：開発の概要 公共：事業名	分布 遺跡 地図	番号	遺跡名 遺跡	次数	試掘調査実施日	試掘報告番号	試掘結果	審査結果 判断・指示
27		12	2	731	00.12.08	個人	東区和白１丁目９－36	770.3	ガソリンスタンド改築	29	0113	唐の原遺跡	－	2000／10／24	12－242	遺構・遺物なし	慎重工事
28		12	2	741	00.12.11	個人	東区蒲田３丁目664－２他３筆	1,042.6	倉庫建築	2	0003	蒲田部木原遺跡	－	2000／12／19	12－214	遺構・遺物なし	慎重工事
29		12	2	752	00.12.14	個人	東区箱崎１丁目2545の一部	383.2	共同住宅建築	34	2639	箱崎遺跡群	－	2001／３／６	12－267	遺構・遺物なし。砂丘落ち際	慎重工事
30	0113	10	1	20		市土木局道路建設部	東区馬出４丁目地内	5,000.0	都市計画道路馬出東浜線（馬出地内）道路舗装工事	34	—	箱崎遺跡	27	00.8.24・25、11.15、01.1.31	12－116・－281	遺構有り	要本調査
31	0035	11	1	276	00.04.14	市土木局筥連開発事務所	東区千早４丁目・香椎駅前２丁目		連続立体交差	17	0116	元寇防塁（地蔵松原）	2	2000／４／26	12－051		要本調査
32	0035	12	1	26	00.05.17	市土木局筥連開発事務所	東区筥松３丁目3575－47	4,560.0	鉄道高架整備	33	0116	元寇防塁	9	2000／６／16	12－063	遺構有り	要本調査
33	0022	12	1	625	00.10.03	市土木局筥連開発事務所	東区箱崎１丁目～馬出５丁目地内		区画整理事業	34	2639	箱崎遺跡	22	2000／11／８		遺構有り	要本調査
34	0104	12	1	1014	00.11.14	市土木局筥連開発事務所	東区箱崎３丁目		都市計画道路箱崎阿恵線整備	34	2639	箱崎遺跡	25	00.11.15・11.21、01.1.24		遺構有り	要本調査
35	0047	12	2	95	00.05.08	会社法人	東区箱崎１丁目2511－１・外４筆	961.6	共同住宅新築	34	2639	箱崎遺跡	24	00.7.27・09.27	12－278	遺構有り	要本調査

②南区

区別番号	調査番号	受付番号 年度		番号	受付日	申請者	申請地	開発予定面積（㎡）	民間：開発の概要 公共：事業名	分布 遺跡 地図	番号	遺跡名 遺跡	次数	試掘調査実施日	試掘報告番号	試掘結果	審査結果 判断・指示
1		11	1	0		建設省福岡国道建設事務所	南区樋井川６丁目	20,000.0	道路新設	63	0210	樋井川Ｂ遺跡	－	00.10.16・17	12－172	遺構なし	慎重工事
2		12	1	1	00.04.06	福岡財務支局	南区老司４丁目627－２他３筆	24,180.5	競売	40・41	0850	老司古墳	－	00.5.15・24・6.28・8.9・9.20・9.21	12－169	前方部に遺構の存在が予想された。	慎重工事
3		12	1	136	00.11.27	市土木局道路建設部	南区大橋４丁目14－41	8,800.0	長浜太宰府線道路整備事業	39	2382	大橋Ｅ遺跡	－	2000／12／26		遺構なし	慎重工事
4		12	1	142	00.11.27	市土木局道路建設部	南区老司2.4丁目	3,960.0	一般国道385号線（老司）道路改良工事	40	0149	老司Ｂ遺跡	－	2001／１／24		遺構なし	慎重工事
5		12	2	55	00.04.17	会社法人	南区南大橋１丁目1189－１	658.6	共同住宅建設	39	0134	大橋Ｄ遺跡	－	2000／６／１	12－052	遺構なし	慎重工事
6		12	2	59	00.04.18	個人	南区井尻１丁目42－２	247.9	共同住宅	25	2638	井尻廃寺	－	2000／７／18	12－097	—	慎重工事
7		12	2	85	00.04.27	個人	南区横手３丁目22－２	401.9	専用住宅新築	39	0099	横手遺跡	－	2000／５／25	12－043	遺構なし・遺物あり	慎重工事
8		12	2	120	00.05.15	個人	南区長尾５丁目233－１・－５	2,644.6	共同住宅建設	63	0203	長尾遺跡	－	2000／５／19	12－040	遺構なし	慎重工事
9		12	2	130	00.05.16	個人	南区若久１丁目371他４筆	3,744.0	物納	52	—	包蔵地外	－	2000／６／20	12－075	遺構なし	慎重工事
10		12	2	192	00.06.13	会社法人	南区五十川１丁目２－20	1,090.0	冷蔵庫・事務所建設	38	0085	那珂遺跡群	－	00.06.29・07.04	12－086	遺構・遺物なし	慎重工事
11		12	2	331	00.08.01	個人	南区桧原１丁目594－８	103.5	専用住宅新築	64	0210	樋井川Ｂ遺跡	－	2000／９／21	12－143	基礎による影響なし	慎重工事
12		12	2	412	00.08.24	個人	南区老司２丁目228－１	552.0	共同住宅建築	40	0147	野多目Ｃ遺跡	－	2000／10／５	12－157	遺構・遺物なし	慎重工事
13		12	2	441	00.09.01	会社法人	南区大橋４丁目645－１他17筆	3,300.7	分譲マンション建築	39	2382	大橋Ｅ遺跡	－	2000／９／28	12－150	遺構・遺物なし	慎重工事
14		12	2	520	00.09.22	個人	南区曰佐３丁目90－６	148.8	専用住宅建築	26	0105	弥永原遺跡	－	2000／10／12	12－160	遺構・遺物なし	慎重工事
15		12	2	567	00.10.11	個人	南区老司２丁目25－１他３筆	644.7	専用住宅建築	40	0149	老司Ｂ遺跡	－	2000／11／９	12－184	遺構・遺物なし	慎重工事
16		12	2	691	00.11.27	学校法人	南区曰佐３丁目42－１	784.8	校舎建築	26	0105	弥永原遺跡群	－	2000／12／７	12－208	遺構有り	慎重工事
17		12	2	733	00.12.11	個人	南区弥永１丁目２－７	169.0	共同住宅新築	40	0151	警弥郷Ａ遺跡	－	2001／１／９	12－228	遺構なし	慎重工事

区別番号	調査番号	受付番号 年度		番号	受付日	申請者	申請地	開発予定面積（㎡）	民間：開発の概要 公共：事業名	分布 遺跡 地図	番号	遺跡名 遺跡	次数	試掘調査実施日	試掘報告番号	試掘結果	審査結果 判断・指示
18		12	2	793	00.12.25	個人	南区南大橋１丁目1244－13他２筆	1,132.5		39	0135	三宅Ａ遺跡	－	2001／１／11	12－232	造成地、遺構なし	慎重工事
19		12	2	817	01.01.09	個人	南区桧原６丁目887－１他３筆	2,182.0		64	0213	駄ヶ原遺跡	－	2001／１／25	12－236	遺構・遺物なし	慎重工事
20		12	2	856	01.01.24	個人	南区野多目２丁目391－１	179.3	専用住宅建築	40	0146	野多目Ｂ遺跡	－	2001／２／15	12－247	遺構・遺物なし	慎重工事
21		12	2	886	01.02.05	個人	南区三宅１丁目14－725－１	247.3	共同住宅建築	39	2382	大橋Ｅ遺跡	－	2001／３／15	12－260	工事の掘削深度は支障なし、以下は未確認	慎重工事
22		12	2	1020	01.03.21	個人	南区井尻１丁目755－10	129.4	共同住宅建築	25	0090	井尻Ｂ遺跡	－	2001／３／29	12－275	遺構あり・工事前要協議として	慎重工事
23		12	2	19	00.04.06	個人	南区井尻５丁目325－４	95.3	専用住宅新築	25	0090	井尻Ｂ遺跡	－	2000／４／20	12－019	遺構あり	工事立会
24		12	2	792	00.12.25	個人	南区五十川２丁目290－４	608.8		24	0088	五十川遺跡	－	2001／１／11	12－234	遺構なし、すでに削平されている	工事立会
25	0028	12	2	60	00.04.18	個人	南区井尻１丁目757－３	271.5	共同住宅	25	0090	井尻Ｂ遺跡	－	2000／７／11	12－128		要本調査
26	0042	12	2	206	00.06.19	会社法人	南区老司２丁目29－１他６筆	4,937.1	公衆浴場建築	40	0149	老司Ｂ遺跡	－	2000／６／28	12－081	遺構有り	要本調査
		12	2	255	00.06.20	会社法人	南区老司２丁目29－１他６筆	4,937.1	公衆浴場建築	40	0149						
27	0043	12	2	424	00.08.29	会社法人	南区井尻５丁目12－32	394.1	店舗付き共同住宅	25	0090	井尻Ｂ遺跡	－	2000／９／21	12－225	遺構遺物有りり	要本調査

③博多区

区別番号	調査番号	受付番号 年度		番号	受付日	申請者	申請地	開発予定面積（㎡）	民間：開発の概要 公共：事業名	分布 遺跡 地図	番号	遺跡名 遺跡	次数	試掘調査実施日	試掘報告番号	試掘結果	審査結果 判断・指示
1		10	1	110	00.07.03	市建築局	博多区東月隈４丁目	10,000.0	東月隈住宅建替	10	—	包蔵地外	－	2000／11／15		遺構なし	開発同意
2		11	2	986	00.03.27	個人	博多区諸岡５丁目93	188.6	専用住宅新築	25	0103	笹原遺跡群	－	2000／４／14	12－015	遺構なし	開発同意
3		11	2	998	00.03.31	個人	博多区諸岡３丁目444他２筆	441.4	専用住宅新築	24	0092	諸岡Ａ遺跡群	－	2000／４／18	12－017	遺構なし	開発同意
4		12	2	47	00.04.13	会社法人	博多区浦田１丁目486－１	2,903.0	未定	10	—	包蔵地外	－	2000／８／２	12－098	遺構遺物無し	開発同意
5		12	2	344	00.08.04	会社法人	博多区那珂３丁目342他２筆	2,916.2	社屋建築	24	－	包蔵地外	－	2000／９／４	12－125	遺構・遺物なし	開発同意
6		12	2	458	00.09.07	会社法人	博多区山王１丁目69他２筆	1,180.7		37	－	包蔵地外	－	2001／１／９	12－226	遺構なし	開発同意
7		12	2	583	00.10.17	会社法人	博多区那珂２丁目391他２筆	2,036.4	共同住宅建築	24	－	包蔵地外	－	2000／10／31	12－175	包含層のみ	開発同意
8		12	2	753	00.12.14	会社法人	博多区諸岡２丁目２－21	677.8	共同住宅建築	24	0093	諸岡Ａ遺跡隣接	－	2001／１／25	12－235	遺構・遺物なし	開発同意
9		8	1	495		運輸省第四港湾局	博多区下月隈地内	30,000.0	福岡空港整備事業	10	2778	下月隈鳥越遺跡	－	01.2.13・14・	12－286	遺構は部分的に遺存	慎重工事
10		10	1	273	99.07.15	市土木局道路建設部	博多区青木１丁目地内	800.0	道路改良工事	22・23	－	包蔵地外	－	1999.07.16、00.5.26	12－047	遺構なし	慎重工事
11		12	1	42	00.06.23	空港周辺整備機構	博多区大井２丁目10－３	8,800.0	施設建設	21	2631	大井遺跡	－	2000／７／10	12－083	遺跡無し	慎重工事
12		12	1	77	00.09.01	市教育委員会総務部	博多区那珂３丁目10－１	18,520.0	給水管改良工事	23・24	0085	那珂遺跡群	－	2000／９／１	—	—	慎重工事
13		12	1	112	00.09.11	ＪＲ九州旅客鉄道（株）	博多区堅粕２丁目200－２	144.0	事務所新築工事	35	0122	堅粕遺跡群	－	2000／10／11	12－171	遺構有り、－75cmまでの掘削可	慎重工事
14		12	1	792	00.11.02	博多区役所	博多区西月隈６丁目地内	1,000.0	西月隈1279号線道路改良工事	11	2627	井相田遺跡	－	2000／11／22		遺構なし	慎重工事
15		12	1	1049	00.12.04	九州管区警察学校	博多区板付６丁目１－１	15,000.0	運動場改修工事	24	0095	高畑遺跡	－	2000／12／５	12－221	遺構鳴り	慎重工事

区別番号	調査番号	受付番号 年度		番号	受付日	申請者	申請地	開発予定面積（㎡）	民間：開発の概要 公共：事業名	分布 遺跡 地図	番号	遺跡名 遺跡	次数	試掘調査実施日	試掘報告番号	試掘結果	審査結果 判断・指示
16		12	1	1050	00.12.04	九州管区警察学校	博多区板付６丁目１－26	44.0	プレハブ２階建新築	24	0095	高畑廃寺	－	2000／12／５	12－222	遺構鳴り	慎重工事
17		11	2	563	99.10.25	会社法人	博多区金の隈３丁目212－20他２筆	4,248.0	駐車場建設	3	0010	持田ヶ浦古墳群Ｃ群	－	2000／６／13	12－065	遺構なし	慎重工事
18		11	2	576	99.10.29	個人	博多区西春町１丁目３	1,186.9	病院建設及び解体	13	0054	雑餉隈遺跡	－	2000／５／25	12－042	遺構・遺物なし	慎重工事
19		11	2	926	00.03.03	会社法人	博多区西月隈６丁目986他７筆	4,899.1	倉庫増築	11	2627	井相田Ｄ遺跡	－	2000／６／５	12－056	遺構有り、きわめて散漫	慎重工事
20		11	2	966	00.03.17	会社法人	博多区博多駅南６丁目62－１他１筆	1,024.0	事務所建築	37	0127	比恵遺跡群	－	2000／４／18	12－010	遺構なし	慎重工事
21		11	2	967	00.03.17	会社法人	博多駅東３丁目36	3,299.1	駐車場建築	36	0126	駅東生産遺跡	－	2000／４／19	12－024	遺構有り	慎重工事
22		11	2	992	00.03.28	個人	博多区吉塚１丁目474	214.1	専用住宅新築	35	2779	吉塚祝町遺跡	－	2000／４／６	12－004	遺構なし	慎重工事
23		12	2	3	00.04.03	会社法人	博多区三筑２丁目19－１	1,377.0	共同住宅建設	25	0104	三筑遺跡	－	2000／４／18	12－018	遺構なし	慎重工事
24		12	2	20	00.04.06	個人	博多区博多駅南５丁目114－１	404.4	専用住宅新築	37	0127	比恵遺跡群	－	2000／５／18	12－038	遺構・遺物あり	慎重工事
25		12	2	40	00.04.12	個人	博多区板付５丁目７－65	271.8	専用住宅	24	0094	板付遺跡	－	2000／５／11	12－091	水田跡、盛土・設計変更	慎重工事
26		12	2	61	00.04.19	個人	博多区昭南町１丁目42－１	199.5	共同住宅	13	0054	雑餉隈遺跡	－	2000／４／27	12－025	遺構あり	慎重工事
27		12	2	69	00.04.21	個人	博多区麦野２丁目１－48	296.9	倉庫及び事務所	24	005	高畑遺跡	－	2000／５／２	12－032	影響なし	慎重工事
28		12	2	105	00.05.10	個人	博多区吉塚３丁目265－１	743.0	共同住宅建設	35	0123	吉塚遺跡	－	2000／６／８	12－064	遺構なし	慎重工事
29		12	2	124	00.05.16	個人	博多区麦野４丁目28－６	233.0	共同住宅建設	12	—	包蔵地外	－	2000／５／30	12－048	遺構なし	慎重工事
30		12	2	133	00.05.18	個人	博多区那珂１丁目34	180.9	専用住宅新築	37	0085	那珂遺跡群	－	2000／６／６	12－055	削平、遺構なし	慎重工事
31		12	2	138	00.05.22	会社法人	博多区東公園２番	306.3	未定	35	－	包蔵地外	－	2000／５／22	12－050	遺構・遺物なし	慎重工事
32		12	2	143	00.05.23	個人	博多区昭南町２丁目28－１	147.5	共同住宅建設	13	0054	雑餉隈遺跡	－	2000／６／２	12－053	遺構・遺物あり	慎重工事
33		12	2	151	00.05.26	個人	博多区東光２丁目288－１他１筆	1,322.3	事務所新築	36	0124	豊遺跡	－	2000／７／13	12－089	遺構なし	慎重工事
34		12	2	196	00.06.14	個人	博多区諸岡１丁目16	1,684.0	店舗建築	24	0092	諸岡Ａ遺跡群	－	2000／６／29	12－084	遺構・遺物なし	慎重工事
35		12	2	216	00.06.20	個人	博多区板付４丁目２－２	494.0	店舗・共同住宅建設	24	0094	板付遺跡	－	2000／７／14	12－199	水田、設計変更	慎重工事
36		12	2	233	00.06.26	個人	博多区博多駅南４丁目15－34	299.6	未定	37	0127	比恵遺跡群	－	2000／８／９	12－100	遺構・遺物なし	慎重工事
37		12	2	246	00.07.03	個人	博多区奈良屋町156	100.2	店舗付き住宅建設	48	0121	博多遺跡群	－	2000／８／９	12－101	遺構・遺物なし	慎重工事
38		12	2	248	00.07.03	個人	博多区博多駅南５丁目60－６	192.0	専用住宅	37	0127	比恵遺跡群	－	2000／７／６	12－085	遺構・遺物なし	慎重工事
39		12	2	257	00.07.05	個人	博多区諸岡６丁目28－１他２筆	1,311.0	共同住宅	25	0103	笹原遺跡	－	2000／８／10	12－102	遺構・遺物なし	慎重工事
40		12	2	289	00.07.17	会社法人	博多区那珂４丁目242・243	1,012.6		24	0086	那珂君休遺跡	－	2000／７／21	12－115	遺構・遺物なし	慎重工事
41		12	2	295	00.07.19	個人	博多区立花寺２丁目99他１筆	314.8	事務所兼住宅	11	0038	立花寺遺跡群	－	2000／８／22	12－122	包含層有り	慎重工事
42		12	2	305	00.07.25	個人	博多区南八幡町１丁目５	329.6	専用住宅建築	25	0051	南八幡遺跡	－	2000／９／21	12－142	遺構有り、旧表土内で収まる	慎重工事
43		12	2	323	00.07.31	個人	博多区博多駅南５丁目17－10	103.1	事務所ビル建築	37	0127	比恵遺跡	－	2000／８／22	12－121	遺構・遺物なし	慎重工事

区別番号	調査番号	受付番号 年度		番号	受付日	申請者	申請地	開発予定面積（㎡）	民間：開発の概要 公共：事業名	分布 遺跡 地図	番号	遺跡名 遺跡	次数	試掘調査実施日	試掘報告番号	試掘結果	審査結果 判断・指示
44		12	2	333	00.08.01	個人	博多区那珂５丁目257－３	337.5	専用住宅	24	0092	諸岡Ａ遺跡	－	2000／９／１	12－126	包含層有り、盛土内で収まる	慎重工事
45		12	2	347	00.08.04	個人	博多区博多駅南５丁目39－１	290.0	共同住宅建築	37	0127	比恵遺跡群	－	2000／９／７	12－132	遺構有り、基礎45㎝	慎重工事
46		12	2	381	00.08.18	個人	博多区麦野５丁目５－60	136.1	共同住宅建築	12	0048	麦野Ａ遺跡	－	2000／10／12	12－161	遺構・遺物なし	慎重工事
47		12	2	398	00.08.22	会社法人	博多区博多駅南４丁目132－１	84.0	駐車場建築	37	0127	比恵遺跡	－	2000／10／３	12－152	遺構・遺物なし	慎重工事
48		12	2	400	00.08.23	個人	博多区千代１丁目201他２筆	310.1	事務所兼住宅建築	35	0122	堅粕遺跡	－	2000／９／19	12－146	遺構・遺物なし	慎重工事
49		12	2	410	00.08.24	個人	博多区東公園33	122.7	貸し店舗建築	35	2378	吉塚本町遺跡	－	2000／10／３	12－151	遺構・遺物なし	慎重工事
50		12	2	436	00.08.31	会社法人	博多区東那珂１丁目329・330	991.7	共同住宅新築	23	2635	東那珂遺跡	－	2000／９／12	12－127	遺構・遺物なし	慎重工事
51		12	2	439	00.09.01	会社法人	博多区上川端町225－１	684.1	共同住宅新築	49	0121	博多遺跡群	－	2000／10／３	12－153	遺構・遺物なし	慎重工事
52		12	2	453	00.09.05	個人	博多区板付５丁目686－２	616.5	共同住宅建築	24	2714	板付東遺跡	－	2001／２／８	12－243	遺構有り	慎重工事
53		12	2	483	00.09.12	個人	博多区三筑２丁目７－15	173.1	共同住宅建築	12	0049	麦野Ｂ遺跡	－	2000／９／12	12－166	基礎37㎝で影響なし	慎重工事
54		12	2	538	00.09.29	個人	博多区麦野５丁目７－22	165.1	専用住宅建築	12	0048	麦野Ａ遺跡	－	2000／11／14	12－183	遺構・遺物なし	慎重工事
55		12	2	571	00.10.12	個人	博多区吉塚３丁目378－４他１筆	471.3	共同住宅建築	35	0123	吉塚遺跡群	－	2000／10／24	12－173	包含層有り、掘削及ばず	慎重工事
56		12	2	582	00.10.17	個人	博多区麦野６丁目24－22	269.1	専用住宅建築	12	0050	麦野Ｃ遺跡	－	2000／12／14	12－211	遺構・遺物なし	慎重工事
57		12	2	622	00.11.06	個人	博多区那珂６丁目184・185	234.0	専用住宅建築	24	0085	那珂遺跡群	－	2000／11／15	12－185	基礎遺構面に達せず	慎重工事
58		12	2	630	00.11.08	個人	博多区博多駅南５丁目３－２・－３	834.8	共同住宅建築	37	0127	比恵遺跡群	－	2000／11／21	12－193	遺構・遺物なし	慎重工事
59		12	2	631	00.11.08	個人	博多区麦野４丁目26－73	235.2	専用住宅建築	12	0049	麦野Ａ遺跡	－	2000／11／14	12－186	遺構・遺物なし	慎重工事
60		12	2	649	00.11.14	個人	博多区那珂４丁目308	1653.0	未定	24	0086	那珂君休遺跡	－	2000／12／18	12－217	遺構・遺物なし	慎重工事
13		12	1	112	00.09.11	九州旅客鉄道（株）	博多区堅粕２丁目200－２	144.0	事務所新築工事	35	0122	堅粕遺跡群	－	2000／10／11	12－171	遺構有り、－75㎝までの掘削可	慎重工事
14		12	1	792	00.11.02	博多区役所	博多区西月隈６丁目地内	1,000.0	西月隈1279号線道路改良工事	11	2627	井相田Ｄ遺跡	－	2000／11／22		遺構なし	慎重工事
15		12	1	1049	00.12.04	九州管区警察学校	博多区板付６丁目１－１	15,000.0	運動場改修工事	24	0095	高畑遺跡	－	2000／12／５	12－221	遺構有り	慎重工事
16		12	1	1050	00.12.04	九州管区警察学校	博多区板付６丁目１－26	44.0	プレハブ２階建新築	24	0095	高畑廃寺	－	2000／12／５	12－222	遺構有り	慎重工事
17		11	2	563	99.10.25	会社法人	博多区金の隈３丁目212－20他２筆	4,248.0	駐車場建設	3	0010	持田ヶ浦古墳群Ｃ群	－	2000／６／13	12－065	遺構なし	慎重工事
18		11	2	576	99.10.29	個人	博多区西春町１丁目３	1,186.9	病院建設及び解体	13	0054	雑餉隈遺跡	－	2000／５／25	12－042	遺構・遺物なし	慎重工事
19		11	2	926	00.03.03	会社法人	博多区西月隈６丁目986他７筆	4,899.1	倉庫増築	11	2627	井相田Ｄ遺跡	－	2000／６／５	12－056	遺構有り、きわめて散漫	慎重工事
20		11	2	966	00.03.17	会社法人	博多区博多駅南６丁目62－１他１筆	1,024.0	事務所建築	37	0127	比恵遺跡群	－	2000／４／18	12－010	遺構なし	慎重工事
61		12	2	660	00.11.16	会社法人	博多区祇園町76－２他	262.0		49	0121	博多遺跡群	－	2000／12／12	12－210	遺構・遺物有り。－110㎝以上の場合本調査	慎重工事
62		12	2	689	00.11.24	個人	博多区麦野２丁目17－15	324.8	共同住宅新築	25	0048	麦野Ａ遺跡	－	2000／11／30	12－197	遺跡有り	慎重工事
63		12	2	718	00.12.04	個人	博多区三筑２丁目13－25	143.5	併用住宅建築	25	0104	三筑遺跡	－	2000／12／14	12－212	遺構・遺物なし	慎重工事

区別番号	調査番号	受付番号 年度		番号	受付日	申請者	申請地	開発予定面積（㎡）	民間：開発の概要 公共：事業名	分布 遺跡 地図	番号	遺跡名 遺跡	次数	試掘調査実施日	試掘報告番号	試掘結果	審査結果 判断・指示
64		12	2	740	00.12.11	個人	博多区那珂２丁目277の一部外１筆	203.1	専用住宅建築	38	0085	那珂遺跡群	－	2001／２／１	12－244	遺構・遺物なし	慎重工事
65		12	2	744	00.12.11	個人	博多区三筑 1丁目 4－19,2－84－19,2－8	919.8	診療所増築	25	0104	三筑遺跡	－	2000／12／21	12－216	基礎1.3m、備考	慎重工事
66		12	2	746	00.12.11	個人	博多区那珂１丁目726番2726番２	503.3	専用住宅建築	37	0085	那珂遺跡群	－	2000／12／21	12－233	遺構・遺物あり、設計変更	慎重工事
67		12	2	747	00.12.12	個人	博多区奈良屋町288－１, －２, －３, －4,289－1288－１, －２, －３, －4,289－１	252.7	共同住宅新築	48	0121	博多遺跡群	－	2001／１／16	12－229	遺構・遺物なし	慎重工事
68		12	2	766	00.12.18	会社法人	博多区博多駅前４丁目121－2121－２	421.9	事務所建築	37	0127	比恵遺跡群	－	2001／１／31	12－241	遺構・遺物あり、Ｇ．Ｌ．－55cm以内でＯＫ	慎重工事
69		12	2	825	01.01.12	会社法人	博多区東那珂２丁目３－263月26日	1,901.8	社屋建設	23	2635	東那珂遺跡	－	2001／２／６	12－245	遺構・遺物なし	慎重工事
70		12	2	829	01.01.15	個人	博多区下呉服町 8－34及び－358－34及び－35	237.0	集合住宅建築	48	0121	博多遺跡群	－	2001／２／６	12－246	遺構・遺物なし	慎重工事
71		12	2	848	01.01.23	個人	博多区井相田３丁目14番31	995.3		12	0052	井相田Ａ遺跡	－	2001／２／13	12－255	遺構・遺物あり、－50cmまでならＯＫ	慎重工事
72		12	2	884	01.02.02	個人	博多区須崎町６番	108.4	共同住宅建築	48	0121	博多遺跡群	－	2001／２／20	12－249	遺構・遺物なし	慎重工事
73		12	2	895	01.02.08	会社法人	博多区諸岡４丁目80番	612.8	土地売買	24	0093	諸岡Ｂ遺跡	－	2001／３／６	12－265	遺構・遺物あり・－70ｃｍ以内で可	慎重工事
74		12	2	930	01.02.21	会社法人	博多区博多駅南６丁目84番	647.9	洗車場新築	37	0127	比恵遺跡	－	2001／２／21	12－256	遺構なし、谷の中にあたる	慎重工事
75		12	2	935	01.02.22	会社法人	博多区諸岡３丁目740－２、－４の一部	207.7	専用住宅建築	24	0092	諸岡Ａ遺跡	－	2001／３／１	12－263	－70cmで遺構、掘削は－40cm	慎重工事
76		12	2	952	01.02.28	個人	博多区麦野３丁目９番２	667.0	未定	12	0048	麦野Ａ遺跡	－	2001／３／13	12－262	遺構なし	慎重工事
77		12	2	968	01.03.05	会社法人	博多区吉塚２丁目660番1,661番１	495.8	未定	35	2775	吉塚祝町遺跡	－	2001／３／15	12－261	遺構・遺物あり、－150cm以上の掘削は不可	慎重工事
78		11	2	959	00.03.13	個人	博多区博多駅南４丁目167－４	99.3	売買	37	0127	比恵遺跡群	－	2000／３／28	12－013	遺構有り	工事立会
79		11	2	983	00.03.24	個人	博多区堅粕５丁目44・43－２	279.3	事務所	36	0123	吉塚遺跡群	－	2000／４／14	12－014	遺構有り	工事立会
80		11	2	995	00.03.30	個人	博多区堅粕３丁目572－６	141.2	専用住宅新築	35	0122	堅粕遺跡群	－	2000／４／20	12－016	遺構有り	工事立会
81		12	2	83	00.04.27	会社法人	博多区寿町２丁目124－４		店舗建築	13	0051	南八幡遺跡	－	2000／５／10	12－034	遺構あり、設計変更	工事立会
82		12	2	155	00.05.30	個人	博多区金の隈１丁目660－1,659－２	743.7	専用住宅建て替え	11	0039	金隈遺跡	－	2000／７／26	12－106	遺構・遺物あり	工事立会
83		12	2	219	00.06.21	個人	博多区麦野３丁目11－15	164.8	専用住宅建設	12	0048	麦野Ａ遺跡	－	2000／７／25	12－113	遺構・遺物あり	工事立会
84		12	2	563	00.10.10	会社法人	博多区金隈２丁目316－13	1,983.0	菜園	11	0046	堤ヶ浦古墳群	－	2000／10／20	12－182	遺構有り・古墳新規発見	工事立会
85		12	2	1027	01.03.23	会社法人	博多区竹下２丁目１－33	21,463.9	校舎建築	37	0085・0147	那珂・比恵遺跡群	－	2001／３／29	12－274	試掘が狭く判断できず	工事立会
86	0107	10	1	273	99.07.15	市土木局道路建設部	博多区青木１丁目	1,060.0	道路改良工事	22・23	0080	席田青木遺跡	5	2000.05.26・06.12・09.13・12.13	12－060	遺構有り	要本調査
87	0050・0106	11	1	242	99.08.03	市農林水産局	博多区立花寺２丁目地内	20,000.0	農園整備	11	0038	立花寺遺跡群	5	2000.09.08・12.13・01.02.01	12－147	遺構あり	要本調査
88	未	11	1	343	00.10.03	市土木局道路建設部	博多区月隈６丁目地内	6,600.0	一般県道水城下臼井線道路改良工事	10	2625	下月隈遺跡Ｃ遺跡	－	00.10.4・25、12.26		遺構・遺物有り	要本調査
89	0057	11	1	1077	00.07.31	市教育委員会施設部	博多区那珂２丁目18－１	816.0	那珂中学校プール改築工事	24	0085	那珂遺跡群	79	2000／８／23	12－104	遺構有り	要本調査
90	0058	12	1	27	00.05.18	市水道局総務部	博多区博多駅前１丁目360	380.0	施設増築	36	0121	博多遺跡群	128	2000／６／21	12－068	遺構あり	要本調査
91	0016	11	2	846	00.02.02	個人	博多区那珂２丁目６－７	366.3	専用住宅増築	24	0085	那珂遺跡群	76	2000／５／25	12－082	遺構有り	要本調査

区別番号	調査番号	受付番号 年度		番号	受付日	申請者	申請地	開発予定面積（㎡）	民間：開発の概要 公共：事業名	分布 遺跡 地図	番号	遺跡名 遺跡	次数	試掘調査実施日	試掘報告番号	試掘結果	審査結果 判断・指示
92	0048	12	2	78	00.04.24	会社法人	博多区竹下３丁目39－58	1,625.0	出荷上屋	37	0085	那珂遺跡	28	2000／７／４	12－088	遺構・遺物なし	要本調査
93	0061	12	2	213	00.06.20	個人	博多区麦野５丁目２－33	1,634.5	共同住宅	12	0048	麦野Ａ遺跡	10	2000／７／６	12－277	古墳期遺構・遺物有り	要本調査
94	0040	12	2	319		個人	博多区寿町２丁目63番	82.6	共同住宅	13	0051	南八幡遺跡	10	2000／９／12	12－194	遺構有り	要本調査
95	0062	12	2	526	00.09.26	会社法人	博多区古門戸町39番、40番	196.7	社屋建築	49	0121	博多遺跡群	129	2000／11／７	－	遺構・遺物有り	要本調査
96	0051	12	2	542	00.10.02	会社法人	博多区板付２丁目９番８	203.0	事務所建築	24	0094	板付遺跡	67	2000／11／２	12－192		要本調査
97	未	12	2	608	00.10.31	会社法人	博多区博多駅南５丁目49番３	145.6	（未定）	37	0127	比恵遺跡群	－	2000／11／14	12－195	遺構・遺物有り	要本調査
98	未	12	2	774	00.12.20	会社法人	博多区奈良屋３－３	1,140.0	社屋建築	48	0121	博多遺跡群	－	2001／１／18	12－287	遺構・遺物あり	要本調査
99	0101	12	2	874	01.02.01	会社法人	博多区博多駅南６丁目18－２	1,290.3	共同住宅建築	37	0127	比恵遺跡	74	2001／２／20	12－282	遺構・遺物あり	要本調査
100	未	12	1	3	00.04.06	福岡財務支局長	博多区麦野２丁目１－８	1,060.8	競売	24・25	0048	麦野Ａ遺跡	－	2000／５／31	12－046	弥生～古墳時代柱穴等遺構確認	協議中
101	未	12	2	67	00.04.20	個人	博多区南八幡町１丁目17	260.56	土地売買	25	0051	南八幡遺跡	－	2000／５／２	12－167	遺構有り	協議中
102	未	12	2	279	00.07.14	会社法人	博多区祇園町415番1,415番2,415番３	229.3		49	0121	博多遺跡群	－	2000／８／22	12－120	遺構有り	協議中
103	未	12	2	634	00.11.08	会社法人	博多区相生町 1丁目 1－1,2－3,2－4,2－5	19,998.6		25	0051	南八幡遺跡	－	2012／11／21	12－218	遺構・遺物なし	協議中

④中央区

区別番号	調査番号	受付番号 年度		番号	受付日	申請者	申請地	開発予定面積（㎡）	民間：開発の概要 公共：事業名	分布 遺跡 地図	番号	遺跡名 遺跡	次数	試掘調査実施日	試掘報告番号	試掘結果	審査結果 判断・指示
1		11	2	980	00.03.23	個人	中央区伊崎165	274.6	専用住宅新築	71	0116	元寇防塁隣接地	－	2000／５／11	12－028	遺構なし	開発同意
2		12	2	326	00.08.08	会社法人	中央区平和３丁目15区151番	2,707.8	戸建て分譲住宅	51	－	包蔵地外	－	2000／９／５	12－131	遺構・遺物なし	開発同意
3		12	1	151	00.11.27	市土木局道路建設部	中央区鳥飼２・３丁目～今川１・２丁目	5,400.0	都）鳥飼地行線　道路改良工事	71	2436	鳥飼遺跡	－	2000／12／27		遺構なし	慎重工事
4		12	1	1069	01.01.04	市下水道局建設部	中央区今川１・２丁目地内	200.0	下水道	71	2436	鳥飼遺跡	－	2000／12／27		遺構なし	慎重工事
5		11	2	562	99.10.25	会社法人	中央区大手門１丁目154番、155番、156番	431.5	共同住宅建築	60	0193	福岡城跡	－	2000／９／５	12－130	石垣裏込め	慎重工事
6		12	2	372	00.08.11	個人	中央区唐人町２丁目50番４	122.0	専用住宅新築	71	0116	元寇防塁	－	2000／10／24	12－174	基礎掘削及ばず	慎重工事
7		12	2	429	00.08.30	個人	中央区大濠２丁目５区45番	386.8	専用住宅新築	71	0193	福岡城跡	－	2000／10／５	12－158	遺構・遺物なし	慎重工事
8		12	2	553	00.10.05	個人	中央区黒門３区66－２外	958.9	共同住宅新築	60	0193	福岡城跡	－	2001／１／16	12－227	遺構・遺物なし	慎重工事
9		12	2	594	00.10.23	個人	中央区大名１丁目319－1, －2,320,321	568.4	テナントビル新築	49	0164	福岡城肥前堀	－	2000／11／１	12－180	遺構・遺物なし	慎重工事
10		12	2	818	01.01.09	会社法人	中央区赤坂２丁目５区160－1,161－１	613.0	事務所兼店舗	60	0193	福岡城跡	－	2001／３／５	12－266	遺構・遺物なし	慎重工事
11		12	2	923	01.02.20	会社法人	中央区地行４丁目８－19	591.7	戸立て宅地分譲	71	0116	元寇防塁	－	2001／３／13	12－264	遺構・遺物なし	慎重工事
12	0064	12	2	800	00.12.27	個人	中央区大名２丁目443,444－２	130.9	商業ビル建築	60	0192	福岡城跡	46	2001／２／１	12－257	遺構遺物有り	要本調査
13	0064	12	2	891	01.02.07	会社法人	中央区大名２丁目438番	476.6	駐車場整備	60	0193	福岡城跡					

⑤城南区

区別番号	調査番号	受付番号 年度		番号	受付日	申請者	申請地	開発予定面積（㎡）	民間：開発の概要 公共：事業名	分布遺跡 地図	番号	遺跡名 遺跡	次数	試掘調査実施日	試掘報告番号	試掘結果	審査結果 判断・指示
1		12	2	580	00.10.16	個人	城南区神松寺３丁目1664－１	267.1	専用住宅建築	63	－	包蔵地外	－	2000／12／19	12－213	遺構・遺物なし	開発同意
2		10	1	121	00.05.01	市教育委員会	城南区茶山６丁目21－５	598.0	公民館建設	73	－	茶山遺跡群隣接地	－	2000／６／７	12－059	遺構なし	慎重工事
3		11	1	246	99.08.11	市土木局道路建設部	城南区梅林４丁目	1,800.0	道路	74	0254	飯倉Ｇ遺跡	－	12年度実施		遺構なし	慎重工事
4		12	1	700	00.10.17	市建築局	城南区樋井川６丁目地内	2,907.0	樋井川団地建替工事	64	—	樋井川Ｂ遺跡	－	2001／１／17		遺構なし	慎重工事
5		12	1	1058	00.12.01	市土木局	城南区梅林４丁目		梅林通線整備工事	74	2775	梅林遺跡	－	2000／12／６		遺構なし	慎重工事
6		12	2	245	00.07.03	個人	城南区荒江１丁目309・310	361.7	専用住宅	72	0243	飯倉Ｂ遺跡	－	2000／９／14	12－137	遺構・遺物なし	慎重工事
7		12	2	280	00.07.14	個人	城南区梅林４丁目462－17	117.7	未定	74	2775	梅林遺跡	－	2000／８／１	12－099	遺構・遺物なし	慎重工事
8		12	2	290	00.07.17	社会福祉法人	城南区樋井川１丁目389－7,389－12	1,385.0	保育園	63	0203	長尾遺跡群	－	2000／８／10	12－108	遺構・遺物なし	慎重工事
9		12	2	394	00.08.21	個人	城南区七隈 6丁目348－ 6・－27・－34他	471.0	共同住宅建築	74	0252	飯倉Ｅ遺跡	－	2000／11／10	12－188	遺構なし	慎重工事
10		12	2	444	00.09.01	個人	城南区田島１丁目309番２	46.4	住宅建築	73	0199	田島Ａ遺跡	－	2000／10／５	12－168	基礎掘削及ばず	慎重工事
11		12	2	509	00.09.20	個人	城南区干隈 2丁目240－1,240－2,27－ 1の一部	1,032.0	共同住宅建築	83	2422	飯倉Ｈ遺跡	－	2001／３／15	12－268	遺構なし、旧河川	慎重工事
12		12	2	642	00.11.10	個人	城南区七隈２丁目831番28	335.4	専用住宅建築	73	0246	飯倉Ｃ遺跡	－	2000／12／12	12－209	遺構・遺物なし	慎重工事
13		12	2	673	00.11.21	個人	城南区荒江１丁目335－２	183.3	専用住宅建築	72	0243	飯倉Ｂ遺跡	－	2000／12／５	12－206	削平により消滅	慎重工事
14		12	2	799	00.12.26	個人	城南区茶山６丁目320－７	177.6	専用住宅建築	73	0248	茶山遺跡	－	2000／12／26	12－224	遺構・遺物なし	慎重工事
15		12	2	918	01.02.19	個人	城南区梅林５丁目236－６	211.5	専用住宅建築	83	2422	飯倉Ｈ遺跡	－	2001／３／16	12－270	削平のため遺構なし	慎重工事
16	0010	11	2	975	00.03.21	個人	城南区田島１丁目393－４	171.6	専用住宅新築	62	0199	田島Ａ遺跡群	3	2000／３／30	12－020	遺構有り	要本調査
17	0032	12	2	238	00.06.28	会社法人	城南区田島１丁目309－３	111.3	専用住宅	73	0199	田島Ａ遺跡	5	2000／７／18	12－093	遺構有り	要本調査
18	0046	12	2	418	00.08.25	個人	城南区七隈２丁目1178－1,1178－19	948.6	戸建て住宅	73	0246	飯倉Ｃ遺跡	6	2000／９／14	12－230	遺構有り	要本調査

⑥早良区

区別番号	調査番号	受付番号 年度		番号	受付日	申請者	申請地	開発予定面積（㎡）	民間：開発の概要 公共：事業名	分布遺跡 地図	番号	遺跡名 遺跡	次数	試掘調査実施日	試掘報告番号	試掘結果	審査結果 判断・指示
1		12	2	265	00.07.10	個人	早良区百道１丁目807－165	165.8	売買	80	0116	元寇防塁	－	2000／７／25	12－092	遺構・遺物なし	開発同意
2		12	2	356	00.08.08	会社法人	早良区内野 3丁目369番 1の一部、 3の一部、370番１の一部、 5の一部	1,698.0	戸建て分譲住宅	早17	—	包蔵地外	－	2000／９／14	12－134	遺構・遺物なし	開発同意
3		12	2	469	00.09.11	会社法人	早良区内野 3丁目369番 1の一部、369番３の一部、370番１の一部、370番５の一部	1,698.0	分譲住宅建築	早17	2790	大坪南遺跡	－	2000／９／14		遺構・遺物なし	開発同意
4		10	1	116	99.09.09	教育委員会	早良区南庄４丁目４－11	458.0	原北公民館	81	0309	有田遺跡群	－	2000／６／７	12－057	遺構なし	慎重工事
5		11	1	1062	00.05.25	交通局建設部	早良区次郎丸２丁目10	380.0	地下鉄出入り口	83・92	0315	次郎丸遺跡群	－	2000／６／14	12－070	遺跡無し	慎重工事
6		11	1	1063	00.05.25	交通局建設部	早良区次郎丸４丁目１	330.0	地下鉄出入り口	83・92	0315	次郎丸遺跡群	－	2000／６／14	12－071	遺跡無し	慎重工事
7		11	1	1064	00.05.25	交通局建設部	早良区次郎丸２丁目10	300.0	地下鉄出入り口	83	0319	野芥遺跡群	－	2000／６／14	12－069	遺跡無し	慎重工事

区別番号	調査番号	受付番号 年度		番号	受付日	申請者	申請地	開発予定面積（㎡）	民間：開発の概要 公共：事業名	分布 遺跡 地図	番号	遺跡名 遺跡	次数	試掘調査実施日	試掘報告番号	試掘結果	審査結果 判断・指示
8		12	1	214	00.11.29	早良区役所	早良区四箇６丁目地内	2,080.0	四箇・内野線道路改良工事	93	0315	次郎丸遺跡	－	2000／12／27		遺構なし	慎重工事
9		12	1	225	01.02.08	教育委員会	早良区西新２丁目10－10	661.0	西新公民館改築	71・72	0240	西新町遺跡	－	01.2.21・03.01		遺構なし	慎重工事
10		11	2	757	99.12.24	個人	早良区藤崎１丁目45の一部	557.4	専用住宅建築	81	0307	藤崎遺跡	－	2000／４／14	12－011	遺構なし	慎重工事
11		11	2	876	00.02.15	個人	早良区飯倉２丁目455－53	597.3	共同住宅建設	73	0245	飯倉Ａ遺跡群	－	2000／５／16	12－036	遺構なし	慎重工事
12		11	2	899	00.02.24	個人	早良区重留６丁目656,658－１	1,671.0	共同住宅建築	84	0324	重留村下遺跡群	－	2000／５／18	12－044	遺構有り	慎重工事
13		11	2	947	00.03.09	個人	早良区西新３丁目212－36	143.2	共同住宅建築	71	0240	西新町遺跡	－	2000／４／６	12－022	遺構なし	慎重工事
14		11	2	960	00.03.14	学校法人	早良区田村２丁目700　他	88,859.0	病院増築	83	0317	田村遺跡群	－	2000／４／４	12－006	遺構有り	慎重工事
15		11	2	973	00.03.17	会社法人	早良区西新７丁目708－４	168.7	貸事務所	72	0240	西新町遺跡	－	2000／４／７	12－003	遺構なし	慎重工事
16		11	2	976	00.03.21	個人	早良区重留６丁目511－２	103.4	未定	84	—	包蔵地外	－	2000／４／20	12－021	遺構なし、隣接地しているため	慎重工事
17		12	2	38	00.04.12	個人	早良区次郎丸６丁目５－10,16	198.6	共同住宅	83	2447	次郎丸高石遺跡	－	2000／５／２	12－030	遺構・遺物あり	慎重工事
18		12	2	56	00.04.17	個人	早良区飯倉２丁目455－13・489－１	638.0	共同住宅建設	73	0245	飯倉Ａ遺跡	－	2000／５／16	12－037	遺構なし	慎重工事
19		12	2	90	00.05.01	個人	早良区有田１丁目４番７号	143.3	未定	82	0309	有田遺跡群	－	2000／５／24	12－041	遺構なし	慎重工事
20		12	2	104	00.05.10	会社法人	早良区飯倉３丁目21－４	433.1	専用住宅	82	0313	原東遺跡	－	2000／６／21	12－077	遺構なし	慎重工事
21		12	2	182	00.06.08	個人	早良区原６丁目865－１	609.8	専用住宅建設	82	0311	原遺跡	－	2000／６／21	12－078	遺構なし	慎重工事
22		12	2	228	00.06.23	個人	早良区西新７丁目674番４	330.6	共同住宅	71	0240	西新町遺跡	－	2000／８／29	12－119	遺構・遺物なし	慎重工事
23		12	2	232	00.06.23	個人	早良区有田２丁目27－1,27－２	1,367.4	未定	82	0309	有田遺跡群	－	2000／７／18	12－096	—	慎重工事
24		12	2	251	00.07.04	学校法人	早良区田村 2丁目1149他、1111－5,680－１	4,500.0	老人保健施設建設	83	0316	平田遺跡	－	2000／８／３	12－110	遺構・遺物なし	慎重工事
25		12	2	260	00.07.05	社会福祉法人	早良区原６丁目４－15	1,063.5	保育園増築	82	0861	原遺跡群	－	2000／７／25	12－094	遺構なし	慎重工事
26		12	2	303	00.07.24	個人	早良区四箇２丁目714－１	1,752.2	賃貸共同住宅	93	0425	四箇大町遺跡	－	2000／９／６	12－135	遺構・遺物なし	慎重工事
27		12	2	307	00.07.25	個人	早良区原６丁目753－２	374.5	倉庫・車庫建築	82	0311	原遺跡群	－	2000／11／２	12－179	遺構・遺物なし	慎重工事
28		12	2	317	00.07.27	個人	早良区西新５丁目571－1,570－１	531.7	店舗付きマンション	72	0240	西新町遺跡	－	2001.02.15・07.24・08.01	12－283	遺構なし	慎重工事
29		12	2	343	00.08.03	会社法人	早良区大字石釜字新飼867－６	42.0	携帯電話無線中継基地	早22	0817	新飼遺跡	－	2000／９／７	12－136	遺構・遺物なし	慎重工事
30		12	2	377	00.08.17	個人	早良区脇山１丁目924の１の一部	221.7	専用住宅建築	早17	0775	脇山城の原遺跡	－	2000／８／21	12－123	遺構・遺物なし	慎重工事
31		12	2	423	00.08.28	個人	早良区高取１丁目564番１	260.9	専用住宅	72	0307	藤崎遺跡	－	2000／９／19	12－141	遺構・遺物なし	慎重工事
32		12	2	442	00.09.01	個人	早良区内野３丁目372番1,372番14	1,719.0	共同住宅建築	早17	—	包蔵地外	－	2000／10／12	12－162	遺構有り、基礎及ばず	慎重工事
33		12	2	537	00.09.29	農業協同組合	早良区野芥１丁目848番１	1,578.6	ＪＡ田隈支店建築	83	0319	野芥遺跡	－	2000／11／７	12－207	遺構・遺物なし	慎重工事
34		12	2	544	00.10.03	個人	早良区野芥４丁目371－4,375－5,－7,376－6,－12	270.1	共同住宅建築	84	0319	野芥遺跡	－	2000／10／31	12－177	遺構・遺物なし	慎重工事
35		12	2	547	00.10.04	個人	早良区小田部５丁目170－３	148.8	専用住宅建築	82	0309	有田遺跡群	－	2000／10／10	12－163	遺構有り、基礎及ばず	慎重工事

区別番号	調査番号	受付番号 年度		番号	受付日	申請者	申請地	開発予定面積（㎡）	民間：開発の概要 公共：事業名	分布遺跡 地図	番号	遺跡名 遺跡	次数	試掘調査実施日	試掘報告番号	試掘結果	審査結果 判断・指示
36		12	2	628	00.11.07	個人	早良区原５丁目1215番１	376.5	店舗建築	82	0311	原遺跡群		2000／11／28	12－196	遺構・遺物なし	慎重工事
37		12	2	637	00.11.09	個人	早良区有田 2丁目 7－4,7－ 5の一部、7－６の一部	1,099.5	賃貸住宅建築	82	0309	有田遺跡群		2000／11／28	12－198	削平著しい	慎重工事
38		12	2	677	00.11.22	個人	早良区小田部１丁目232－１	182.8	専用住宅建築	81	0309	有田遺跡群	－	2000／11／30	12－201	削平により遺構なし	慎重工事
39		12	2	715	00.12.01	個人	早良区原８丁目1175－１	502.9	未定	82	0311	原遺跡	－	2000／12／５	12－202	遺構・遺物なし	慎重工事
40		12	2	715	00.12.01	個人	早良区原８丁目1175－１	502.9	未定	82	0311	原遺跡	－	2000／12／５	12－202	遺構・遺物なし	慎重工事
41		12	2	768	00.12.18	個人	早良区重留 6丁目603－1,604－1,611－2	2,178.0	分譲住宅造成	84	0324	重留村下遺跡	－	2000／12／26	12－220	遺構なし	慎重工事
42		12	2	787	00.12.22	会社法人	早良区飯倉６丁目２番２外	3,304.7		73	0246	飯倉Ｃ遺跡	－	2001／１／23	12－237	削平により遺構・遺物なし	慎重工事
43		12	2	798	00.12.26	個人	早良区南庄３丁目227	159.0	専用住宅	81	0309	有田遺跡	－	2001／２／１	12－240	遺構遺物無し	慎重工事
44		12	2	810	01.01.04	個人	早良区田村４丁目725－１の一部	1,370.0	店舗付き共同住宅	83	0084	田村遺跡	－	2001／２／８	12－250	遺構・遺物なし。河川流路	慎重工事
45		12	2	860	01.01.25	個人	早良区賀茂１丁目18番４	928.1		83	0318	免遺跡	－	2001／２／22	12－253	河川、遺構・遺物なし	慎重工事
46		12	2	881	01.02.02	個人	早良区有田２丁目15－31他７筆	2,297.3	共同住宅建築	82	0309	有田遺跡群	－	2001.02.15、03.22	12－248・－273	遺構・遺物なし	慎重工事
47		12	2	889	01.02.06	個人	早良区早良１丁目1305番３	287.1	事務所建築	早16	0791	内野熊山遺跡	－	2001／２／21	12－251	遺構・遺物なし	慎重工事
48		12	2	908	01.02.15	個人	早良区野芥１丁目267－４	664.0		83	0269	クエゾノ遺跡	－	2001／２／22	12－254	遺構・遺物あり、－100までならＯＫ	慎重工事
49		12	2	936	01.02.22	個人	早良区飯倉４丁目525－17	196.9	専用住宅建築	82	0313	原東遺跡	－	2001／３／８	12－271	遺構・遺物なし	慎重工事
50		12	2	348	00.08.07	学校法人	早良区西新７丁目798－15,27,28	94.3	倉庫建築	80	0116	元寇防塁	－	2000／８／29	12－117	基礎43cm	工事立会
51		12	2	688	00.11.24	個人	早良区有田１丁目２番４	151.0	専用住宅建築	82	0309	有田遺跡群	－	2001／１／30	12－238	遺構・遺物あり、基礎39cm、盛り土指導	工事立会
52	0056	11	1	474	99.09.14	農林水産局	早良区椎原	169,000.0	ほ場整備	早12	0785	椎原Ａ遺跡他	－	00.11.22・24・28・29	12－280	遺構なし	要本調査
53	0056	12	1	271	99.09.14	農林水産局	早良区椎原	169,000.0	ほ場整備								
54	0020	12	2	27	00.04.10	個人	早良区南庄３丁目205－５	105.4	専用住宅	81	0309	有田遺跡	198	2000／６／12	12－073		要本調査
55	未	12	2	86	00.04.27	個人	早良区大字西油山字原95－３	991.7	福祉施設建設	75	0271	西油山古墳群	－	2000／６／23	12－072	古墳有り	要本調査
56	未	12	2	87	00.04.27	個人	早良区大字西油山字原127－５	4,118.2	福祉施設建設								
57	0036	12	2	178	00.06.07	個人	早良区有田２丁目20－８他	428.9	中古車展示場	82	0309	有田遺跡	199	2000／８／８	12－129		要本調査
58	0038	12	2	273	00.07.12	個人	早良区有田１丁目８番14	229.2	専用住宅	82	0309	有田遺跡群	200	2001／３／22	12－231	遺構遺物有り	要本調査
59	未	12	2	478	00.09.11	個人	早良区原 8丁目1170－1,1171－1,1177－1	1,661.5	共同住宅建築	82	0311	原遺跡群	－	2000.10.10・26	12－181	遺構遺物有り	要本調査
60	未	12	2	599	00.10.25	個人	早良区小田部３丁目３他	671.6	店舗建築	82	0309	有田遺跡群	－	2000／11／７	12－178	遺構有り	要本調査
61	0063	12	2	678	00.11.22	個人	早良区飯倉４丁目252番－１	1,887.0	宅地造成	73	0313	原東遺跡	2	2000／12／19	12－205	遺構有り	要本調査
62	未	12	2	887	01.02.05	個人	早良区田部１丁目122番	200.9	専用住宅建築	82	0390	有田遺跡群	－	2001／３／29	12－276	遺構有り	要本調査

⑦西区

区別番号	調査番号	受付番号 年度		番号	受付日	申請者	申請地	開発予定面積（㎡）	民間：開発の概要 公共：事業名	分布 地図	遺跡 番号	遺跡名 遺跡	次数	試掘調査実施日	試掘報告番号	試掘結果	審査結果 判断・指示
1		11	1	36	00.04.06	市土木局道路建設部	西区愛宕１・ 2丁目地内	2,500.0		81	—	包蔵地外	—	2000／10／11	12－170	遺構なし	開発同意
2		11	1	296	00.07.03	市建築局	西区下山門団地	5,000.0	市営集合住宅建築	103	—	包蔵地外	—	2000／11／29		遺構なし	開発同意
3		12	1	794	00.11.09	市建築局	西区上山門１丁目地内	4,190.0	市営柳住宅建替事業	103	—	包蔵地外	—	2001／１／17		遺構なし	開発同意
4		11	2	910	00.02.29	個人	西区羽根戸字大原752－７	410.1	店舗兼用住宅	105	0544	羽根戸原Ａ遺跡群	—	2000／５／９	12－031	遺構なし	開発同意
5		11	2	981	00.03.23	会社法人	西区大字千里字極両480－１・481－４外１筆	2,677.0	専用住宅増築	132	0689	周船寺遺跡群	—	2000／４／７	12－002	遺構なし	開発同意
6		12	2	446	00.09.01	個人	西区野方７丁目 925－8,926－1,927	2,234.0	未定	104	0525	野方中原遺跡	—	2000／９／12	12－133	遺構・遺物なし	開発同意
7		12	2	943	01.02.26	個人	西区飯氏字井町931－１、－５、、924－１、－６	約300.0	未定	132	0689	周船寺遺跡隣地	—	2001／３／１	12－259	河川流路	開発同意
8		9	1	2121		市土木局道路建設部	西区福重地内	25,280.0	道路拡幅	90	—	包蔵地外	—	1999／６／２	12－009	遺構なし	慎重工事
9		11	1	1033	00.05.01	市教育委員会	西区戸切２丁目	1,196.0	公民館建設	92	0402	戸切遺跡群	—	2000／５／17	12－061	遺構なし	慎重工事
10		12	1	107	01.01.19	市都市整備局公園緑地部	西区小戸２丁目1941	220,040.0	公園再整備	89	0116	元寇防塁	—	2001.02.07～03.07（３日）		遺構を確認できなかった	慎重工事
11		12	1	159	01.01.04	市教育委員会総務部	西区石丸３丁目９－25	930.0	体育館等改築	90	0377	石丸Ｂ遺跡	—	2001／１／23		遺構なし	慎重工事
12		12	1	711	01.02.06	市土木局道路建設部	西区野方１丁目地内	300.0	自転車駐車場整備	104	0389	野方久保遺跡	—	2001／３／１		遺構なし	慎重工事
13		12	1	1043	00.11.21	市都市整備局公園緑地部	西区小戸２丁目2982－ １	220,040.0	小戸公園整備事業	89	0864	小戸古墳群	—	2001／３／７		遺構なし	慎重工事
14		11	2	848	00.02.03	会社法人	西区姪浜 3丁目864－10・3135－ １・－13	2,672.4	共同住宅（分譲）	89	0367	姪浜遺跡群	—	2000／４／６	12－005	遺構なし	慎重工事
15		12	2	43	00.04.13	個人	西区横浜１丁目６番21	278.7	事務所建設	111	0621	今宿遺跡群	—	2000／５／９	12－029	遺構なし	慎重工事
16		12	2	68	00.04.20	社会福祉法人	西区千里垣の内345－１・－２	1,301.0	保育園建設	132	0745	千里遺跡群	—	2000／５／10	12－033	遺構なし	慎重工事
17		12	2	74	00.04.24	個人	西区大字小田字中間55－７	218.2	専用住宅新築	127	2591	小田遺跡	—	2000／４／24	（工事立会）	遺構なし	慎重工事
18		12	2	75	00.04.24	個人	西区今宿上ノ原3, 字天神1118番２	435.4	専用住宅新築	113	0628	青木遺跡	—	2000／５／30	12－066	遺構・遺物なし	慎重工事
19		12	2	111	00.05.11	個人	西区拾六町 5丁目558－1,557－4,556－１	818.1	共同住宅建築	104	0384	湯納遺跡	—	2000／６／８	12－062	遺構なし	慎重工事
20		12	2	128	00.05.16	個人	西区大字吉武126－９	134.0	未定	93	0405	吉武遺跡群	—	2000／６／22	12－079	遺構なし	慎重工事
21		12	2	174	00.06.06	個人	西区千里184－３	437.0	専用住宅増築	121	0695	千里向川原遺跡	—	2000／６／20	12－080	遺構あり	慎重工事
22		12	2	175	00.06.06	個人	西区横浜１丁目１番14	226.1	専用住宅建て替え	111	0116	元寇防塁	—	2000／８／29	12－118	遺構・遺物なし	慎重工事
23		12	2	208	00.06.19	個人	西区大字金武字大北2079番１	291.0	専用住宅建設	93	0418	大北遺跡群	—	2000／７／６	12－087	遺構・遺物なし	慎重工事
24		12	2	217	00.06.20	個人	西区大字千里字扇子279番９、10	815.7	専用住宅建替	121	0685	飯氏遺跡群	—	2000／８／８	12－109	遺構に達しない	慎重工事
25		12	2	231	00.06.23	社会福祉法人	西区今津4820－２	9,059.0	福祉施設建設	118	0675	今津Ａ遺跡群	—	2000／７／28	12－105	遺構・遺物なし	慎重工事
26		12	2	236	00.06.27	個人	西区今宿３丁目880－１	217.8	未定	112	0621	今宿遺跡群	—	2000／７／25	12－095	遺構・遺物なし、砂丘後背地	慎重工事
27		12	2	258	00.07.05	会社法人	西区大字今宿町五郎江150	76.0	通信機械室増築	112	0626	今宿五郎江遺跡	—	2000／８／10	12－112	遺構検出面に達しない	慎重工事

区別番号	調査番号	受付番号 年度		番号	受付日	申請者	申請地	開発予定面積（㎡）	民間：開発の概要 公共：事業名	分布 遺跡 地図	番号	遺跡名 遺跡	次数	試掘調査実施日	試掘報告番号	試掘結果	審査結果 判断・指示
28		12	2	292	00.07.18	個人	西区今宿２丁目983,973－７	366.1	専用住宅建築	111	0621	今宿遺跡群	－	2000／８／８	12－111	遺構・遺物なし	慎重工事
29		12	2	374	00.08.14	個人	西区大字元岡900－１	511.7	住宅増築	130	0740	元岡瓜尾貝塚	－	2000／８／31	12－124	遺構・遺物なし	慎重工事
30		12	2	375	00.08.14	個人	西区今宿青木字塚本255番2,255番 4の一部	277.4	専用住宅建築	113	0628	今宿青木遺跡	－	2000／８／23	12－114	遺構有り、盛土	慎重工事
31		12	2	464	00.09.08	個人	西区今宿上ノ原字中屋敷500番１	193.5	専用住宅建築	113	0640	本村遺跡	－	2000／９／22	12－140	遺構有り、掘削65cm	慎重工事
32		12	2	492	00.09.13	個人	西区拾六町３丁目578番４、578番５	330.6	専用住宅建築	91	0385	畑ケ尾遺跡	－	2000／９／18	12－139	遺構有り、盛土造成	慎重工事
33		12	2	503	00.09.18	個人	西区大字飯氏968－５外３筆	3,310.0	共同住宅建築	131	0689	周船寺遺跡群	－	2000／10／26	12－176	遺構なし、遺物若干	慎重工事
34		12	2	512	00.09.21	個人	西区大字千里字天蓋196番６号	34.0	倉庫建築	121	0695	飯氏遺跡	－	2000／10／４	12－154	遺構有、基礎及ばず	慎重工事
35		12	2	532	00.09.28	会社法人	西区今津字長浜4809－31	1,961.2	専用住宅建築	118	0675	今津Ａ遺跡	－	2000／10／６	12－159	遺構・遺物なし	慎重工事
36		12	2	546	00.10.04	個人	西区今宿青木1019－6, －7, －11, －13	213.7	住宅建築	112	0629	鋤崎遺跡	－	2000／10／10	12－155	遺構なし	慎重工事
37		12	2	568	00.10.11	個人	西区小戸１丁目2365－1,2349－5, －７	336.1	共同住宅建築	89	0116	元寇防塁	－	2000／11／７	12－189	遺構有、掘削達せず	慎重工事
38		12	2	577	00.10.16	個人	西区大字飯氏字下カリ町984－1,983－2,983－１の一部、985－２の一部”	984.4	共同住宅建築	131	0689	周船寺遺跡群	－	2000／11／21	12－190	遺物・遺構なし	慎重工事
39		12	2	620	00.11.06	個人	西区今宿青木字塚本255－１	231.5	専用住宅建築	113	0628	青木遺跡群	－	2000／11／20	12－191	削平済み	慎重工事
40		12	2	684	00.11.24	個人	西区小戸１丁目2364－2,2385－３	195.8	専用住宅建築	89	0116	元寇防塁	－	2001／２／１	12－239	遺構有り	慎重工事
41		12	2	749	00.12.12	個人	西区野方２丁目４－１	815.5	専用住宅建築	92	0402	戸切遺跡	－	2000／12／20	12－204	遺構・遺物なし	慎重工事
42		12	2	754	00.12.14	会社法人	西区今宿駅前１丁目702－1,1123－２	735.3	店舗建築	112	0621	今宿遺跡	－	2000／12／20	12－219	遺構・遺物なし	慎重工事
43		12	2	851	01.01.24	個人	西区千里字シビナ457－１	1,649.0	共同住宅建築	132	0689	周船寺遺跡	－	2001／３／14	12－269	遺跡あり、－30cmまでならＯＫ	慎重工事
44		12	2	978	01.03.06	個人	西区石丸２丁目485－19、－20	243.5	店舗新築	90	0381	拾六町平田遺跡	－	2001／３／13	12－272	遺構・遺物なし	慎重工事
45		12	2	694	00.11.27	個人	西区拾六町３丁目607－1,608－1, －2,609－１	1,858.0	専用住宅・共同住宅新築	104	0384	湯納遺跡	－	2000／12／５	12－203	包含層、設計変更	工事立会
46		12	2	885	01.02.05	個人	西区大字吉武字川崎35番１の一部、36番	409.8	専用住宅建築	93	0405	吉武遺跡群	－	2001／２／22	12－258	－１メートル以下で遺構。設計変更	工事立会
47	未	11	1	302	99.09.10	市建築局	西区拾六町団地	13,700.0	拾六町団地	91・104		コノリ製鉄Ｂ	－	2000／11／29		遺構有り	要本調査
48	0055	11	1	1068	00.07.31	市教育委員会総務部	西区今宿町137	697.0	今宿小学校プール改築工事	112	0626	今宿五郎江遺跡	5	2000／８／23	12－103	遺構有り	要本調査
49	未	12	2	867	01.01.29	会社法人	西区今宿町136－２他３筆	1,768.1	共同住宅建築	112	0626	今宿五郎江遺跡		2001／２／21	12－252・－284	遺構・遺物あり	要本調査

Ⅱ.発掘調査の概要

本市における埋蔵文化財の発掘調査は、西部地域(早良区、城南区、西区)を埋蔵文化財課第一係、東部地区(中央区、博多区、東区、南区)を同第二係が担当している。また、西区元岡一帯にかかる九州大学移転予定地については、別途担当課（大規模事業担当)を置き調査を実施している。

発掘調査にあたっては、本市の「整理収蔵要項」に従い、個々の遺跡に調査番号をつけ、遺構・遺物及び記録類の登録を行っている。調査番号は、西暦年度下２桁と年度中の番号を組み合わせた４桁で表している。１遺跡の調査が複数年にまたがる場合は、開始年度の登録番号のみとなる。なお、複数の遺跡を同一調査事業で調査する場合は、原則として遺跡毎に調査番号を付している。

1）平成12年度の概要

市域内で実施された本年度の発掘調査件数は、11年度からの継続事業が11件、12年度新規事業が65件の計76件である。所管課別では、埋蔵文化財課による公共及び民間開発に伴う調査が66件(11年度からの継続事業９件、12年度新規事業57件)、大規模事業担当課による九州大学移転予定地の発掘調査が７(１)件、文化財整備課事業では史跡指定地の現状変更に伴う確認調査が３件(鴻臚館跡、福岡城跡、東光院跡)である。

予算別では、国庫補助事業が25(１)件(国補20(１)件、国補＋民間受託４件、国庫＋令達１件)、民間受託事業が36(４)件、公共受託事業が18(２)件、令達事業が10(２)件、市単費事業が３件である。

調査件数は、博多区が最も多く28(５)件、西区12(２)件、早良区９件、城南区７(１)件、中央区３件、東区８(３)件、南区10件である。博多区では博多遺跡群を主として、那珂・比恵遺跡等の周辺での調査が顕著である。東区においては昨年度と同様箱崎遺跡の調査事例が増加しつつある(()内は11年度からの継続事業)。

なお、以上の他、福岡県教育委員会が早良区で実施した学校施設建設に伴う緊急調査が１件ある(調査番号0066)。

表４．発掘調査件数の推移　() 内は前年度からの継続

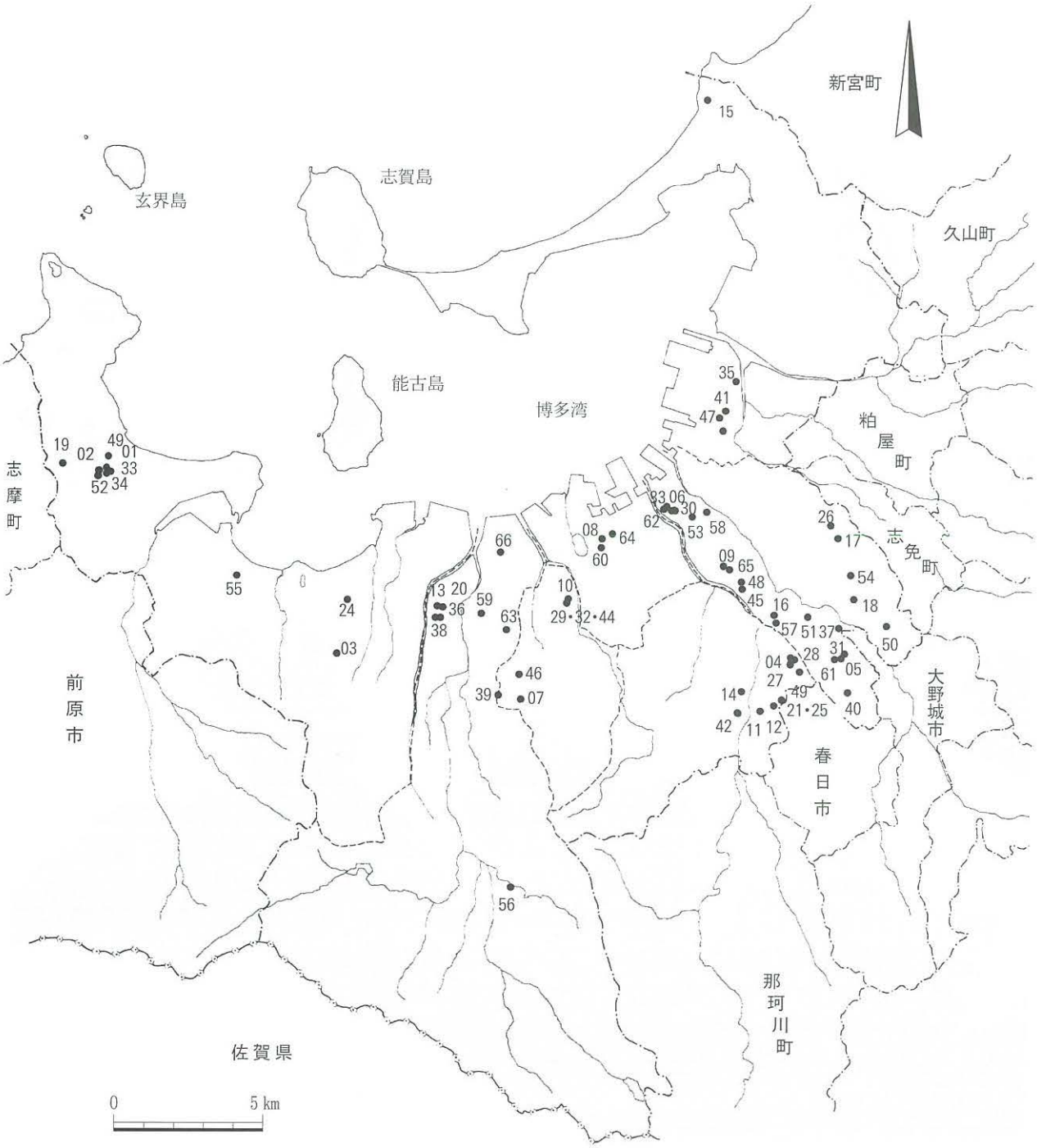
	H.8	H.9	H.10	H.11	H.12
民　間	45	51(2)	53(2)	54(4)	43(7)
圃場整備	1	2	3	1	1
公　共	31	28	34(5)	33(3)	33(4)
合　計	77	81(2)	71(7)	88(7)	76(11)

表５.発掘調査面積の推移（重要確認・整備に伴う調査は含まない）

	H.8	H.9	H.10	H.11	H.12
民　間	51,246	22,054	9,033	19,842	28,473.6
圃場整備	308	11,442	2,999	7,843	399.4
公　共	47,574	37,780	55,032	73,849	71,055.0
合　計	99,008	71,277	67,064	101,534	99,928.0

表６．平成12年度発掘調査総括表（事業及び区別一覧）

区名	事業区分	国庫補助事業							県教委	総計	主管課・機関別内訳				
		令達	受託	補助事業			市単費	小計			埋蔵文化財課所管事業	大規模事業担当所管事業	文化財整備課所管事業	鴻臚館跡調査担当	県教育委員会所管事業
				国補	国補＋民受	国補＋令達									
東区	公共	2(1)	0	0	—	0	0	2(1)	0	8(3)	8(3)	—	0	—	0
	民間	—	3(2)	1	2	—	0	6(2)	0						
博多区	公共	4	5(1)	0	—	0	1(1)	10(2)	0	28(5)	27(4)	—	1(1)	—	0
	民間	—	10(2)	7(1)	1	—	0	18(3)	0						
中央区	公共	1	0	1	—	0	0	2	0	3	1	—	1	1	0
	民間	—	0	1	0	—	0	1	0						
南区	公共	1	4	0	—	0	0	5	0	10	10	—	0	—	0
	民間	—	2	2	1	—	0	5	0						
早良区	公共	0	1	0	—	1	0	2	1	9	8	—	0	—	1
	民間	—	1	5	0	—	0	6	0						
城南区	公共	0	1	0	—	0	0	1	0	7(1)	7(1)	—	0	—	0
	民間	—	3(1)	3	0	—	0	6(1)	0						
西区	公共	3	7(1)	0	—	0	1	11(1)	0	12(2)	5(1)	7(1)	0	—	0
	民間	—	1(1)	0	0	—	0	1(1)	0						
小　計	公共	11(1)	18(2)	1	0	1	2(1)	33(4)	1	77(11)	66(9)	7(1)	2(1)	1	1
	民間	0	20(6)	19(1)	4	0	0	43(7)	0						
合計		11(1)	38(8)	20(1)	4	1	2(1)	76(11)	1	(　)内の数字は11年度からの継続事業を表す					



平成12年度発掘調査地点位置図（図中の番号は、調査番号下２ケタを表わす）

2）平成12年度発掘調査一覧表

調査番号	受付番号	遺跡名	遺跡略号	調査次数	地図番号	登録番号	調査原因	調査種別	所在地	開発面積㎡	調査対象面積㎡	調査面積㎡	古墳	調査開始	調査終了	担当者
9936	—	高畑遺跡第18次	TKB-18	18	24	95	外環状道路新設工事	公受	博多区板付６丁目地内	5,300.0	4,750.0	4,750.0		1999.09.01	2000.02.29（継続中）	長屋
9946	—	元岡・桑原遺跡群第18次	MTO-18	18	129	2782	九州大学用地造成工事	公受	西区桑原字別府地内	275,000.0	6,700.0	6,700.0		1999.10.15	12年度継続	吉留
9959	07-1-050	箱崎遺跡群第20次	HKZ-20	20	34	2639	区画整理事業	令達	東区箱崎地区	67,000.0	1,647.0	641.0		1999.12.13	2000.03.31	榎本
9969	11-2-447	博多遺跡群第122次	HKT-122	122	48	0121	共同住宅建築	民受	博多区古門戸61	219.9	219.9	206.0		2000.02.21	2000.05.08	佐藤
9971	11-2-303	那珂遺跡群第75次	NAK-75	75	38	0085	共同住宅建築	民受	博多区竹下５丁目433	1,294.4	250.0	250.0		2000.03.01	12年度継続	長屋
9972	11-2-820	麦野A遺跡群第７次	MAG-7	7	12	0048	未定	国補	博多区麦野５丁目２-33・36	2,432.9	460.0	460.0		2000.03.13	12年度継続	本田
9973	11-2-771	下原名切古墳群第１次	SBN-1	1	5	2806	福祉施設建設	民受	東区大字下原字名切648-１外６	9,892.0	310.0	310.0	1	2000.03.13	2000.05.02	大塚
9976	11-2-271	飯倉Ｃ遺跡群第5次	IKR-C-5	5	73	0246	分譲宅地造成	民受	城南区七隈２丁目831-35・979-１	945.0	390.0	350.0		1999.03.22	12年度継続	米倉
9977	11-2-778	大林遺跡第１次	OBY-1	1	103	0375	宅地造成	民受	西区拾六町５丁目977-４・外２	1,961.6	381.0	370.0		2000.03.22	12年度継続	池田
9978	11-2-732	箱崎遺跡第21次	HKZ-21	21	34	2639	共同住宅建築	民受	東区箱崎１丁目2480	1,147.3	664.0	421.0		2000.03.29	12年度継続	榎本
9981	—	吉塚遺跡群第８次	YSZ-8	8	35 36	0123	市史跡環境整備	市単費	博多区吉塚３丁目-20-37	—	—	106.0		2000.02.23	2000.06.05	荒牧
0001	—	元岡・桑原遺跡群第20次	MTO-20	20	129	2782	校地造成（九大）	公受	西区大字元岡桑原字戸山	2,750,000.0	20,000.0	2,000.0		2000.04.05	13年度継続中	菅波
0002	—	元岡・桑原遺跡群第21次	MTO-21	21	129	2782	道路新設	公受	西区大字桑原字石ヶ元地内	2,750,000.0	4,370.0	4,320.0	3	2000.04.05	2000.09.21	松浦
0003	9-1-022	野方平原遺跡第２次	NKH-2	2	91 103	0386	道路改良（拡幅）	令達	西区野方６丁目24他地内	180.0		48.0		2000.04.05	2000.04.13	久住
0004	11-2-823	井尻B遺跡群第16次	IGB-16	16	24 25	0090	事務所ビル建築	民受	南区井尻１丁目729-1	904.0	150.0	132.0		2000.04.10	2000.05.15	屋山
0005	11-2-658	麦野A遺跡第８次	MGA-8	8	25	0048	共同住宅	民受	博多区麦野３丁目10-10	1,454.0	200.0	178.0		2000.04.10	2000.05.10	井上
0006	11-2-329	博多遺跡群第124次	HKT-124	124	49	0121	事務所ビル建築	民受	博多区店屋町169	1,790.0	350.0	1260.0		2000.04.03	2001.03.10	田上
0007	10-1-278	七隈古墳群C群1号墳第１次	NNK-C-1	1	74	2814	道路建設（外環状）	公受	城南区梅林４丁目地内		450.0	340.0	1	2000.07.04	2000.08.18	米倉・蔵富士
0008	—	福岡城跡第44次（鴻臚館）	FUE-44	44	60	0193	確認調査	国補	中央区城内1-1	—	—	2,000.0		2000.04.08	2001.02.08	池崎・塩屋
0009	11-2-977	比恵遺跡群第72次	HIE-72	72	37	0127	重要遺跡確認	国補	博多区博多駅南５丁目71-14他	4,349.0	1,950.0	1,874.0		2000.05.09	2000.09.19	長家・中村本田
0010	11-2-975	田島Ａ遺跡第３次	TZA-3	3	62	0199	専用住宅建築	国補	城南区田島１丁目393－4	172.0	172.0	115.0		2000.05.10	2000.06.14	池田
0011	12-1-067	曰佐遺跡群第３次	OSS-3	3	40	0100	道路建設	公受	南区曰佐１丁目地内	5,000.0	3,000.0	3,998.0		2000.05.15	2000.11.15	横山・阿部
0012	12-1-068	寺島遺跡第１次	TRS-1	1	25	0102	道路建設	公受	南区横手南町地内	6,500.0	4,000.0	3,850.0		2000.05.15	2000.10.20	星野
0013	11-2-692	有田遺跡群第197次	ART-197	197	81	0309	専用住宅建築	国補	早良区小田部１丁目212	160.0		48.0		2000.05.18	2000.05.30	常松
0014	12-1-069	野多目A遺跡群第７次	NMA-7	7	39 40	0141	道路建設（外環状）	公受	南区野多目２丁目地内	6,700.0	2,500.0	1,591.0		2000.05.22	2000.09.29	久住
0015	11-1-280	三苫遺跡群第5次	MTM-5	5	28	0108	区画整理	国補・民受	東区三苫６・７丁目地内	100,000.0	17,000.0	17,000.0		2000.06.01	13年度継続中	中村・本田
0016	11-2-846	那珂遺跡群第76次	NAK-76	76	37	0085	住宅増築	国補	博多区那珂２丁目6-7	336.3	20.0	13.3		2000.06.01	2000.06.06	佐藤
0017	10-1-299	久保園遺跡第２次	KBZ-2	2	22 23	0083	道路建設	令達	博多区東平尾２丁目２	2,600.0	200.0	152.0		2000.06.05	2000.07.03	井上
0018	12-1-065	下月隈C遺跡群第６次	SHC-6	6	23	2625	調整池建設	公受	博多区下月隈地区	56,000.0	12,000.0	10,710.0		2000.04.11	2000.03.30	山崎（龍）上角

調査番号	受付番号	遺跡名	遺跡略号	調査次数	地図番号	登録番号	調査原因	調査種別	所在地	開発面積㎡	調査対象面積㎡	調査面積㎡	古墳	調査開始	調査終了	担当者
0019	—	元岡・桑原遺跡群第23次	MOT-23	23	129	2782	確認調査	公受	西区大字桑原・元岡地内	2,750,000.0	—	9,106.0		2000.06.10	2001.03.27	二宮
0020	12-2-027	有田遺跡群第198次	ART-198	198	82	0309	専用住宅建築	国補	早良区南庄3丁目205－5	105.4	51.0	45.0		2000.06.26	2000.07.27	池田
0021	12-1-071	笠抜遺跡第1次	KSN-1	1	25	2811	道路建設(外環状)	公受	南区横手南町地内	12,500.0	4,000.0	4,000.0		2000.07.18	2001.01.20	常松
0022	12-1-625	箱崎遺跡第22次	HKZ-22	22	34	2639	区画整理	令達	東区馬出5丁目・箱崎1丁目地内	278,000.0	5,020.0	2,976.0		2000.07.24	2001.03.31	榎本
0023	11-2-622	博多遺跡群第125次	HKT-125	125	49	0121	ビル建築	民受	博多区店屋町34、35、77地内	703.0	144.5	144.5		2000.06.20	2000.09.20	佐藤
0024	11-1-744	城の原遺跡群第1次	JNH-1	1	103	0508	道路拡幅	令達	西区上山門2丁目地内	750.0	100.0	93.0		2000.07.24	2000.08.04	米倉
0025	—	笠抜遺跡第2次	KSN-2	2	25	2811	確認調査	国補	南区横手南町地内	—	—	157.0		2000.12.1	2000.12.28	常松
0026	10-1-299	席田青木遺跡群第4次	MAK-4	4	22	0080	道路建設	令達	博多区東青木1丁目地内	1,500.0	1,200.0	548.0		2000.07.6	2000.08.17	井上
0027	10-1-032	井尻B遺跡群第17次	IGB-17	17	25	0090	道路建設	令達	南区井尻1丁目地内	4,620.0	2,150.0	1,913.0		2000.06.7	2001.03.31	屋山
0028	12-2-060	井尻B遺跡群第18次	IGB-18	18	25	0090	共同住宅建築	国補・民受	南区井尻1丁目757-3	271.5	222.0	186.0		2000.08.1	2000.08.26	池田
0029	12-2-221	田島A遺跡第4次	TZA-4	4	73	0199	専用住宅建築	国補	城南区田島1丁目309-1	661.3	163.4	140.0		2000.08.8	2000.08.18	米倉
0030	11-2-637	博多遺跡群第126次	HKT-126	126	49	0121	社屋ビル建築	国補・民受	博多区店屋町43-44	497.0	360.0	368.0		2000.08.16	2000.11.30	杉山
0031	12-2-211	麦野A遺跡第9次	MGA-9	9	12	0048	掘り車庫	国補	博多区麦野3丁目9	173.4	62.2	62.2		2000.08.18	2000.08.25	井上
0032	12-2-238	田島A遺跡第5次	TZA-5	5	73	0199	私道・掘車庫建設	民受	城南区田島1丁目309-7、2の一部	111.3	100.0	53.0		2000.08.21	2000.08.25	米倉
0033	—	元岡・桑原遺跡群第22次	MOT-22	22	129	2782	校地造成(九大)	公受	西区大字桑原字牛坂地内	2,750,000.0	3,500.0	3,890.0		2000.04.10	2000.10.20	松村
0034	—	元岡・桑原遺跡群第24次	MOT-24	24	129	2782	校地造成(九大)	公受	西区大字桑原字金屎	2,750,000.0	3,500.0	4,590.0		2000.08.21	13年度継続中	松村
0035	12-2-026	元寇防塁(地蔵松原)第9次	GKB-9	9	33	0116	JR鹿児島線高架	国補	東区筥松3丁目3575-47	4,560.0	40.0	40.0		2000.09.4	2000.09.13	榎本
0036	12-2-178	有田遺跡群第199次	ART-199	199	82	0309	自動車展示場	国補	早良区有田2丁目20-8他	428.9	20.0	45.0		2000.09.1	2000.09.12	米倉
0037	12-1-661	井相田D遺跡第3次	ISD-3	3	11	2627	道路建設	公受	博多区西月隈6丁目地内	1,800.0	1,800.0	1,800.0		2000.08.2	2000.09.21	上角
0038	12-2-273	有田遺跡群第200次	ART-200	200	82	0309	専用住宅建築	国補	早良区有田1丁目8番14	229.0	229.0	169.0		2000.09.18	2000.10.04	米倉
0039	12-1-101	野芥遺跡第10次	NKE-10	10	83	0319	道路建設(外環状)	公受	早良区野芥1丁目地内	500.0	300.0	300.0		2000.09.4	2000.09.27	蔵富士
0040	12-2-319	南八幡遺跡第10次	MHM-10	10	25	0051	共同住宅建築	国補	博多区寿町2丁目63	82.6	75.0	30.0		2000.09.25	2000.09.30	佐藤
0041	12-2-028	箱崎遺跡第23次	HKZ-23	23	34	2639	ビル建築	国補・民受	東区箱崎3丁目2404番地	381.0	304.0	188.0		2000.09.22	2000.11.02	長家
0042	12-2-206	老司B遺跡第1次	RZB-1	1	40	0149	公衆浴場建築	民受	南区老司2丁目29-1他6筆地内	4,937.1	700.0	326.0		2000.10.2	2000.11.09	久住
0043	12-2-424	井尻B遺跡群第19次	IGB-19	19	25	0090	共同住宅建築	国補	南区井尻5丁目12-32	394.1	150.0	133.0		2000.10.2	2000.10.12	池田
0044	12-2-447	田島A遺跡第6次	TZA-6	6	73	0199	専用住宅建築	国補	城南区田島1丁目309-6	128.0	70.0	70.0		2000.10.5	2000.10.16	米倉
0045	12-2-027	那珂遺跡群第77次	NAK-77	77	37	0085	乾燥パレット置場建築	国補	博多区竹下3丁目39番地他58筆	4,525.0	280.0	349.0		2000.10.4	2000.10.06	井上
0046	12-2-418	飯倉C遺跡第6次	IKR-C-6	6	73	0246	宅地造成	民受	城南区七隈2丁目1178-1、1178-19他12筆	948.6		395.0		2000.10.12	2000.10.19	蔵富士
0047	12-2-095	箱崎遺跡第24次	HKZ-24	24	34	2639	ビル建築	民受	東区箱崎1丁目2511番1他4筆	961.6	500	475.0		2000.10.23	2001.01.31	佐藤
0048	12-2-027	那珂遺跡群第28次	NAK-78	78	37	0085	貯ビン場上屋建設	民受	博多区竹下3丁目39番地他58筆	4,525.0	550.0	611.0		2000.11.15	2000.12.25	池田

調査番号	受付番号	遺跡名	遺跡略号	調査次数	地図番号	登録番号	調査原因	調査種別	所在地	開発面積㎡	調査対象面積㎡	調査面積㎡	古墳	調査開始	調査終了	担当者
0049	11-1-648	桑原飛櫛貝塚第2次	KWT-2	2	129	0737	下水道埋設	市単費	西区大字桑原地内	3,000.0	6.0	3.0		2000.11.09	2000.11.20	米倉
0050	11-1-242	立花寺遺跡第５次	RGG-5	5	11	0038	東部リフレッシュ農園	令達	博多区立花寺２丁目地内	20,000.0		416.0		2000.11.15	2001.01.13	長家
0051	12-2-542	板付遺跡第67次	ITZ-67	67	24	0094	事務所建設	民受	博多区板付２丁目9-8	203.0	54.0	54.0		2000.11.20	2000.12.12	蔵富士
0052	—	元岡・桑原遺跡群第25次	MOT-25	25	129	2782	校地造成(九大)	公受	西区大字桑原字石ヶ原地内	2,750,000.0		550.0	2	2000.12.19	13年度継続中	松浦
0053	11-2-643	博多遺跡群第127次	HKT-127	127	49	0121	店舗付き共同住宅建築	民受	博多区冷泉町41-1他	327.0	164.0	185.0		2000.12.01	2001.02.09	杉山
0054	8-1-495	下月隈鳥越遺跡第３次	STO-3	3	11	2778	空港整備	公受	博多区月隈１丁目８番	720.0	720.0	480.0		2000.12.04	2001.01.31	上角
0055	11-1-1068	今宿五郎江遺跡第25次	IZG-5	5	112	0626	プール建築	令達	西区今宿137	697.0	450.0	150.0		2000.12.19	2001.01.31	星野
0056	11-1-474	椎原B遺跡第１次	SBB-1	—	早12	0785	確認調査（圃場整備）	国補・令達	早良区大字椎原地内	169,000.0	—	399.4		2000.11.22	2001.03.22	横山・安部
0057	11-1-1077	那珂遺跡群第79次	NAK-79	79	24 38	0085	プール建築	令達	博多区那珂２丁目18-1	816.0	800.0	746.0		2000.12.08	2001.02.16	井上
0058	12-1-027	博多遺跡群第128次	HKT-128	128	36	0121	庁舎増築	公受	博多区博多駅前１丁目360番地内	380.0	380.0	307.0		2001.01.15	2001.02.28	長家
0059	12-2-570	原遺跡群第21次	HAA-21	21	82	0310	集会場建築	国補	早良区原６丁目652-2	801.5	55.0	52.0		2000.10.23	2000.10.26	米倉
0060	—	福岡城跡第45次	FUE-45	45	60	0193	確認調査	令達	中央区城内1-2	—	—	87.0		2001.01.20	2001.01.31	井澤
0061	12-2-213	麦野A遺跡第10次	MGA-10	10	12	0048	共同住宅建築	民受	博多区麦野5丁目2-33	1,634.5	600.0	404.6		2001.01.17	2000.03.17	中村
0062	12-2-526	博多遺跡群第129次	HKT-129	129	49	0121	社屋建築	民受	博多区古門戸町39、40	197.0	160.0	160.0		2001.02.01	2001.03.28	久住
0063	12-2-678	原東遺跡第2次	HRH-2	2	73	0313	宅地造成	民受	早良区飯倉４丁目252番1	1,887.0	372.0	378.0		2001.02.13	2001.03.13	蔵富士
0064	12-2-800・891	福岡城跡第46次	FUE-46	46	60	0193	ビル建設・駐車場整備	国補	中央区大名２丁目443・444-2・438	607.0	607.0	166.0		2001.03.02	2001.03.20	横山・常松
0065	12-2-711	比恵遺跡第73次	HIE-73	73	37	0127	駐車場建築	国補	博多区博多駅南５丁目39-1	292.0	100.0	100.0		2001.03.01	2001.03.08	井上
0066	—	西新町遺跡第13次	NSJ-13	13	71 72	0240	学校施設改築	—	早良区西新町６丁目１-10地内	—	—	2043.9		2000.07.03	2001.02.16	県教委

0001 元岡・桑原遺跡群第20次調査（MOT－20）

所 在 地　西区大字桑原字戸山
調査原因　大学移転に伴う造成工事
調査期間　2000.4.5～継続中
調査面積　2,000㎡
担 当 者　菅波正人
処　　置　調査中

位置と環境　調査地点は事業地の東側にあたり、別所山の東側丘陵端に位置する。今年度は調査対象地の南側部分から表土剥ぎを行い、丘陵部から谷部にかけての約7,000㎡の調査を行った。

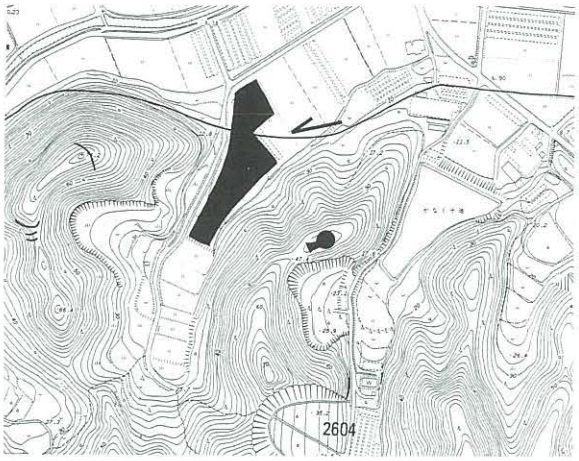
検出遺構　遺構は厚さ約50～80㎝の耕作土・床土を除去した面で検出した。調査区の北側は以前に耕地整理が行われ、上層は削平をうけている。遺構面の標高は８～10ｍを測る。

調査区西側では古墳時代後期～古代の遺物を含む整地層上面で掘立柱建物、柱穴等を検出した。整地層上面の遺構は奈良時代から平安時代にかけてのものと推測される。

遺構には２×２間の総柱建物13棟、２×３間の側柱建物４棟等が見られる。２×２間の建物は床面積約10～14㎡と小型のもので、東西約30ｍ、南北約30ｍの範囲で南北方向に柱筋をそろえて配置される。また、整地層の下層には古墳時代後期の竪穴住居跡等が存在している。

調査区東側では池状遺構 001 を検出した。001は谷を幅約３ｍ、長さ約14ｍの築堤により堰きとめたもので、長さ約35ｍ、幅約20ｍ、深さ約50～80㎝を測る。埋土からは木製品が多量に出土したが、これらの中には舟形木製品や斎串等の祭祀具があり、この場所において何らかの祭祀が行われていたと考えられる。

出土遺物　遺物は古墳時代後期～古代の須恵器、土師器、鉄製品等のほか、池状遺構及びその流出部より木簡（現在34点）を初めとして多くの木製品が出土している。木簡には年号を記したものが３点あり、８号木簡の「太寶元年」（西暦701年）と１号木簡、26号木簡の「延暦四年」（西暦785年）である。また、墨書土器も数多く出土している（「案主」、「道□」、「乙猪」、「鳥足」、「鞍手」、「常石田」等現在60点余りを確認）。



1. 調査地点の位置（129 桑原　2782　1：8000）

2. 調査区全景（南から）

・「〈太寶元年辛丑十二月廿二日
□□□□□鮑廿四連代税
官川内□□黒毛馬胸□」〔白カ〕
・「〈　六人部□□」〔特力〕

3. 出土木簡（太寶元年銘木簡）

0002 元岡・桑原遺跡群第21次調査（MOT－21）

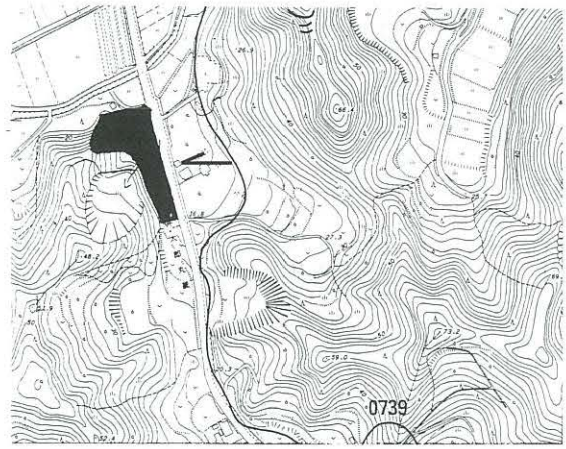
所 在 地　西区大字桑原字石ヶ元
調査原因　道路建設
調査期間　2000.4.5～9.21
調査面積　4,320㎡（古墳３基）
担 当 者　松浦一之介
処　　置　記録保存

位置と環境　調査地点は糸島半島の東部を東に流れる大原川の右岸に立地し、２ヶ所の調査区に分かれる。１区は、県道桜井太郎丸線の西側に隣接する標高14m程度の谷部に立地する。２区は桑原石ヶ元古墳群の東側の丘陵端部に立地し、標高は15～30m程度で調査前の現況は山林であった。周辺は近代の果樹園造成などにより、地形が大きく改変されている。

検出遺構　１区では畑の畝状遺構、焼土坑、ピット、石列などを検出した。土層観察から、西側の丘陵裾部を削り東側に盛土して、耕地を拡大していった様子が確認された。２区では古墳３基、小石室墳１基、土壙墓１基、焼土坑４基、ピットなどが検出された。古墳群は、平成８年度に一部確認調査を行っている。３基ともに円墳で、内部主体は横穴式石室である。石室石材には大部分に花崗岩を用いるが、３号墳のみ玄武岩が多用される。総じて墳丘は大きく削平され、石室石材の多くが抜き取られ、遺存状況は良好でなかった。この内２号墳は推定墳径約22m、石室長約６ｍを測り、群内でも最大規模である。石室床面には敷石が施され、やや大振りの石材を並べて屍床を造作していた。

出土遺物　１区からは青磁、土師器、瓦器、滑石製石鍋などが、また２区からは須恵器、土師器等の土器類のほか鉄器、ガラス製玉類、鉄滓などがコンテナケース５箱程度出土している。

まとめ　１区の出土遺物は13世紀代に集約され、この時期のこの地域の土地開発を考える上で重要である。２区の古墳群３基の築造年代は、出土遺物から概ね６世紀後半代と考えられる。また、土壙墓からは７世紀代の須恵器が出土している。この他の遺構からは遺物が出土していない。



1. 調査地点の位置（129 桑原　2782　1：8000）

2. ２号墳全景（東から）

3. ２号墳石室全景（西から）

0003 野方平原遺跡第２次調査（NKH－２）

所在地	西区野方６丁目24番地他	調査面積	48.0㎡
調査原因	道路拡幅	担当者	久住猛雄
調査期間	2000.4.5～4.13	処置	記録保存

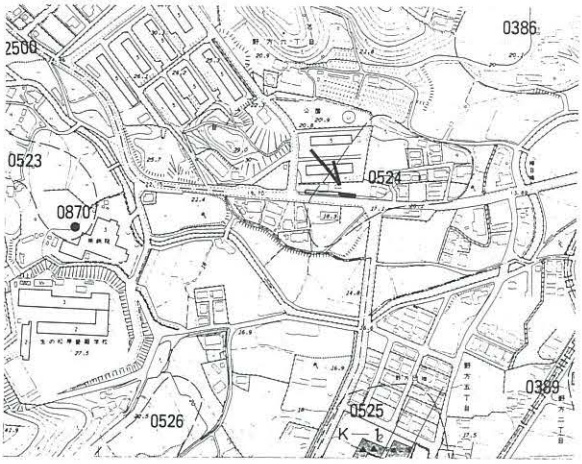
位置と環境　本調査地点は、早良平野の西側、叶岳の北東側裾野に広がる扇状地台地の一角にある。野方遺跡群は古代官道であった広石峠の出入口に位置する。分布地図上の野方平原遺跡の想定範囲は、大半が戦後の造成により削平されていると考えられる。調査地点は、想定遺跡範囲の南端付近にあたる。付近の標高は16.5m～18.5mである。

検出遺構　表土直下で腐植土化した暗褐色土の包含層が認められた。この下面を遺構検出面とした。地山は、花崗岩媒乱土または斜面堆積した黄褐色土と花崗岩の混合層である。また検出面は南側の道路に下がる斜面をなし、前述の包含層は道路寄りの南側でやや厚く、北側ではほとんど無い。包含層からは、主に７～10世紀、一部弥生時代後期の遺物を検出した。地形から、本来斜面上方にあった遺跡の土壌および遺物が下方に流れ二次堆積したのであろう。検出遺構は、半円状をなす溝状遺構１(SD01：奈良時代)、柱穴４、土坑２(柱穴・土坑は古墳時代後期から平安時代前期か)、包含層の落ち込みの不明遺構２がある。遺構の残り方から著しい削平ないし流失が考えられる。

出土遺物　出土遺物は、奈良時代から平安時代前期の遺物が主体で、土師器が多く、他に須恵器、瓦片、鉄滓が若干ある。その他、古墳時代の土師器、飛鳥時代の須恵器、弥生土器(後期)が若干出土した。総量パンケース１箱である。

まとめ　第１・２次調査ともに、遺構の残存状況は良好ではなかった。しかし２回の調査により、弥生時代後期から平安時代前期までの野方平原遺跡における人間生活の痕跡が判明したのは予想外の成果である。

報告書は第１次調査分とともに2001年度刊行予定である。



1. 調査地点の位置（104 拾六町　0524　1：8000）

2. 調査区全景（西から）

3. 半円状溝SD01（西から）

0004 井尻B遺跡群第16次調査（IGB－16）

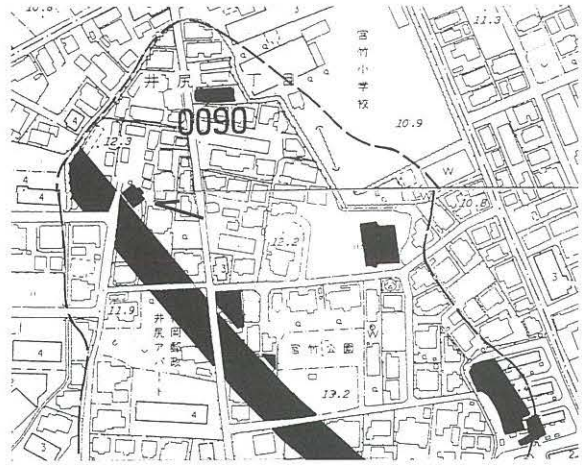
所 在 地　南区井尻１丁目729-1
調査原因　事務所建築
調査期間　2000.4.10～5.15
調査面積　132㎡
担 当 者　屋山　洋
処　　置　記録保存

位置と環境　井尻Ｂ遺跡群は福岡平野の中央部付近の那珂川と御笠川に挟まれた春日丘陵から博多湾に向かって北西に延びる台地上に位置する。これまでの調査で弥生時代から古代の遺構が確認されている。本調査区は台地の北西端に位置する。遺構検出面は鳥栖ロームで土壌の状態から１ｍ前後削平をうけたと思われる。

検出遺構　弥生時代中期中葉の墓を確認した。甕棺は大型棺４基、小型棺９基で、その他土壙墓４基、祭祀土坑３基などである。大型棺はいずれも汲田式で、須玖Ｉ式の小型棺を伴うものもある。土壙墓は副葬品はないが、墓壙内に甕棺と同時期の小型甕棺を伴うことから甕棺と同時期であると思われる。調査区端の１辺150㎝の方形土坑は性格が不明であるが、それを除けば生活遺構はなく集落内で墓域が明確に分かれていたことが判る。

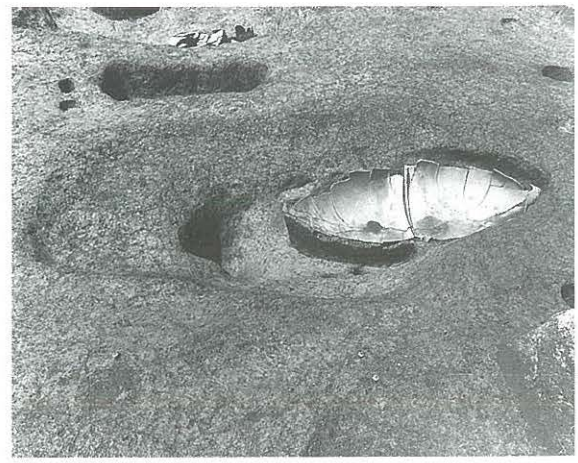
出土遺物　約20箱の遺物が出土した。そのほとんどは甕棺片である。その他祭祀土坑から広口口縁壺が出土している。表採資料では６世紀代の須恵器などもあり、周辺に集落か古墳などが存在した可能性が高い。また、土坑から中世に属する鉄刀が出土している。

まとめ　隣接地を道路新設の為の発掘調査を行い、ある程度集落の様相が判ってきた所である。集落は弥生時代前期の初頭から始まり小規模ながら中期前半まで続いたと思われる。中期前半の城ノ越から須玖Ｉ式のあたりで遺構が増え始める。その時期の遺構はあまり残ってないものの遺物は後世の遺構から多量に出土する。後期後半になると台地全体に集落が形成されるようになる。調査報告書は2002年度刊行予定である。



1. 調査地点の位置（24 板付・25 井尻　0090　1：4000）

2. 調査区全影景（北から）


3. 甕棺墓（南から）

0005 麦野A遺跡群第８次調査(MGA－８)

所　在　地　博多区麦野３丁目10-10
調査原因　共同住宅（分譲）
調査期間　2000.4.10～5.10
調査面積　178㎡
担　当　者　井上繭子
処　　置　記録保存

位置と環境　麦野Ａ遺跡群は、御笠川西岸の南北に伸びる台地上に立地する。本調査区は麦野Ａ遺跡群の中央やや東寄りに位置する。遺構面は現地表下約20㎝、標高約14.9～15.4ｍの鳥栖ローム上面であり、調査区の南西から北東に向かって傾斜する。台地の縁辺部にあたると思われる。

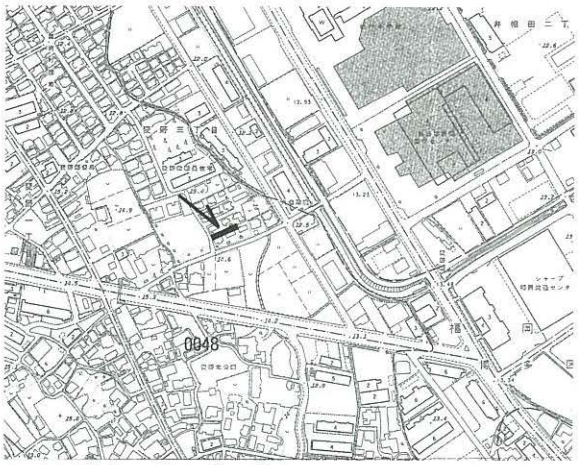
検出遺構　住居跡４軒、１間×２間の掘立柱建物、ピットが検出された。遺構面は表土直下であり、かなり削平を受けていたために住居跡はほとんど床面のみの検出である。遺構の埋土は黒褐色土と灰褐色土の２種類あり、少なくとも２時期にわたる生活面が考えられる。

住居はいずれも平面が一辺２～３ｍの方形を呈し、内３軒に竈の痕跡が残っていた。竈は袖部が崩れて粘土が広がっている状態であったが、粘土を除去すると支脚に用いられたと考えられる土器片が検出された。内２軒は、粘土下面に焼土が広がっていた。また、いずれの住居も床面に貼床を持ち、壁際を中心に小柱穴が検出されている。

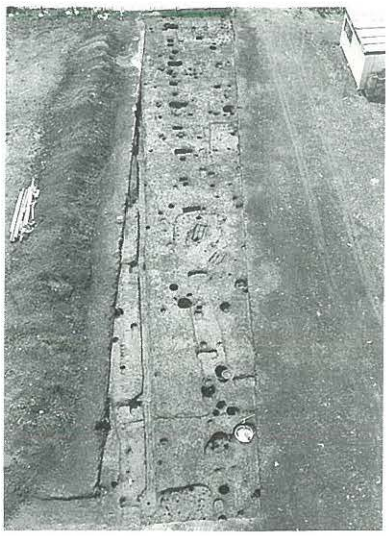
出土遺物　遺物はほとんど出土しておらず、SC02の竈付近に土師器の盤、甕が検出された。遺物量はパンケース１箱分である。

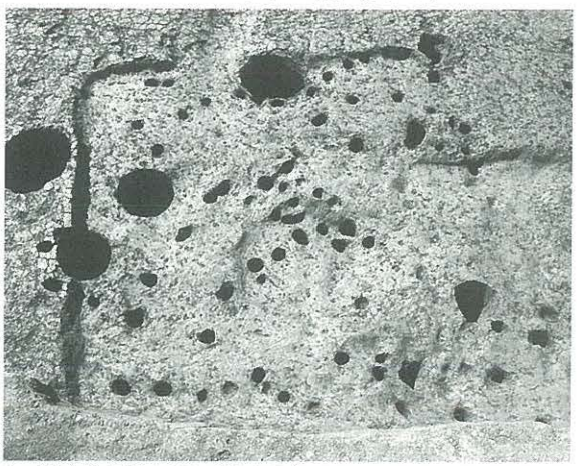
まとめ　遺構面である鳥栖ロームは、遺構の残存状況から考えてかなり削平を受けているものの、南西から北東へ向かう傾斜は旧地形を残していると思われる。本調査区では古代の住居跡が４軒、その他、時期は不明ながら掘立柱建物や柱穴が検出され、集落が広がっていたことが明らかとなった。また、第９次調査地点からは、台地縁辺を巡る15～16世紀の溝が検出されており、比較的長期にわたって、集落が形成されていたことが推定される。

報告書は、2001年度に刊行予定である。



1. 調査地点の位置（25 井尻　0048　1：8000）


2. 調査区全景（東から）


3. 竪穴住居跡SC01（北から）

0006 博多遺跡群第124次調査（HKT－124）

所 在 地　博多区店屋町169
調査原因　社屋建設
調査期間　2000.4.3～2001.3.10
調査面積　1,260㎡
担 当 者　田上勇一郎
処　　置　記録保存

位置と環境　調査地点は博多浜と息の浜をつなぐくびれ部西側の、博多浜側に位置する。現在の標高は4.0m前後である。

検出遺構　3面の調査面を設定し、遺構調査を行った。

第1面は全体の3分の1を対象にした。標高は1.7～2.8mで、北側へ傾斜している。18世紀以降の遺構を中心に検出した。

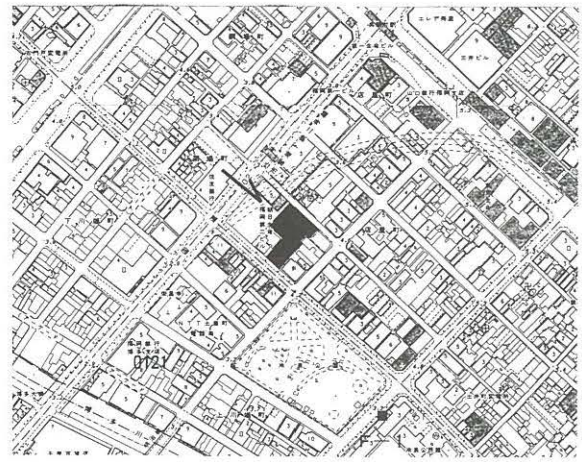
第2面は標高1.7～2.3mで、16～17世紀の遺構を検出した。発掘区北側では黒褐色粘土が広がり、木器(下駄・箸・漆器)が多量に出土した。また、「順心庵」と書かれた木札が出土している。粘土中には杭列がみられ、海を埋め立てた痕跡と考えられる。また、西側では南北方向に伸びる幅3～4mの道路を検出した。幾層もの細かい整地面がみられ、非常に硬化している。発掘区中央部には径90cmほどの円形の掘り方に136点の陶磁器（備前擂鉢1点、朝鮮陶磁2点の他は中国陶磁)と6点の金属製品を整然と埋納した土坑が検出された。16世紀半ば過ぎの一括資料として注目される。

第3面は標高0.9～1.4mの砂の面で14～16世紀の遺構を検出した。砂は砂丘砂ではなく、河川の堆積や埋め立て、整地によるものと思われる。柱穴に根石を据えるものが多い。西側に南北方向の溝があり、杭で護岸がなされていた。

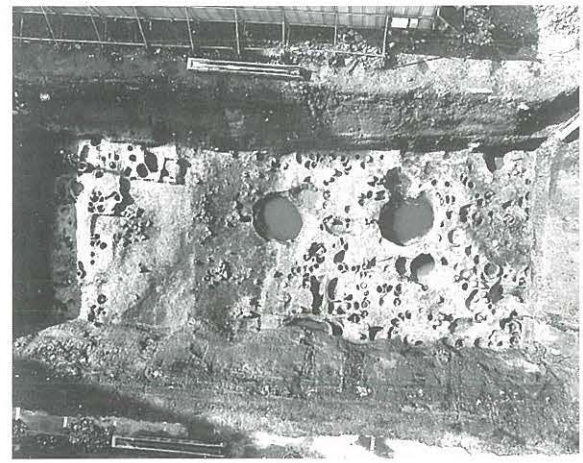
出土遺物　中国の青花、青磁、白磁、陶器、肥前系陶磁器、備前陶器、瀬戸天目のほか、タイ、ベトナムの東南アジア産の陶磁器もみられる。

まとめ　今回の調査区では南側で14世紀から遺構がみられ始める。北側は波打ち際から湿地へと変化していく。16世紀には西側に道路が通され、道路脇に屋敷が建ち、その裏側は埋め立てられている。近世には全域に遺構が広がり、博多の町の中にとりこまれていった様子が想定される。

調査報告書は2002年度刊行予定である。



1. 調査地点の位置（49 天神　0121　1：8000）


2. 調査区西側第3面全景（南から）

3. 陶磁器埋納土坑SK236（北から）

0007 七隈古墳群C群第1次調査（NNK－C-1）

所 在 地　城南区梅林４丁目地内
調査原因　道路建設（外環状線）
調査期間　2000.7.4～8.18
調査面積　340㎡（古墳１基）
担 当 者　米倉秀紀・蔵富士　寛
処　　置　記録保存

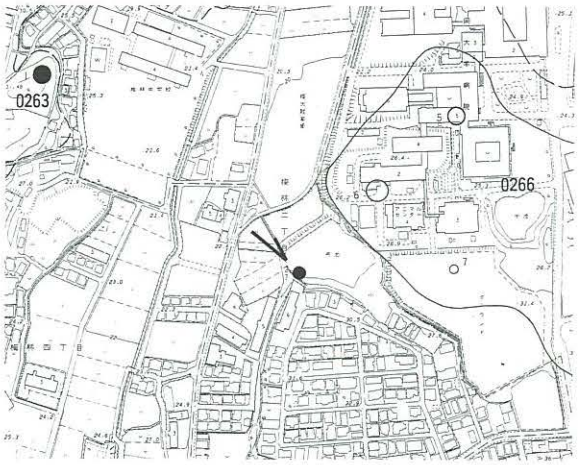
位置と環境　当古墳は油山から張り出した丘陵先端部に位置する。現在では、池(弓池)のほとり、南西側の斜面に存在する形となっている。東側６ｍほどの位置には、２号墳が存在する。

検出遺構　古墳は相当の破壊を受けており、墳丘はほとんど残っておらず、また主体部(横穴式石室)も天井部や奥壁の大半を失っていた。主体部は横穴式石室(竪穴系横口式石室)で、玄室は長さ２ｍ、奥壁側の幅が１ｍとやや広い、羽子板形の磴平面プランを呈している。入口部分では、積石による袖部がやや突出し、閉塞石が立て掛けられていた。羨道は無く、側壁が「ハ」の字に広がる前庭部を有する。墳丘では周溝の一部を検出することができた。その結果から勘案すれば、当古墳は径８ｍ程の円墳であろう。

出土遺物　出土遺物の大半は、石室内部で検出された。玄門右袖部の一隅からは、須恵器が一括して認められ、身と蓋が合わさった蓋杯２個の上に大形の磴が１個置かれていた。その他、石室内からは、蓋杯１個体分、刀子２点、鉄鏃２点が出土した。いずれも原位置を留めているものではない。

まとめ　当古墳築造の時期は、出土した須恵器(蓋杯)より、５世紀後半～末葉と考えておきたい。この調査は古墳の遺存状況からみれば、大きな成果を挙げることができた。特に、５世紀段階における、主体部内での容器供献事例に、新たな一例を加えることができた。

報告書は、2001年度刊行の予定である。



1. 調査地点の位置（74 七隈　2814　1：8000）

2. １号墳主体部（南西から）

3. 石室内遺物出土状況（北から）

0008 福岡城跡第44次調査（FUE－44）

所 在 地　中央区城内1-1
調査原因　確認調査
調査期間　2000.4.24～2001.2.8
調査面積　2,000㎡
担 当 者　池崎譲二・塩屋勝利
処　　置　埋め戻し保存

位置と環境　国指定史跡福岡城跡（舞鶴公園）内に所在した鴻臚館跡の全容解明を目的とした確認調査である。鴻臚館跡関連調査では第18次となる。平和台野球場南側半分の調査を第Ⅳ期調査とし、平成12年度は平成11年度調査区の北西部分（野球場のライト側グランド及びスタンド）を対象とした。なお、前年度調査未了部分も調査した。

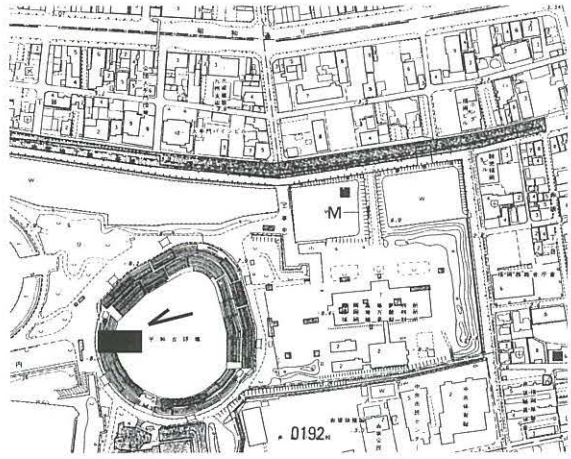
検出遺構　バックホーで平和台野球建設時の盛り土であるスタンド部分、野球場解体時の埋土であるグランド部分の除去を先行して実施し、以下を人力で精査した。

平成11年度調査で調査区を南北に分ける堀の存在が明らかになっていた。この堀には南北をつなぐ陸橋状の築堤も造られており、鴻臚館遺構の堀北側への広がりが予測された。平成12年度は堀北側での鴻臚館（筑紫館）遺構の検出が最重点目標となった。

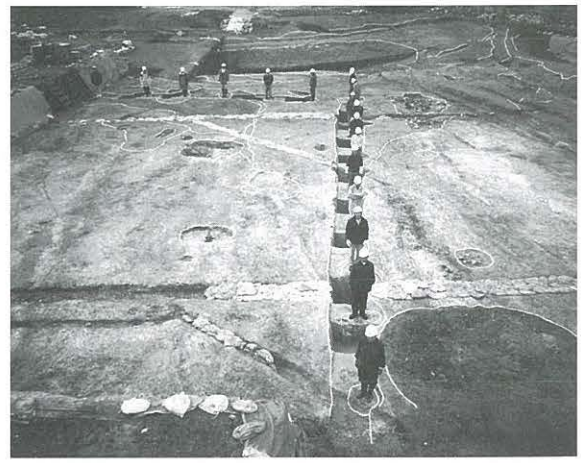
その結果、鴻臚館第Ⅱ期の建物区画（布掘り掘立柱列）の西南隅が検出された。南北の軸線は真北から2°東に偏し、堀南側で検出されていた鴻臚館第Ⅱ期の建物区画西列の延長線に一致し、柱間も2.4mで共通することがわかった。この区画西側に水溜まり状の池が存在し、さらに西側に大量の瓦で整地された平坦面があり、水溜まり状池の水は、平坦面を溝で横断し、陸橋状築堤西側の池に流下する。この他、中世後半期の井戸、連隊物干場基礎も検出されている。

出土遺物　大量の鴻臚館関係瓦、陶磁器が出土している。特に築堤西の池に流下する溝から、老司系軒先瓦が30点ほどまとまって出土している。

まとめ　堀で南側建物群は画されていることが明らかであり、さらに堀北側で鴻臚館第Ⅱ期の建物区画が検出されたことから、堀北側にも別区画の鴻臚館（筑紫館）関係施設が存在したことが明らかになった。



1. 調査地点の位置（60 舞鶴　0193　1：8000）


2. 掘北側第Ⅱ期建物区画（北から）

3. 老司系瓦

0009 比恵遺跡群第72次調査（HIE－72）

所 在 地　博多区博多駅南５丁目71-14
調査原因　重要遺跡確認調査
調査期間　2000.5.9～9.19
調査面積　1,874㎡
担 当 者　長家伸・中村啓太郎・本田浩二郎
処　　置　現状保存

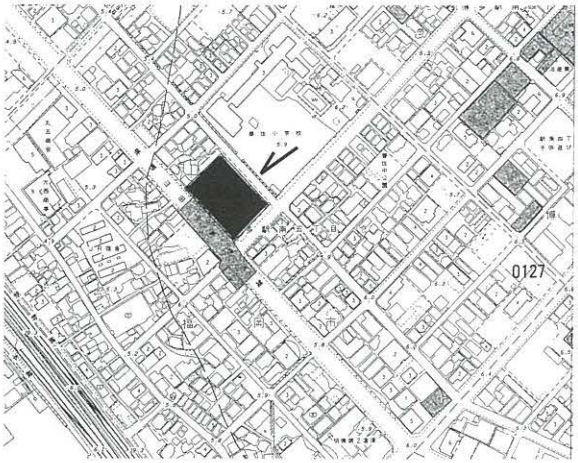
位置と環境　比恵遺跡群は那珂川と御笠川に挟まれた洪積丘陵上に立地する。本調査地点は丘陵の北西端部で、旧状は丘陵本体から130ｍほど切り離された島状の部分にあたる。調査地点の同一敷地北側では1984年に調査が行われ、６世紀後半以降に構築され７世紀後半までには廃絶したと考えられる３本柱による柵状遺構とこれに伴う７棟の総柱建物を確認している。今回は前回調査部分の遺構残存状態と関連遺構確認を目的として調査を行った。

検出遺構　まず前回調査部分を確認したところ、調査・埋め戻し後から大きく削平・撹乱を受けておらず、掘り下げ後の遺構の残存状態は比較的良好であることが判明した。また南側隣接部分では前回調査で確認された柵状遺構に対応する南側の柵状遺構が確認できた。またこれに伴い新たに３棟の総柱建物を検出している。この結果柵状遺構で囲まれた南北約55ｍ、東西50ｍ以上の範囲の中に少なくとも10棟の総柱建物が配置されていることが確認された。これらの遺構群は日本書紀に記される「那津官家」に関連する可能性が高く、本地点周辺比恵遺跡群内や早良区有田遺跡群でも同様な遺構群が確認されている。その他弥生時代前期～中世の遺構として貯蔵穴20基、竪穴住居10棟、井戸65基、甕棺墓13基、土坑墓１基、溝２条等が確認されている

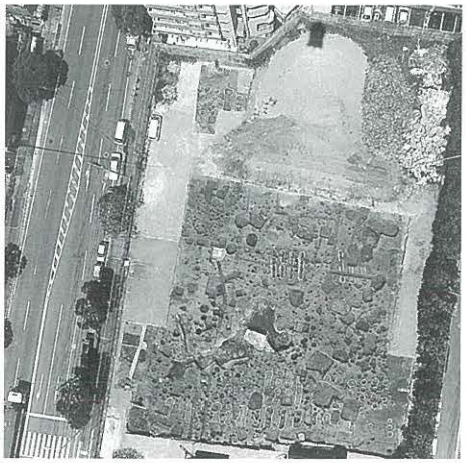
出土遺物　遺物は総量で須恵器などがコンテナ214箱分出土している。

まとめ　今回の調査により「那津官家」に関連したと考えられる施設を良好な状態で確認することができた。現在、調査地点は前回調査地点とあわせ国指定史跡として指定され、保存・整備について検討されているところである。

2000年度に概報を刊行済み。本報告は2002度年以降に刊行予定。



1. 調査地点の位置（37 東光寺　0127　1：8000）


2. 調査区全景（上から）

3. 調査区全景（北から）

0010 田島A遺跡第3次調査（TZA－3）

所在地	城南区田島1丁目393-4	調査面積	115㎡
調査原因	個人専用住宅建築	担当者	池田祐司
調査期間	2000.5.10～6.14	処置	記録保存

位置と環境　調査地点は樋井川の西側中位段丘上に位置し、南北に延びる台地の東側斜面にあたる。南側隣接地は第1次調査地点である。現況は宅地であり、標高は7mを測る。

検出遺構　調査区は東側に落ちる斜面で、現地表から30cmから120cmの旧表土等を除去したローム層上面で調査を行った。検出した遺構は古墳時代の住居跡4軒、土坑、溝、掘立柱建物、ピットで全体に広がる。住居跡のうちSC01は、調査区中央に位置しその全プランを確認できるが、他は区外に広がる。

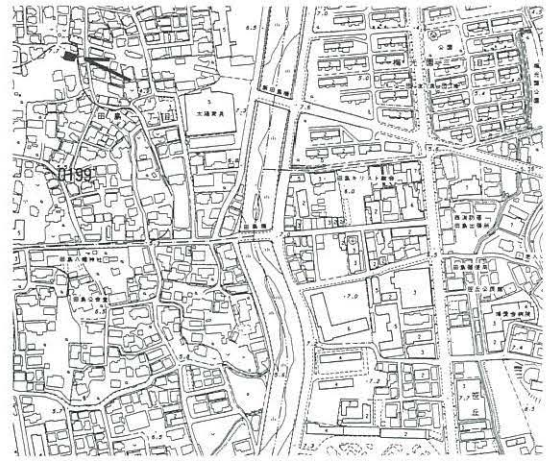
SC01は5m×5.5mの方形プランで、壁は50cmほどが残存し、床面には炉状の焼土面が3カ所でみられる。溝は耕作等によるものと考えられ、遺物が少なく時期が決め難い。ピットは大型のものもあるが並ばない。

出土遺物　SC01の床面南側には土器が散乱し、土師器の他に蛸壺、滑石製の玉、鉄器といった特徴的な遺物が出土している。SC02からはほぼ完形の山陰系甑型土器が横たわった状態で出土した。SC03・04からは土師器、須恵器が出土している。ピットからは古墳時代の遺物のほか、古代の遺物の出土が目立つ。

住居跡はSC02が4世紀代、その他は6世紀のものと考えられる。

まとめ　遺構の残りが良好で、高密度な広がりを見せた。台地上は木造の建物が多く、周辺に同様の遺構が広がりかつ残存していると考えられる。

報告書は2001年度刊行予定である。



1. 調査地点の位置（62 小笹　0199　1：8000）

2. 調査区全景（西から）

3. 竪穴住居跡SC01（北から）

0011 日佐遺跡群第３次調査（OSS－３）

所　在　地　南区日佐１丁目地内
調査原因　道路建設
調査期間　2000.5.15～11.15
調査面積　3,998㎡
担　当　者　横山邦継・阿部泰之
処　　置　記録保存

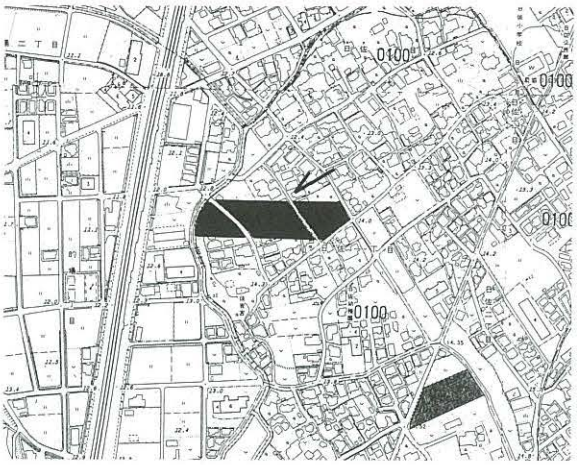
位置と環境　日佐遺跡群は、福岡平野を南北に貫流する那珂川の中流域右岸に位置する。本調査区は、遺跡群の西端部に位置する。

検出遺構　発掘調査は、厚さ約1.2～1.5mの盛り土・耕作土を重機にて除去した後に行った。検出された遺構は、土坑・溝・柱穴を含むピット多数・地床炉と思われる掘り込みである。遺構は、西側に多く分布し、調査区東端にはほとんど認められない。土坑は、32基検出され、出土遺物から平安時代末～室町時代前期の所産と考えられる。SK02からは井筒痕が検出され、井戸と思われる。溝は、22条検出された。溝SD01・12は、古墳時代後期と考えられるが、その他の溝は、平安末～室町前期に属するものと思われる。掘立柱建物は、東側調査区（Ⅱ区）において４棟検出された。すべて南北棟で、おのおのほぼ並行に建てられている。出土した遺物・切り合い関係から、この４棟は、極めて近い時期に存在したと考えられる。地床炉SX01は、不整形な楕円のプランで、地山のシルトを直接掘削してつくる。埋土には、炭化物片が多く含まれ、縄文土器の細片が４点出土した。

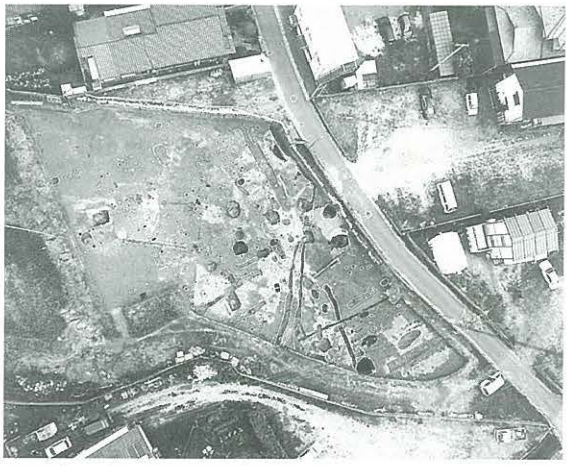
出土遺物　コンテナ41箱分出土している。中世の陶磁器類・土師器が多く、土坑SK17の底部から中国南部産の瓶が完形で出土しているほか、溝SD20からは複弁の蓮華文を持つ軒丸瓦が出土した。遺構検出面の黄褐色シルトからは、縄文土器・石器など、後期中葉～晩期にかけての遺物が出土した。SX01もこの時期か。その他、包含層からは弥生前期に属する遺物も少数だが出土している。

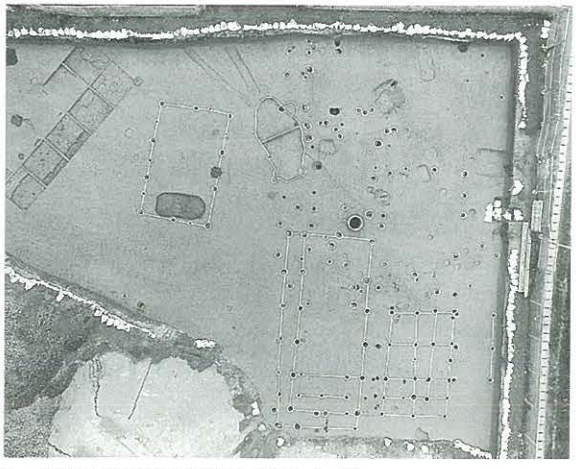
まとめ　今回の調査では、中世前半の集落の一部が確認できた。一部古墳時代後期の遺構も見られるが、遺構の主体は12世紀代で、建物の時期は11世紀末～12世紀初頭である。調査地周辺が本格的に開発されたのはこの時期であろう。

2002年度に報告書刊行予定。



1. 調査地点の位置（25 井尻　26 上日佐　39 三宅　40 老司　0100　1：8000）


2. 調査区（Ⅰ区）全景（北側上空から）


3. 掘立柱建物検出状況（真上から）

0012 寺島遺跡第１次調査（TRS－１）

所在地　南区横手南町
調査原因　道路建設（外環状線）
調査期間　2000.5.15～10.20
調査面積　3,850㎡
担当者　星野恵美
処置　記録保存

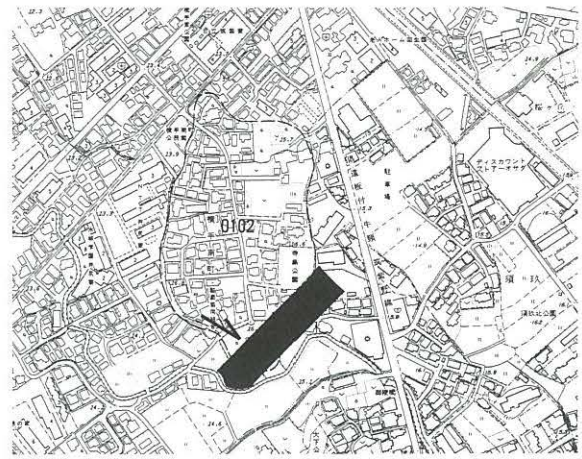
位置と環境　寺島遺跡は御笠川・那珂川が流れる福岡平野のほぼ中央に位置し、両河川の間に派生している台地上に立地する。調査地点は寺島遺跡の南端に位置し、標高は15mを測る。遺跡の南側・東側には用水路が走り、遺構は大きく削平されていた。

検出遺構　古墳時代初頭を中心に旧石器時代、弥生時代、古代、中世の遺構を検出した。旧石器時代では土坑２基を確認し、そのうち１基からは剥片１点が出土した。弥生時代では前期の土坑１基・終末期の井戸１基・竪穴住居跡４軒を検出した。井戸からは土器と共に柱・木製鍬の欠損品が出土している。古墳時代の遺構は方形の竪穴住居跡６軒・１間×１間の掘立柱建物跡１棟・井戸２基・多数の土坑・ピットを検出した。竪穴住居跡は中央に炉跡、それを挟んで２本の柱穴・ベット状遺構・出入口土坑を付設する。古代では東西方向に直線に走る溝２条・土坑１基を検出した。中世では長軸14m、短軸２～４mの楕円形を呈した窪み状の遺構を検出した。

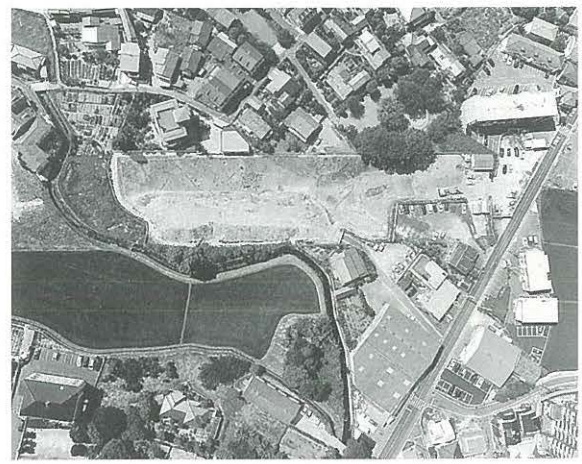
出土遺物　本調査ではコンテナ30箱分の遺物が出土した。上述した以外の時期のものでは縄文時代前期の石鏃が出土している。

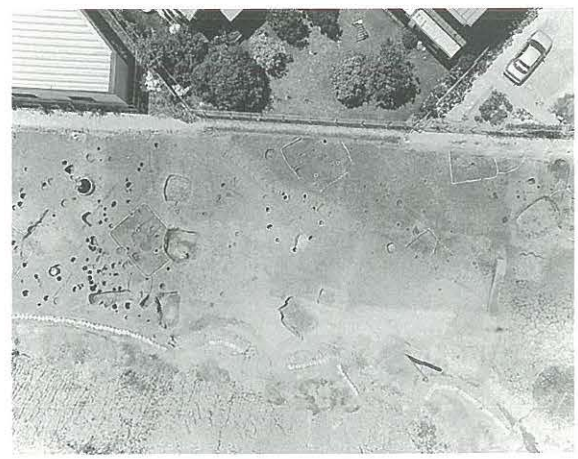
まとめ　今回の調査地点では古墳時代初頭を中心とした集落が営まれていたことを確認した。集落は北側に続く様相を呈し、地形的にも北側に向かって高くなっていることから遺跡の中心は北側にあると考えられる。調査区の北東側500m離れた所に前方後円墳である御陵古墳が所在する。古墳の詳細は不明であるが、今回調査の古墳時代初頭の集落とほぼ同時期であると考えられ、集落との関係がうかがえる。

調査報告書は2002年度に刊行の予定である。



1. 調査地点の位置（25 井尻　0102　1：8000）


2. 調査区東側全景（真上から）


3. 住居跡群（真上から）

0013 有田遺跡群第197次調査（ART－197）

所　在　地　早良区小田部１丁目212
調査原因　個人専用住宅建築
調査期間　2000.5.18～5.30
調査面積　48㎡
担　当　者　常松幹雄
処　　置　記録保存

位置と環境　有田遺跡群は福岡市の西郊に位置している。周辺には原遺跡などが展開する。調査地は、有田・小田部の舌状台地の北側にあたる。

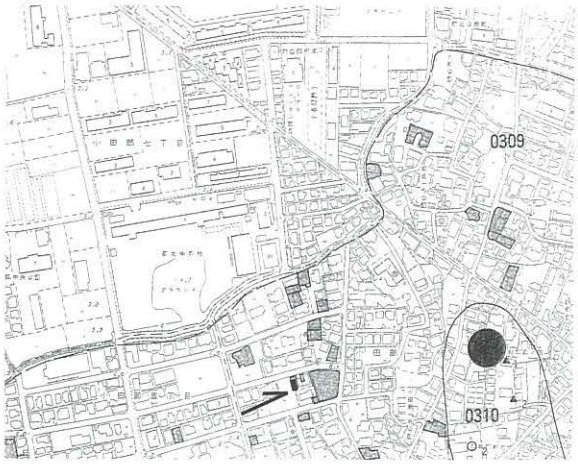
遺構は標高15m前後の鳥栖ローム層面で検出された。調査は個人専用住宅用地内の削平をうける約45㎡の面積範囲内であった。

検出遺構　検出された遺構は、近世以降の幅40㎝、深さ15㎝の溝２条と柱穴、さらに南西隅で深さ１ｍを超える溝が確認された。南西隅の溝は、底を確認し得なかったがほぼ東西方向に延びており、33次調査で確認された古代の溝との関連が注目される。限られた面積の調査であり遺構の規模・性格などについて今後の検討を必要とするが、区画溝的な性格を持つ遺構の可能性がある。

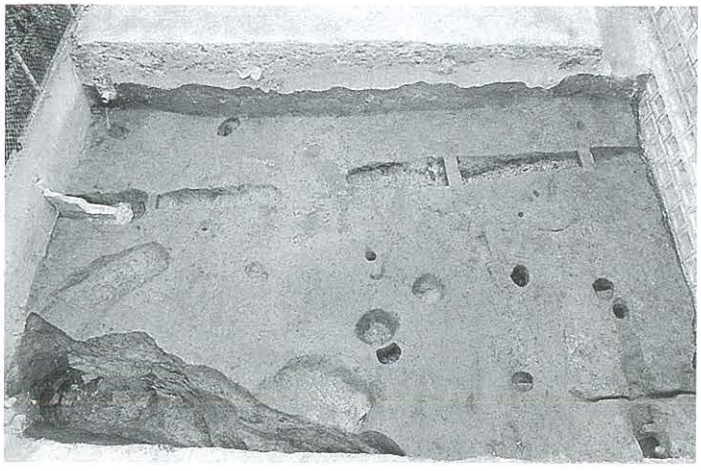
出土遺物　須恵器、鉄滓などコンテナ１箱がある。

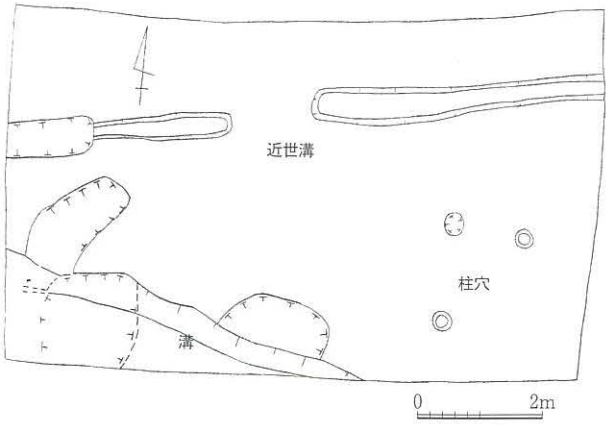
周辺の調査においても古墳時代から古代にかけての遺構が検出されており、付近一帯に大規模な遺構群が展開していたことが明らかとなっている。本調査区で検出された溝状遺構は、ほぼ東西方向に掘削されており、その構造からも貴重な遺構であることが窺える。

まとめ　第197次調査地点は限られた面積の調査であるため今後の調査において遺跡群の位置づけが明らかになることに期待したい。



1. 調査地点の位置（室見 81　0309　1：8000）


2．調査区全景（南から）



3．遺構配置図（１：120）

0014 野多目A遺跡群第７次調査（NMA－７）

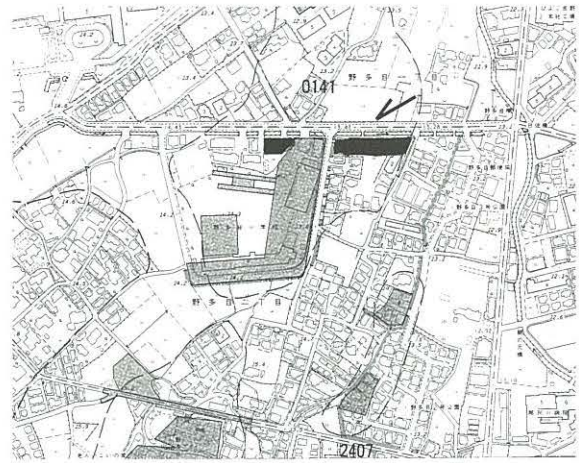
所 在 地　南区野多目２丁目地内
調査原因　路建設（外環状線）
調査期間　2000.5.22～9.29
調査面積　1,591㎡
担 当 者　久住猛雄
処　　置　記録保存

位置と環境　野多目A遺跡群は、那珂川の中流西岸に形成された河岸段丘上に位置する。調査地点は、遺跡群の中央南東部にあたる。調査地付近の道路面の現標高は13.0～14.0mである。

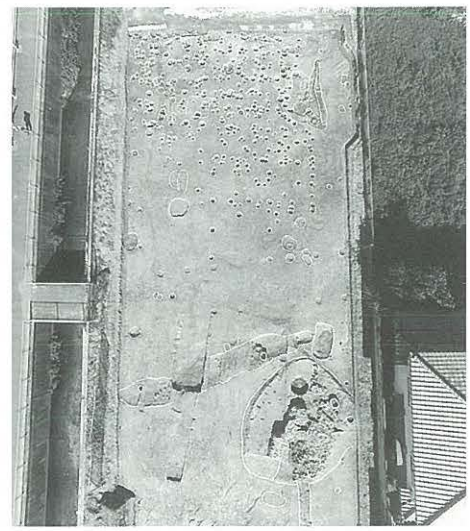
検出遺構　調査区は対象地東側の１区と、西側の２区に分かれる。１区は西半を1A区、東半を１B区とした。１A区は、その西半で旧河道の谷とその上面に水田、溝状遺構４を検出し、水田下部から、杭列・井堰遺構・蓆状の護岸遺構などの灌漑施設を検出した。１A区中央から東側の１B区では、溝状遺構20、多数の柱穴群(建物多数)、土坑35、井戸４などを検出した。１A区では、調査前から島状に存在した塚SX001があったが、17世紀の築造であることが判明した。２区では柱穴、溝状遺構２(古墳時代？)、井戸１(近世)、風倒木痕を検出した。調査区北西部には薄く黒褐色の包含層が認められた。

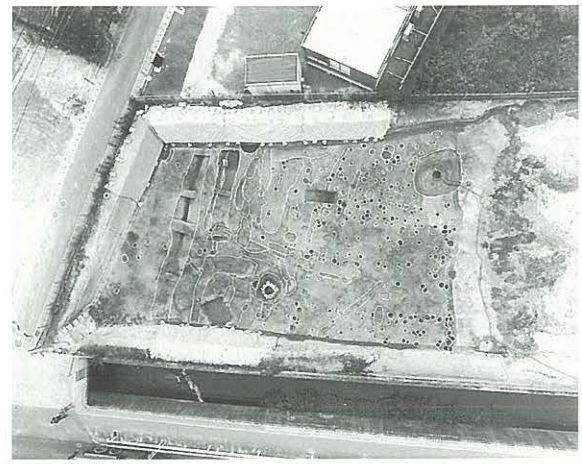
出土遺物　１区の出土遺物には、中世後期から近世前期(15～17世紀)の土師器、瓦質土器、輸入陶磁器、国産陶磁器(初期の肥前陶磁など)、石製品、鉄製品、青銅製品(煙管)、木製品(井戸枠部材、板状製品、井堰杭材など)があり、一部古代から中世前期の土器・陶磁器がある。２区の出土遺物には、縄文土器、石器、古墳時代～古代の土師器、近世の陶磁器がある。遺物の総量はパンケース45箱前後である。

まとめ　調査では、主に中世後期から近世前期の遺構を検出したが、これは北側の４次調査の遺構群と同じであり、『筑前国続風土記拾遺』の「野多目村」の「古村」にあたると考えられる。出土遺物も、16世紀から17世紀中頃までが多く、1644年(正保元年)に村を移転したという記録と合致する。また塚SX001の性格解明も今後の課題である。報告書は2002年度刊行予定である。



1. 調査地点の位置（40 老司　0141　1：8000）


2. １A区東半～中央全景（北から）


3. １B区全景（北から）

0015 三苫遺跡群第５次調査（MTM－５）

所 在 地　東区三苫６・７丁目地内
調査原因　区画整理に伴う造成工事
調査期間　2000.6.1～（13年度継続中）
調査面積　17,000㎡
担 当 者　中村啓太郎　本田浩二郎
処　　置　記録保存

位置と環境　三苫遺跡群は玄界灘に面した海ノ中道の基部の丘陵上に立地する。本調査地点は４地点に分かれ、標高約５m～22mの丘陵上に形成された占砂丘に位置する。かつては畑が営まれていたが、現況は荒地であった。

検出遺構　縄文時代後期と考えられる土坑、弥生時代中期の谷状遺構、土坑、ピット、古墳時代の竪穴住居60軒以上、掘立柱建物、土坑、ピット、円墳８基、古代～中世の掘立柱建物、溝、井戸、土壙墓、土坑、ピット等を検出している。

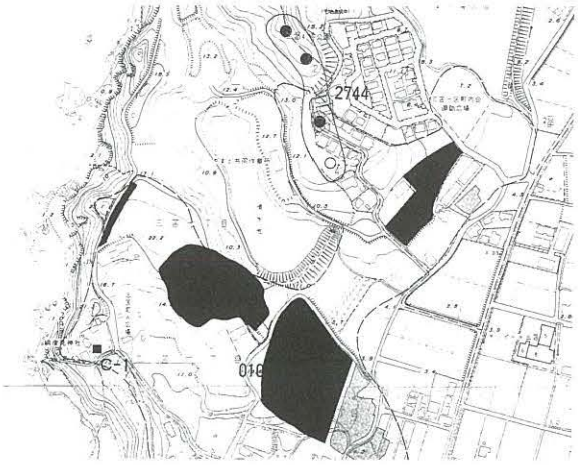
竪穴住居には屋外に延びる溝が付設するタイプがあり、また焼失住居が多いことが特徴的である。

古墳群は立地から概ね２群に分かれる。畑の造成によりほとんどの墳丘が削平されていた。なお、今回の調査で福岡市文化財分布地図に三苫高畑古墳として登録されていた円墳は、当該地が神社として使用されており、周囲が畑地を造るため削平された際、丘状に残ったものであり、古墳ではないことが確認された。また調査した古墳群は三苫古墳群B群として登録した。

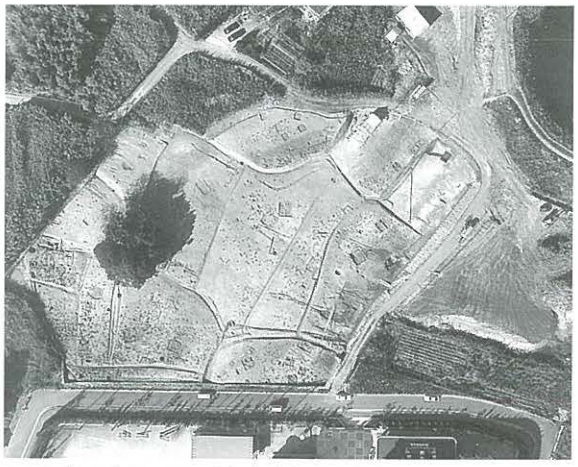
出土遺物　石器(旧石器、縄文)、縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、輸入陶磁器類等コンテナ100箱分が出土した。漁労具(土錘、石錘、蛸壷)、滑石製品(臼玉、錘、勾玉)の出土が多いことが特徴である。特筆すべき遺物として長さ12cmの滑石製子持ち勾玉(竪穴住居内の土坑出土)、が挙げられる。

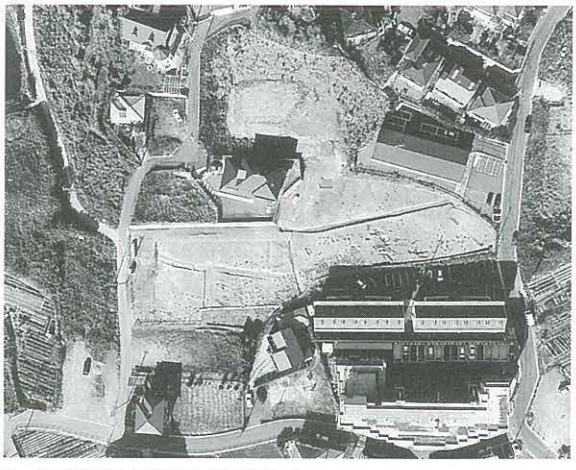
まとめ　今回の調査は、調査面積が広大であったため古墳時代の集落と墓地の調査を同時に行うことができ、海に面した当遺跡の様相を窺える多数の資料を得ることができた。

報告書は2002年度刊行予定である。



1. 調査地点の位置（28 三苫　0108　1：8000）


2. 調査区全景Ａ区（東南真上から）


3. 調査区全景Ｂ区（東南真上から）

0016 那珂遺跡群第76次調査（NAK－76）

所 在 地　博多区那珂２丁目６－７
調査原因　個人専用住宅増築
調査期間　2000.6.1～6.6
調査面積　13.3㎡
担 当 者　佐藤一郎
処　　置　記録保存

位置と環境　那珂遺跡群は福岡平野を北に流れる那珂川と御笠川に挟まれた洪積台地上に立地する。本調査地は那珂遺跡群の東端、第47次調査地の西40ｍに位置する。

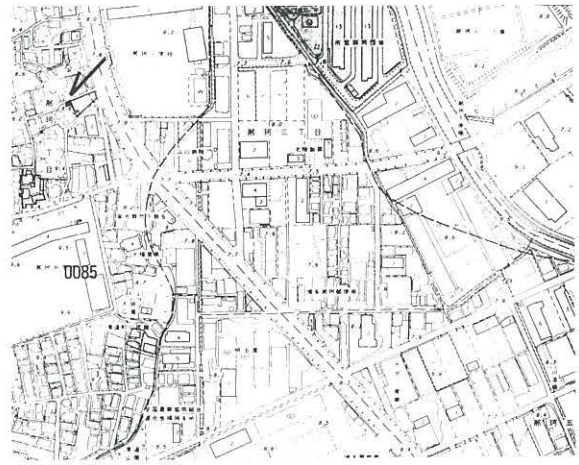
検出遺構　遺構面は現地表下40㎝のローム層上面で検出され、標高９ｍを測る。検出した遺構は弥生時代中期の柱穴１、古墳時代後期（６世紀後半の柱穴３、戦国期（16世紀）の溝である。

溝SD01は幅25㎝、深さ30㎝を測り、延長2.4ｍ検出した。ほぼ真北に方向をとる。

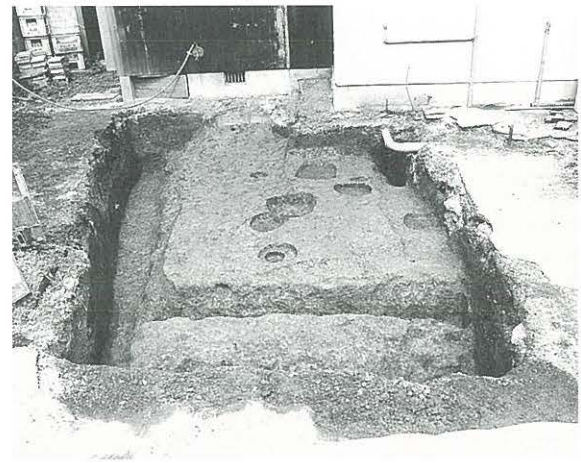
溝SD02は西偏約20°の東西溝で、北辺は調査区域外で未検出である。最大検出幅は0.8ｍ、深さは0.4ｍ、延長4.9ｍを検出した。

出土遺物　遺物は主に遺構の埋土から出土し、弥生時代中期の甕口縁部片、６世紀後半の須恵器杯・高杯・甕の小片、16世紀代の土師器、白磁皿小片である。

まとめ　柱穴群は掘立柱建物、竪穴住居跡床面の柱穴を構成するものとみられるが、調査区域が狭隘で、東隣の第47次調査と同様に著しい削平を受けており、建物の復元は困難である。戦国期の溝SD01は第47次調査で検出された溝と同じ方位を取り、一連のものであった可能性がある。



1. 調査地点の位置（37 東光寺　0085　1：8000）


2．調査区全景（南から）

3．調査区全景（南東から）

0017 久保園遺跡群第２次調査（KBZ－２）

所　在　地　博多区東平尾２丁目２
調査原因　道路改良工事
調査期間　2000.6.5～7.3
調査面積　152㎡
担　当　者　井上繭子
処　　置　記録保存

位置と環境　久保園遺跡群は、福岡平野と粕屋平野の間、南東から北西方向に伸びる標高100～150m程の月隈丘陵から派生した小丘陵の一つ、天王山の南側斜面に位置している。本調査区はこの天王山の西側斜面に位置し、現耕作土面より50～70㎝ほど下で遺構面が検出された。遺構面は２面あり、第１面は標高5.6～5.8m、第２面が5.1～5.8mである。

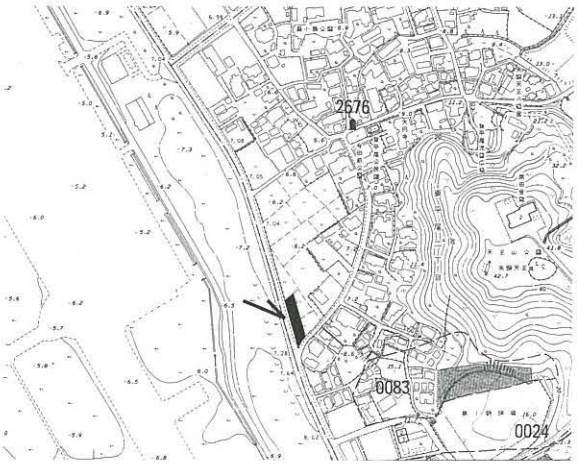
検出遺構　地山である黄褐色粘質土は調査区南から北へ向かって低く傾斜しており、調査区の北側には茶褐色土の包含層が堆積していた。

第１面は地山の一部と包含層上面から掘り込まれていた。溝２条、井戸１基、ピットが検出されている。出土遺物からSD01は弥生時代中期、SD02は古墳時代以降と考えられる。いずれもほぼ北東－南西方向である。井戸は古墳時代初頭の土器が大量に投棄してあり、当該時期のものと推定される。第２面は包含層除去後の黄褐色粘質土上面である。北東－南西方向の溝(SD19・SD20)が２条、河川、土抗、ピットが検出された。

SD20からは弥生時代中期の土器が多量に出土した。調査区北側にほぼ南北方向に伸びる河川は、幅約５～10m、深さ約２mである。トレンチを入れたところ、黒褐色粘質土中に弥生時代前期から後期までの土器が多量に出土した。

出土遺物　遺物は主に包含層及び河川から出土しており、丘陵上にある集落の中心地から流れ込んできたものと考えられる。河川は一部のトレンチ調査のみであったが、土器や木片が多量に出土し、近辺に井堰がある可能性も考えられる。出土遺物はパンケース45箱分である。

まとめ　本調査区は、集落の一端を示すものの、中心からは外れており、集落の縁辺部にあたると思われる。調査報告書は、2001年度刊行予定。



1. 調査地点の位置（22 上臼井　23 雀居　0083　1：8000）

2. 調査区全景（第１面・南から）

3. 井戸SE03（東から）

0018 下月隈C遺跡第6次調査（SHC－6）

所 在 地　博多区月隈4丁目地内
調査原因　空港周辺整備（調節池建設）
調査期間　2000.04.11～2001.03.30
調査面積　10,710㎡
担 当 者　山崎龍雄・上角智希
処　　置　記録保存

位置と環境　調査地は福岡空港の南側、御笠川右岸の沖積微高地上に立地する下月隈C遺跡の中央部に位置する。現況は造成された状況であったが、近年までは水田地帯であった。現地標高は9～10mを測る。

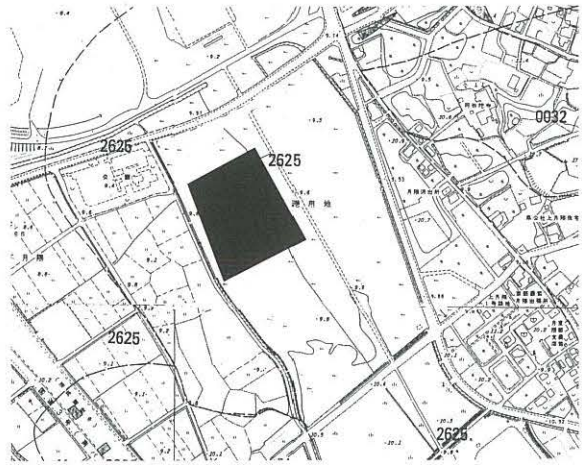
検出遺構　調査区は空港に隣接するため、作業に高度制限があり、表土除去作業は夜間に行った。調査は中世から弥生時代にかけて4時期の遺構について行った。今回の調査では南東側の微高地部分で掘立柱建物を中心とする集落を検出した。

第1面　古代末から中世前期　溝、土坑、井戸、掘立柱建物
第2面　古代　条里水田、川跡、護岸杭列、井堰
第3面　古墳時代後期　土坑、溝、水田、井堰
第4面　弥生時代初めから古墳時代前期　包含層、掘立柱建物、竪穴住居、方形周溝状遺構、貯蔵穴、土坑、溝

出土遺物　遺物は縄文時代晩期末から中世初めまでの時期のものが出土した。土器・陶器・磁器・石器などがコンテナ約270箱、農耕具・建築材、漆の食器など多種多様の木製品がコンテナで170箱程出土している。特筆すべきものとして、弥生時代後期の方形周溝状遺構から中国東北地方で作られたと思われる鋳造鉄斧が1点出土し、古代の護岸遺構からは官衙遺跡周辺からしか見つからない木製人形が1点出土している。

まとめ　弥生時代の集落は中期から後期が中心で、高床倉庫が21棟確認された。第4次・5次調査の多数の木製農耕具の出土から考えて、この遺跡が稲作農耕を基盤とした奴国の中での有力集落の一つであることが確認できた。

調査報告書は2003年度に刊行する予定である。



1．調査地点の位置（23 雀居　2625　1：8000）

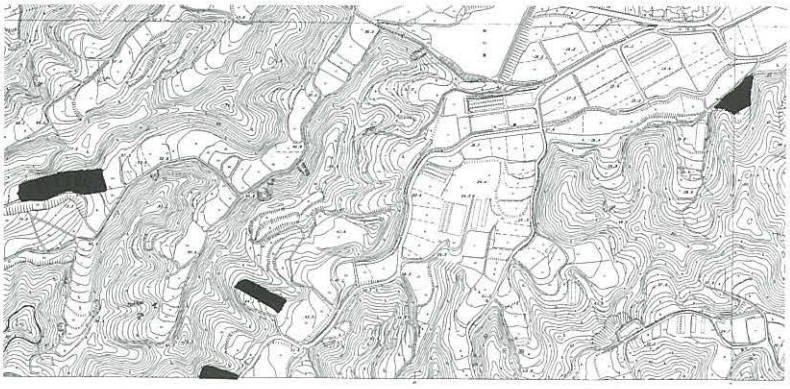
2. 古代の川跡で見つかった護岸状遺構（南から）

3. 弥生時代後期の方形周溝状遺構（西から）

0019 元岡・桑原遺跡群第23次調査（MOT－23）

所在地	西区大字桑原・大字元岡地区	調査面積	9,106㎡
調査原因	D-8-1、D-8-2、C-2、E-2地点九州大学統合移転地内製鉄遺構確認調査	担当者	二宮　忠司
調査期間	2000.6.10～2001.3.27	処置	緑地保全地区として盛土保存及び一部記録保存

調査概要　九州大学統合移転地内に遺存する製鉄遺構の内、志摩町に属する２ヶ所は志摩町に依頼し、福岡市域の８ヶ所の内６ヶ所を対象とした。２ヶ所（第21・24次調査）については本格調査を実施することとし、他の４ヶ所の確認調査を6月10日から開始し、平成13年３月27日で終了した。



1. 調査地点の位置（129 桑原　2782　1：11000）

①D－８地点（D-8-1・2）

西区大字桑原地内

D－８－1地点確認調査面積:　1,323㎡

期間：平成12年６月10日～同年７月20日

D－８－２地点確認調査面積:　1,422㎡

期間：平成12年７月１日～同年８月10日

試掘調査によると炭化物等が多量に検出されるとのことであったが、対象地の約半分を確認した結果、遺構は検出されなかった。出土遺物はまったく検出されず、炭化物のみが出土した。

2. E－2全景（東から）

②C－２地点

西区大字桑原地内

C－２地点確認調査面積:　1,161㎡

期間：平成12年９月１日～同年10月７日

緑地保全地区であるため、最小限の調査に留めた。検出された遺構は谷部となる西側斜面に伏焼土坑（いわゆる炭焼き窯）が２基検出された。出土遺物は検出されなかったため時期を決定するにはいたらなかった。

3. C－2　伏焼土坑

③E－２地点

西区大字桑原字牛切地内

E－２地点確認調査面積:　5,200㎡

期間：平成12年10月10日～13年3月27日

試掘調査で確認されている土坑を再確認すると共に谷部の5,200㎡を調査した。検出された遺構は、中型の伏焼土坑４基、小型の伏焼土坑４基、計８基と柱穴群を検出した。出土遺物はないため時期を決定するにはいたらなかった。

0020 有田遺跡群第198次調査（ART－198）

所 在 地　早良区南庄３丁目205-5
調査原因　個人専用住宅建築
調査期間　2000.6.26～7.27
調査面積　45㎡
担 当 者　池田祐司
処　　置　記録保存

位置と環境　有田遺跡群は早良平野に島状に残存する洪積台地に広がる。調査地点は丘陵の頂部に位置し、標高7.5ｍを測る。遺構は10～20㎝の表土を除去した黄褐色のローム上で古墳時代の住居跡１棟とピットを検出した。

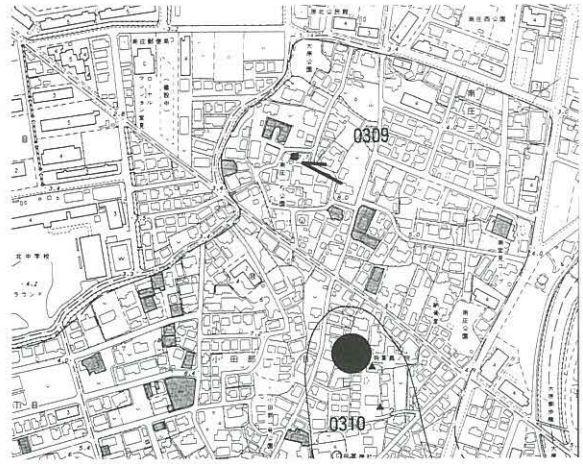
検出遺構　検出した住居跡は方形プランを呈し調査区外に広がる。覆土は黒色土でしまりがない。深さは約20㎝が残存する。床面では柱穴と考えられるピットを２つを確認した。このピットは径56㎝、深さ52㎝を測り、径14㎝ほどの柱痕跡がある。床の壁沿いには幅約10㎝、深さ４㎝ほどの溝がめぐっている。

住居跡のプランは、柱穴の位置関係からして、一辺５ｍ程の方形で４本の主柱穴を持つと考えれる。住居の時期は、上記の須恵器の年代に求められ５世紀代と考えられる。炉跡は調査範囲内では確認できていない。この他のピットは径10～30㎝のものがあるが、建物等に関連づけられるものは見いだせない。

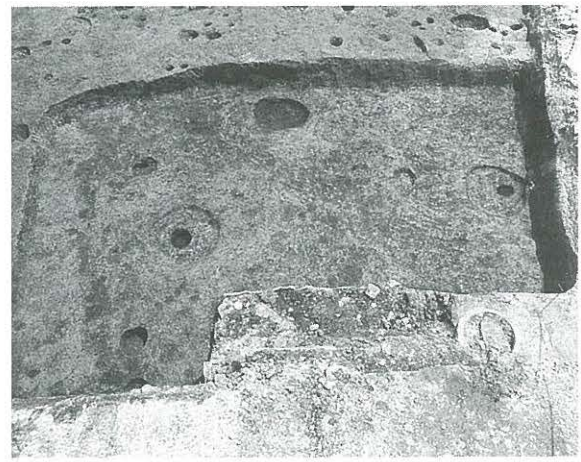
出土遺物　住居跡からの出土遺物は少なく、南壁沿いの小穴から須恵器の高坏に脚部が出土した他は、覆土より少量の弥生土器が出土したのみである。ピットからの遺物は土師質の土器片が少量出土している。

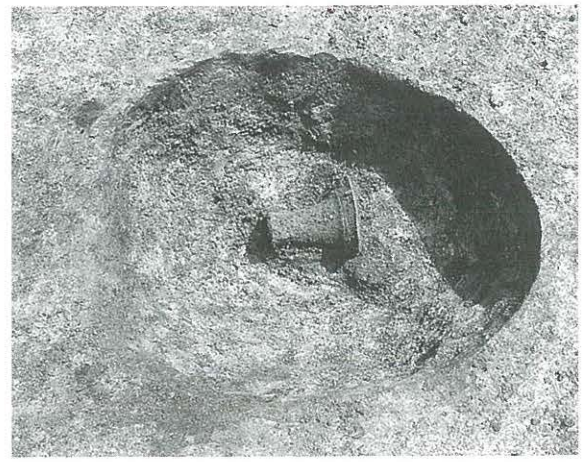
まとめ　今回の調査地点は、丘陵の頂部に位置するものの削平は比較的浅く、良好な状態で住居跡を検出した。この住居と周辺に分布する古墳との関連、その中での集落域の広がり等、周辺の調査を重ねる事で明らかになると考えられる。

報告書は2001年度刊行予定である。



1. 調査地点の位置（82 原　0309　1：8000）


2. 住居跡（北から）


3. 住居跡内土坑（北から）

0021・0025 笠抜遺跡第1・2次調査（KSN－1・2）

所 在 地　福岡市南区横手南町
調査原因　道路建設(外環状線)・範囲確認
調査期間　2000.7.18～2001.1.20
調査面積　4,157㎡(1次:4000㎡・2次:157㎡)
担 当 者　常松幹雄
処　　置　記録保存

位置と環境　調査地は諸岡川西岸の低位段丘上に位置する。春日市御陵遺跡の西側にあたり、寺島遺跡と河川をはさんで接している。

検出遺構　検出された遺構は、縄文時代終末期と弥生中期末から後期、古墳時代前期、律令期、近世などの時期からなる。ここでは主要な遺構である縄文時代終末期の水路と弥生中期末から後期にかけての井堰を中心に述べる。

縄文時代終末期　調査区を東西方向に横断する縄文時代終末期(突帯文期)の溝が検出された。溝は断面Y字形で、深さは南側で140cm程度である。調査の結果、一連の溝は水田へ給排水を行なうための幹線水路であることが明らかとなった。さらにこの溝から派生する二条の溝は、水田への支線水路と考えられる。

出土遺物として突帯文土器のほか石包丁、大陸系磨製石器などがある。

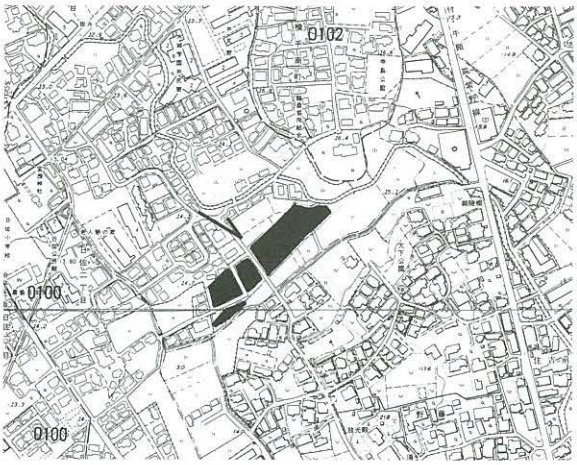
弥生中期末　調査区北東端の掘り下げをおこなったところ4ヶ所で灌漑の機能をもつ杭列が検出された。杭列の調査を進めた結果、弥生時代中期末から後期初頭(1世紀頃)にかけて、水に関連する祭祀が行われたことを裏付ける丹塗のある弥生土器が多数出土した。

主な出土遺物として鐸形土製品、銅矛片と青銅器の鋳造関連遺物、弥生土器などがある。このほか農具、扉、ねずみ返し、弓、建築材などの木製品も出土した。

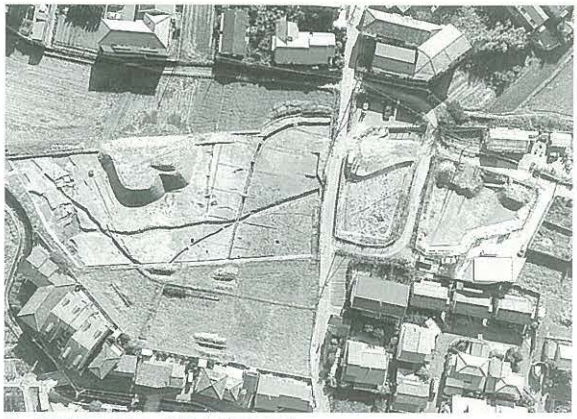
まとめ　今回の調査では縄文時代終末期の幹線水路と支線水路、弥生中期末から後期にかけての灌漑施設の一部が明らかとなった。これらの遺構は、稲作定着期の集落と水田の位置関係をしめすものとして注目される。

弥生時代中期末から後期初頭の井堰は、奴国王が後漢に使者を遣わせた時期に該当する。奴国王墓とされる須玖岡本遺跡の近くでの治水の状況をしめす貴重な発見である。

2002年度に報告書刊行予定。



1. 調査地点の位置（25 井尻　26 上曰佐　2811　1：8000）


2. 調査区全景（南上空から）

3. 弥生時代中期末から後期初頭の井堰（南より）

0022 箱崎遺跡第22次調査（HKZ－22）

所 在 地　東区馬出５丁目、箱崎１丁目地内　調査面積　2,976㎡
調査原因　区画整理事業　担 当 者　榎本義嗣
調査期間　2000.7.24～2001.3.31　処　　置　記録保存

調査概要　箱崎遺跡は博多湾岸に形成された南北方向の古砂丘上に立地する。本調査区は遺跡南端の砂丘尾根上および西側緩斜面上に位置する。調査区は２区に分かれ、昨年度実施した同一事業に伴う調査（箱崎遺跡第20次１～３区）の継続であることから、南側を４区、北側を５区と呼称した。各調査区では黄褐色砂層上面で遺構を検出している。その標高は４区で約3.5m、５区で2.5mを測る。

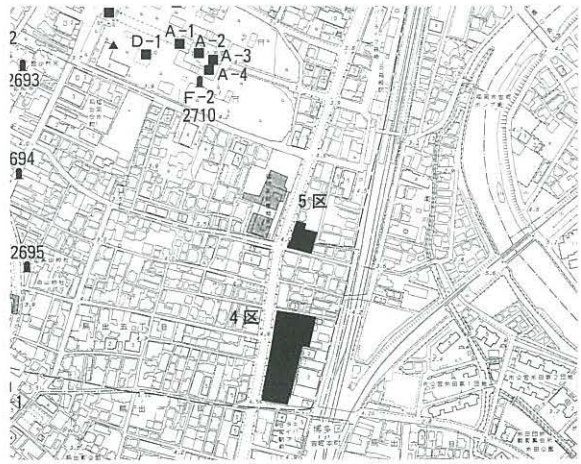
検出遺構　検出した主な遺構の時期は古墳時代初頭および古代末から中世に大別される。前者の遺構には竪穴住居・溝状遺構・埋葬遺構等があり、４区において検出した。溝状遺構からは精製の小形土師器が出土しており、方形周溝墓の周溝である可能性が高い。

古代末から中世の遺構は、両調査区で井戸・土坑・溝・埋葬遺構等が多数確認できた。井戸は総数で34基を検出している。11世紀後半から12世紀後半が主体を占めるが、10世紀代と考えられる井戸１基を５区において確認した。井筒には丸太の刳り抜き材を用い、その周囲を平瓦で補強する構造である。埋葬遺構は12世紀後半を主体とする土壙墓・木棺墓で、４区において６基を検出した。また、ほぼ南北方向に延びる溝を５区において６条確認した。15～16世紀に掘削された区画溝であると考えられる。

出土遺物　土師器、輸入陶磁器、石製品等がコンテナ数にして150箱出土した。前述の中世墓には和鏡、短刀、和鋏、青白磁合子等が副葬されていた。

まとめ　古墳時代の遺構はこれまでの検出例から、砂丘尾根から東側斜面にかけて点在しているものと考えられる。また、10世紀代の遺構は筥崎宮の創建時期に近く、周辺での調査が待たれる。

調査報告書は2003年度に刊行予定である。



1．調査地点の位置（34 箱崎　2639　1：8000）

2. ４区北側全景（上空から　写真下が北）

3. ４区　中世墓遺物出土状況（南から）

0023 博多遺跡群第125次調査（HKT－125）

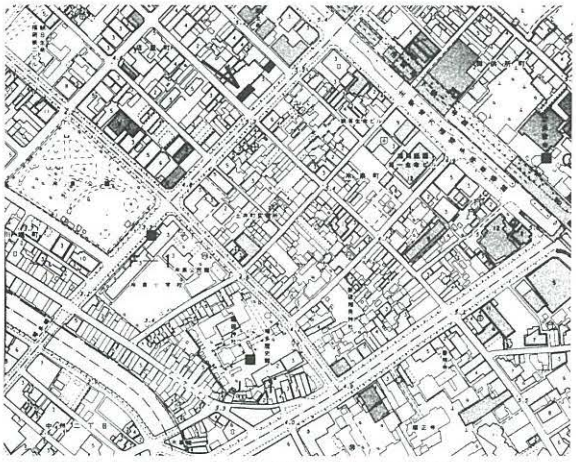
所在地	博多区店屋町34・35・77	調査面積	144.5㎡
調査原因	社屋建築	担当者	佐藤一郎
調査期間	2000.6.20～9.20	処置	記録保存

調査概要　博多遺跡群は福岡平野を北に流れる那珂川と御笠川に挟まれた河口の砂丘上に立地する。本調査地は昨年度調査の第115次調査で未買収で調査できなかった部分２ヵ所が対象である。

検出遺構　東側のⅠ区では11世紀後半～13世紀前半の土坑(柱穴の可能性あり)７基を検出した。直径１～2.5mの円形のもので、他に柱穴30個を検出した。地山の砂層の標高は3.0mを測る。西側のⅡ区Ⅱ層(古代の包含層)上面では12世紀前後の井戸４基、15世紀の井戸１基の外土坑・柱穴多数を検出した。Ⅱ層下面では古代の溝１条、井戸２基、土坑数基を検出した。溝SD38は第85・105次調査で検出された溝の延長に相当し、幅約2.0m、深さ約1.2mを測り、延長５mを検出した。既調査分を加えると延長30m以上に及ぶ。上層(有機質が多い)は11世紀前半には埋没したとみられる。井戸SE55は底面付近で２基の切り合いを確認した。刳り抜きの枠を据えた井戸が、二重の方形の枠を据えた井戸を切っている。さらに古い時期のものでは、６世紀末の竪穴住居跡の断片、ピット状遺構を検出した。

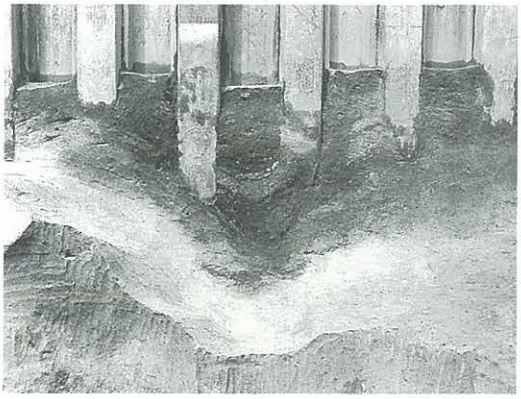
出土遺物　注目されるものとして、土坑SK04出土の両側縁まで残存している押圧波状重弧文軒平瓦２点、SK07出土の磁州窯系白釉鉄(醤)彩小提藍、SD38出土の土師器杯、黒色土器碗、北宋前半の越州窯系青磁碗、華南産白磁などコンテナ３箱分の遺物の外、土坑SK31から切断痕のある鹿角など獣骨の出土が多い。

報告書は2001年度に刊行予定である。



1. 調査地点の位置（49 天神　0121　1：8000）

2. 調査区全景（北東から）



3. 古代溝（南東から）

0024 城の原遺跡第１次調査（JNH－１）

所在地	西区城の原地内	調査面積	93㎡
調査原因	道路拡幅	担当者	米倉秀紀
調査期間	2000.7.24～8.4	処置	記録保存

１．調査の経緯

福岡市西区役所地域振興課は西区城の原地区内の道路拡幅を計画したが、当該地区内には城の原廃寺及び城の原遺跡が存在し、埋蔵文化財課で試掘を行った結果、１辺１ｍの方形を呈する柱穴状の遺構が検出されたため、発掘調査を実施した。

２．立地等

早良平野と糸島平野の間は標高100～300ｍの山岳丘陵によって隔てられているが、調査地はその丘陵群の東側の旧早良郡内にあり、南から伸びる低丘陵先端部近くに位置する。

当該地区は周知の遺跡である城の原廃寺内にある。城の原廃寺は昭和初期頃に中山平次郎氏らによって礎石と瓦が確認されており、その詳報は昭和５年の「福岡県史蹟名勝天然紀念物調査報告書」に掲載されている。その正確な場所は現在では確認されていないが、現推定地のすぐ北側に礎石状の石があることと、旧地形等から当地が廃寺に推定されているものと思われる。

３．調査の概要

現道路幅が２～2.5ｍで、拡幅道路幅も２～３ｍと狭いことから、全体を５区に分け、反転を繰り返した。その結果全体がかなりの削平を受けていた。検出した遺構は近・現代の穴を除けば、江戸時代後半の方形の土坑２基のみである。地山面はロームの下層と思われ、表土下５～10㎝で検出した。出土遺物は近世以降の陶磁器１箱と黒曜石１点である。

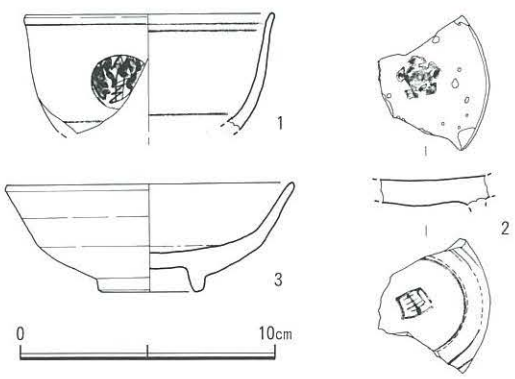
４．遺構と遺物

江戸時代後半の土坑２基を検出したが、現代の撹乱によってかなり壊されている。１基は調査区外に伸びる。土坑は一辺約1.5ｍの方形で、深さ30㎝前後で、箱掘りである。

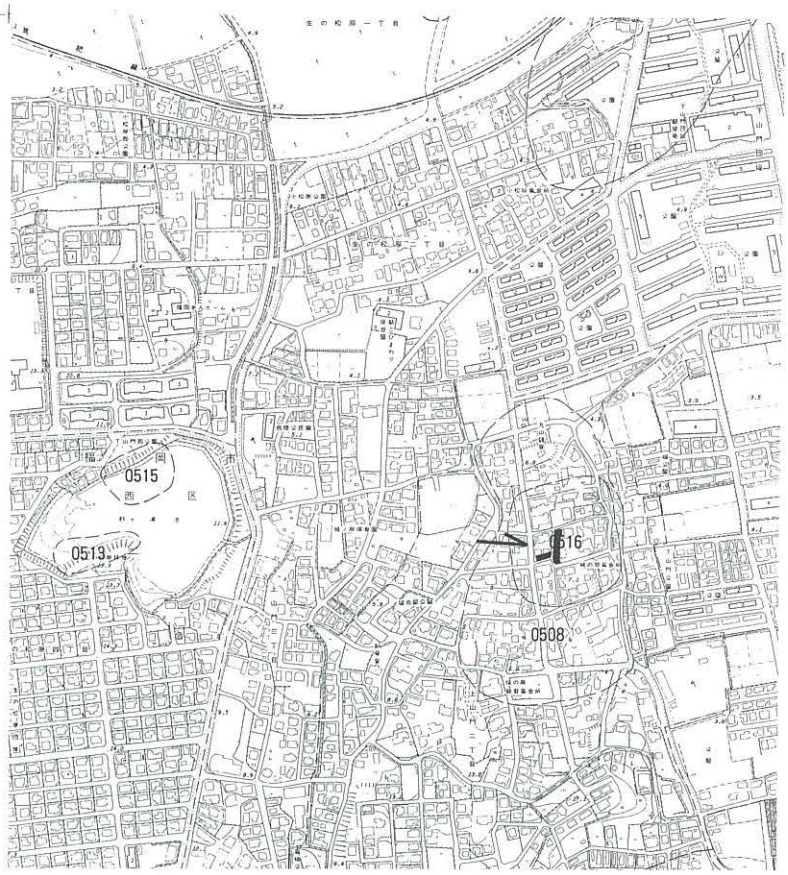
土坑出土遺物　いずれも破片で、３点実測した。１は伊万里焼の染付碗で、口径10㎝を測る。畳付以外に褐色の釉を施す。２は伊万里焼染付の碗で、見込みに五弁花文を施す。３は陶器の碗で、口径11.3㎝を測る。

５．まとめ

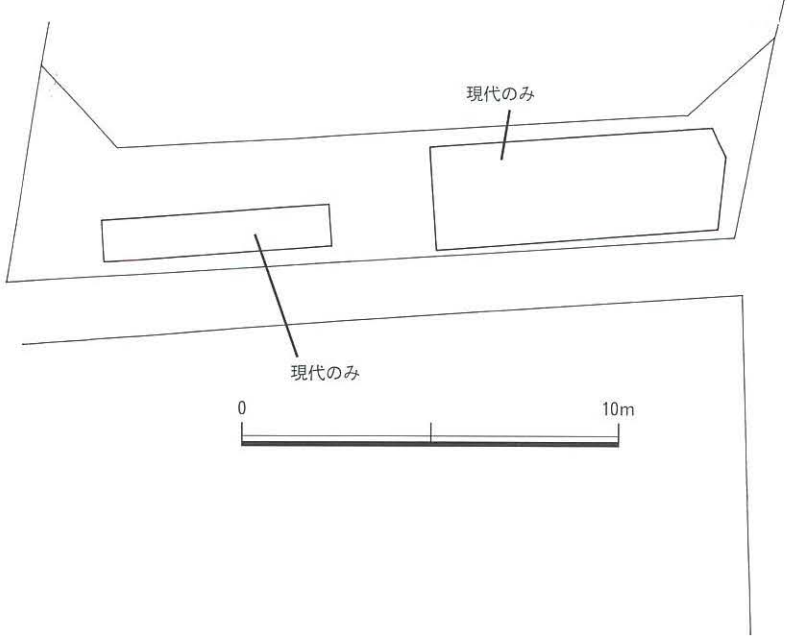
今回の調査では廃寺に関する遺構・遺物はまったく検出できなかった。調査地周辺は明治時代中頃の地図ではすでに宅地であり、江戸時代には集落があったものと考えられる。一方、昭和５年の報告を見れば、礎石のある場所は畑で、当地がその場所であるとは考えにくい。明治期は当地の北側・西側・東側はすべて水田であり、畑であるのは南側の高台部分だけである。当地と南側高台の間には東から小さな谷が入っており、その谷の南側斜面には以前の試掘時に奈良時代の瓦が出土している。以上を合わせれば、昭和５年の報告に載っている場所は、当地南側の高台部分と考えられる。そこはすでにほぼ全域が宅地化しており、残念ながら表採等ができなかったが、今後、再開発される際には注意を要する。

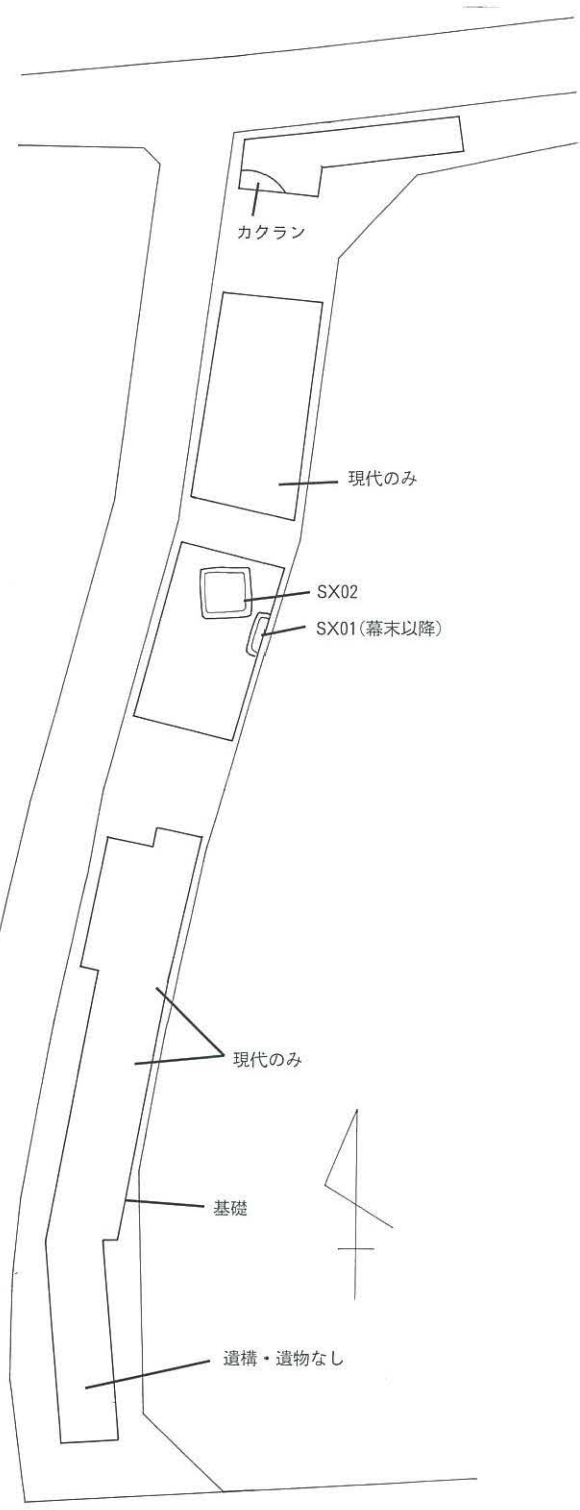


1. 出土遺物実測図（1／3）



2. 調査地点の位置（103 長垂　0508　1：8000





3. 調査区平面図（1／200）

0026 席田青木遺跡群第４次調査（MAK－４）

所 在 地　博多区青木１丁目４
調査原因　道路改良工事
調査期間　2000.7.6～8.17
調査面積　548㎡
担 当 者　井上繭子
処　　置　記録保存

調査概要　席田青木遺跡群は、月隈丘陵の北端近くに派生した小丘陵上に立地する。本調査区は遺跡群をやや外れた南西部、福岡空港東際の沖積地上に位置する。現耕作土より20～80㎝下で遺構面である黄褐色粘質土が検出された。標高約4.4～5.1ｍである。遺構面は調査区の北西から南東へ向かい低く傾斜する。

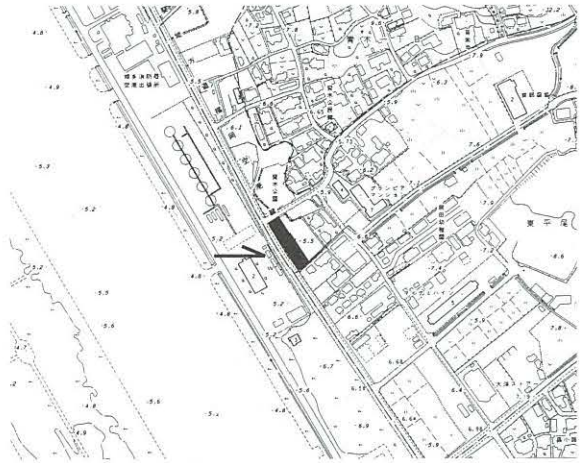
検出遺構　調査区の南東半分は標高が低く、遺構面である黄褐色粘質土は南東端で落ちてゆき上部に黒褐色粘質土の包含層が堆積していた。また、中央付近は河川(SD02)となり、上部に包含層が堆積していた。ここからはおびただしい量の遺物が出土したが、そのほとんどは弥生時代中期から後期にかけてのものである。遺構面は北西へ向かい急激に高くなり、北西半分は遺構がやや密に分布する。遺構は、溝３条、井戸１基、土壙２基、柱穴が検出されている。SD03、SD04は北西部における遺構面の傾斜の変換部を巡るように掘り込まれ、集落を囲む溝とも考えられる。

井戸(SE01)は出土遺物は少ないが、中世と推定される。SK06からは火鉢が、SK08からは龍泉窯系の青磁破片が検出され、それぞれ15～16世紀、12～13世紀に比定される。溝からも古代以降の土師器や須恵器等がわずかではあるが検出され、古代から中世にかけての集落が広がっていたと推定される。

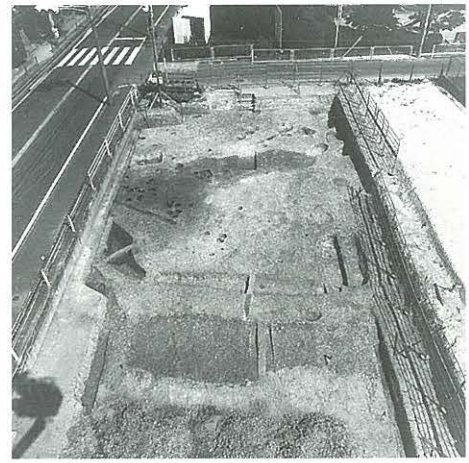
出土遺物　調査区中央部の包含層及びSD02からは大量の弥生時代中期～後期の遺物が出土した。出土遺物はパンケース89箱分である。

まとめ　席田青木遺跡群は、丘陵上に集落及び墳墓の中心が広がっていたとされるが、本調査区はその一端を示すものと考えられる。

報告書は2002年度に刊行予定である。



1. 調査地点の位置（22 上臼井　0080　1：8000）



2. 調査区北側全景（南から）

3. SD02　遺物堆積状況（北から）

0027 井尻Ｂ遺跡群第17次調査（IGB－17）

所 在 地　南区井尻１丁目地内
調査原因　道路建設
調査期間　2000.6.7～2001.3.31
調査面積　1,913㎡
担 当 者　横山邦継・屋山洋・阿部泰之
処　　置　記録保存

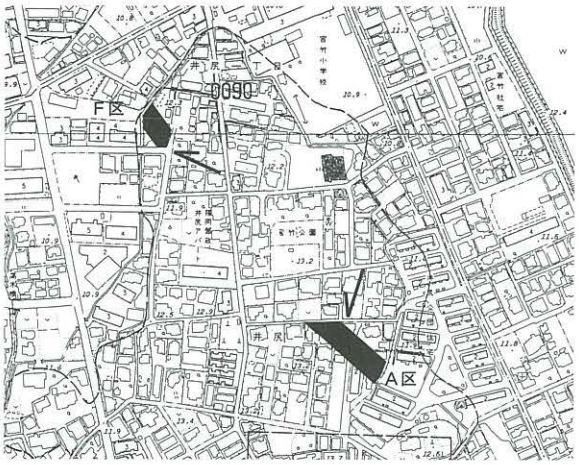
調査概要　井尻Ｂ遺跡群は福岡平野の中央部付近の那珂川と御笠川に挟まれた春日丘陵から博多湾に向かって北に延びる台地上に位置する。平成12年度の調査地点は南北に長い台地の東端（Ａ区）と西端（Ｆ区）である。遺構検出面は鳥栖ロームで、Ａ区では表土直下で遺構面に達した。Ｆ区では鳥栖ローム上に黒色土が堆積しており、遺構はその上からの掘り込みである。

検出遺構　Ａ区では弥生中期前半と後期後半～終末、７世紀後半～８世紀初頭の３時期の遺構を確認した。中期前半は貯蔵穴のみであるが遺物は後代の遺構から多く出土しており、殆どが破壊されたものと思われる。後期後半～終末では30軒程の竪穴式住居を確認した。古代の遺構は真北方向とそれに直交する十字の溝と２×７間の大型掘建柱建物等である。Ｆ区では等高線に沿って３条の溝を確認した。中央の大溝は４世紀前後で粗砂により埋没している。東側の２条は茶褐色土や黒色土が堆積しており、水が流れた痕跡はみられなかった。

出土遺物　約100箱の遺物が出土した。Ａ区では遺物の多くが竪穴式住居からの出土であるが、古代の溝から須恵質の瓦や土器が多く出土したほか、円面硯等特殊な遺物も出土している。Ｆ区では中央の大溝から４世紀初頭の土師器と共に完形の陶質土器が１点、溝の最上層から出土してる。

まとめ　これまであまり調査例がなかった井尻Ｂ遺跡群であるが、平成11年度からの道路建設に伴う調査で多くの遺物や遺構が出土しており、かなり大規模な集落であることが判明してきた。来年以降も調査が続くのでその結果が期待される。

調査報告書は2002年度刊行予定である。



1. 調査地点の位置（25 井尻 0090　1：8000）

2. Ａ区全景（南東から）

3. Ｆ区全景（北西から）

0028 井尻Ｂ遺跡群第18次調査（IGB－18）

所 在 地　南区井尻１丁目757-3
調査原因　共同住宅兼個人住宅建設
調査期間　2000.8.1～8.26
調査面積　186㎡
担 当 者　池田祐司
処　　置　記録保存

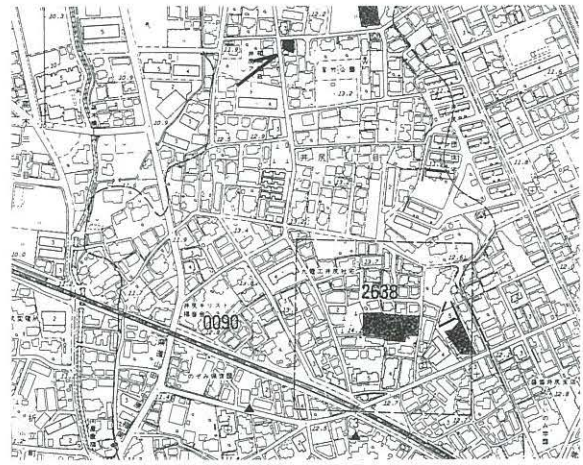
調査概要　井尻Ｂ遺跡群は須玖丘陵から延びる洪積台地上に広がる。調査地点は丘陵のほぼ中央に位置し、周辺で最も高く標高13ｍを測る。

検出遺構　現表土下約40㎝の鳥栖ローム上面で遺構を検出した。遺構は弥生時代中期から古墳時代初頭の住居跡、井戸、貯蔵穴、ピットである。住居跡は９軒を確認し、その可能性があるものを含めると14～5軒になる。このうち弥生時代中期に遡るものは円形プランを呈す１軒のみで、他は弥生時代終末から古墳時代初頭のもので、平面形は方形または長方形である。井戸は弥生中期で径１ｍ、深さ２ｍを測る。貯蔵穴と考えられる遺構は調査区外に広がり詳細は不明だが、径１ｍ程の円形で深さ0.8ｍを測り、底付近より弥生時代前期末の土器がまとまって出土している。

出土遺物　弥生時代の住居からは土器の他に石鎌が出土した。終末から古墳時代の住居では、床直上より土器を主体とした遺物が多く出土した他、鉄製刀子、板状の鉄素材、碧玉製管玉、ガラス玉等が出土した。この他住居跡覆土より青銅製鋤先の一部が出土している。

まとめ　弥生時代中期については、これまで周辺の調査で遺物の割に遺構がなかった。古墳時代以降の削平で多くが失われているものと考えられる。弥生時代終末から古墳時代初頭については高い密度で遺構を検出した。

報告書は2003年度刊行予定である。



1. 調査地点の位置（25 井尻　0090　1：8000）

2. 調査区全景（南西から）

3. 住居跡内遺物出土状況（北から）

0029・0032・0044 田島A遺跡
第4・5・6次調査（TZA－4・5・6）

所在地　城南区田島1丁目309-1
調査原因　個人専用住宅・道路建設
調査期間　4次－2000.8.8～8.18
5次－2000.8.21～8.25
6次－2000.10.5～10.16
調査面積　4次－140㎡、5次－53㎡、6次－70㎡
担当者　米倉秀紀
処置　記録保存

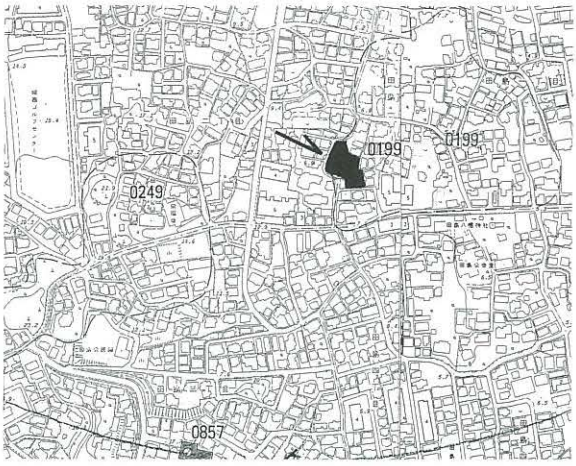
位置と環境　田島A遺跡は早良平野の東端にあり、南から伸びる低丘陵上に立地する。調査地点は丘陵の西端近くで、調査区西側には北からの谷が入る。従って、調査区近辺は東及び南に高い緩傾斜地になっている。地山はローム層で表土下10～30㎝で検出した。4～6次は同一敷地内の別調査のため一緒に報告する。

検出遺構　戦国期の大溝1条・溝2条他

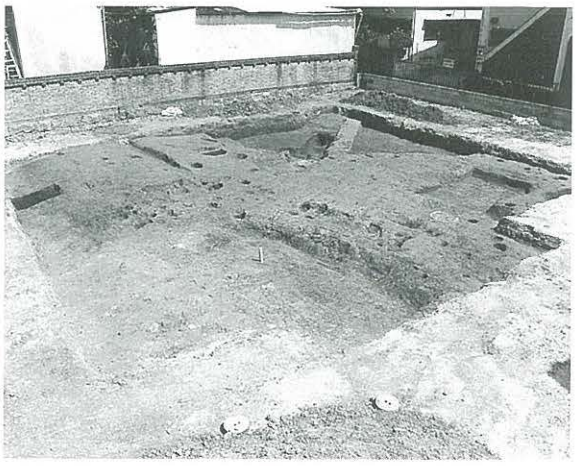
出土遺物　弥生土器少量と戦国期の陶磁器・土器などあわせてコンテナ3箱分。

まとめ　今回の調査は、地権者等の関係上、同一敷地内を細切れに調査したため、全体の状況は今一つ把握できなかったが、これまで弥生・古墳時代の遺構群が発見されている田島A遺跡では戦国期の遺構が初めてまとまって見つかった。大溝はごく一部の検出であったが、市内の他の遺跡例では館の存在を強く暗示させる。

報告書は2001年度刊行の予定である。



1. 調査地点の位置（73 茶山　0199　1：8000）


2. 4次調査区全景（北西から）

3. 6次調査区全景（南から）

0030 博多遺跡群第126次調査（HKT－126）

所 在 地　博多区店屋町43-44
調査原因　社屋ビル建築
調査期間　2000.8.16～11.30
調査面積　368.0㎡
担 当 者　杉山富雄
処　　置　記録保存

調査概要　博多湾の奥に堆積した砂州の上に営まれた遺跡である博多遺跡群のうち、奥部の微高地に位置する。

検出遺構　遺跡の残りが良い調査区の南西部では、3面に区分して調査した。主な遺構は井戸、土坑、溝等である。

第1面で調査した遺構のうち、井戸の多くは近世以降のもので、それ以外には中世初め頃かと推測できる4基が検出された。また、現敷地境界に沿った区画を区切るような位置にある溝等を検出した。戦国時代の遺物が出土している。また、平安時代末頃で、炭や灰で埋め立てる深い円形の土坑が比較的密に検出された。

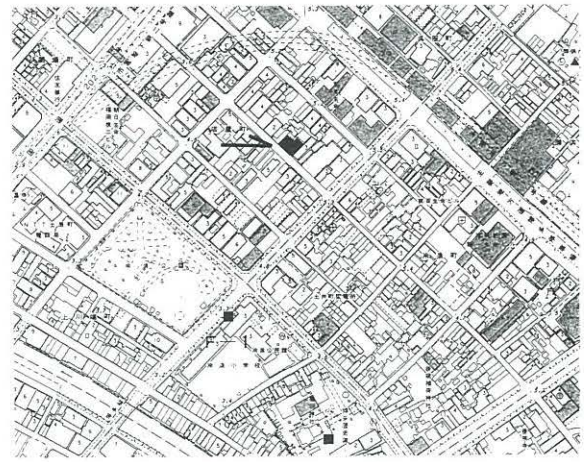
第2面では、近接する第85次地点に続くと思われる溝を調査した。

第3面は、地山砂層面で、これを覆う砂層は人為的な客土の結果かもしれない。埴輪の破片が出土している。第3面の2ヶ所でこの層に埋められた状態で、鍛冶遺構かと思われる灰層・焼土を検出した。ほかに北東～南東に伸びる2条の平行する溝状の遺構を検出した。細かくみると土坑が不規則につながったような状態になっている点特異である。遺物の出土は極少ない。

出土遺物　出土遺物は、コンテナ117箱ほどで、近世以降の資料を除くと、土師器坏皿類の他に、貿易陶磁器では、白磁を主として青磁、染付を含んでおり、その年代が古代末から中世にかけてのものが大半である。加えて奈良時代の土器類が少量出土している。また、金属器が極少数出土している。それのうちの2点が「和同開珎」である点が注意される。

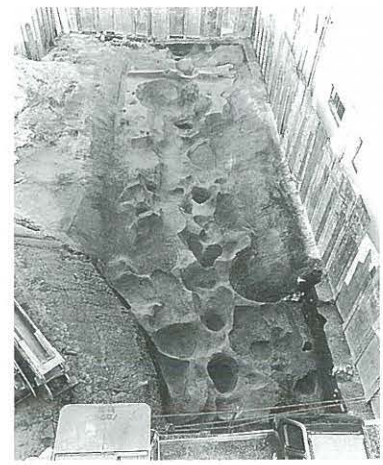
まとめ　今回調査では、既知のものとは異なる遺構の可能性を認めた。今後の周辺地域の調査で検証する必要がある。

調査報告書は2001年度に刊行予定である。



1. 調査地点の位置（49 天神　0121　1：8000）

2. 1区全景（西から）



3. 2区全景（西から）

0031 麦野A遺跡群第９次調査（MGA－９）

所 在 地　博多区麦野３丁目９
調査原因　掘車庫建設
調査期間　2000.8.18～8.25
調査面積　62.2㎡
担 当 者　井上繭子
処　　置　記録保存

位置と環境　麦野Ａ遺跡群は、御笠川西岸の南北に伸びる台地上に立地する。本調査区は麦野Ａ遺跡群の中央やや東寄りに位置する。遺構面は現地表下約30～60㎝、標高約14.2～14.7ｍの鳥栖ローム上面であり、調査区の北西から南東へ向かって傾斜する。台地の縁辺部にあたると思われる。北西には第８次調査地点が位置する。

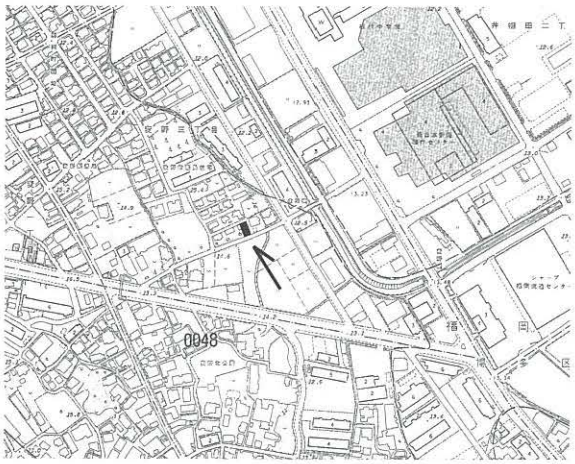
検出遺構　遺構面はかなり削平を受けており、特に調査区の南側は道路建設の際に削られたと思われるが、旧地形はほぼ残していると推定される。

溝４条、土壙、ピットが検出された。溝のうちSD02～SD04は一端が立ち上がり、途切れている。本来はどのような形状であったかは不明である。SD01は幅約３ｍ、深さ1.4～1.6ｍ、断面逆台形の大きな溝で、調査区北西コーナーで屈曲する部分が検出された。出土遺物から15～16世紀と推定される。この溝は調査区の西側に設定した試掘トレンチや今回の調査で調査区北側に設定したトレンチでも確認されている。このことからSD01が本調査区付近を屈曲部とし、分譲住宅地の敷地内南辺から東辺へ走ると推定される。

出土遺物　遺構から遺物はほとんど出土していないが、SD01からは備前の擂鉢片や新しい時期の龍泉窯系青磁片が出土している。出土遺物はパンケース１箱分である。

まとめ　調査区の東側は台地の落ち際と考えられ、SD01はこの縁辺部を巡ると推定される。その規模から、何らかの施設を区画する溝と考えられる。ただ、本調査区北西に位置する第８次調査地点では、SD01と同時期の遺構は検出されておらず、なお検討を要する。

調査報告書は2002年度以降に刊行予定である。



1. 調査地点の位置（12 麦野　0048　1：8000）

2. 調査区全景（西から）

3. SD01土層（南から）

0033 元岡・桑原遺跡群第22次調査（MOT－22）

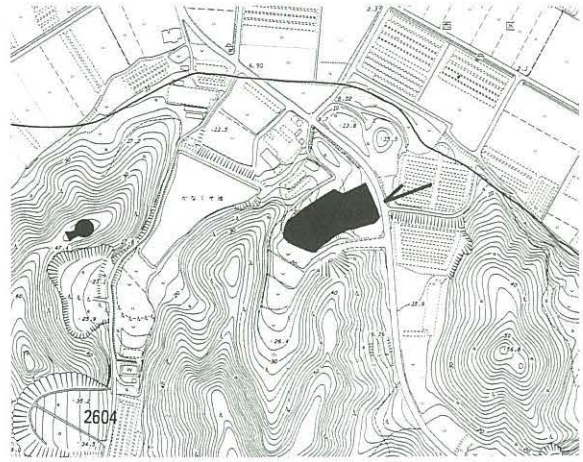
所 在 地　西区大字桑原字牛坂
調査原因　大学移転に伴う造成工事
調査期間　2000.4.10～10.20
調査面積　3,890㎡
担 当 者　松村道博
処　　置　記録保存

位置と環境　調査地点は事業地の東側〈B－4〉にあたり、金屎池の東側に位置する。北側に開析する谷部の中ほどに占地している。調査地点の北東には経塚古墳、南東には前方後円墳の塩除古墳があり、近くには飛櫛貝塚などもあり遺跡が密集する地域にあたる。

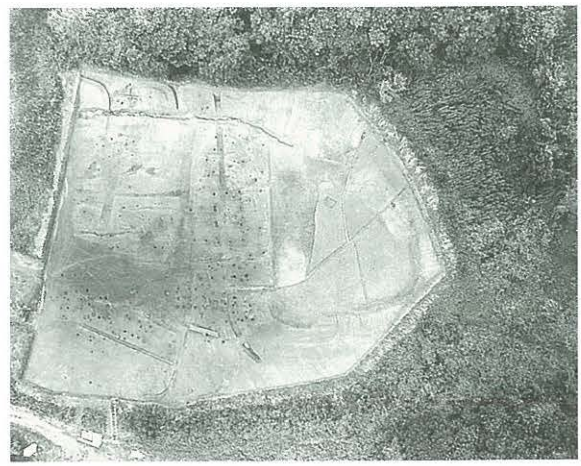
検出遺構　調査した範囲は広いが西側の大半は溜池の築造で削平を受け、遺存状況は極めて悪い。溜池の築堤部分が削平をまぬがれ掘立柱建物などを検出した。今回検出した遺構は製鉄遺構１基、掘立柱建物７棟、井戸２基、溝状遺構10数条である。製鉄遺構の炉本体は全破壊され、炉の構造、規模については明らかではない。他に鍛冶滓、鞴の羽口などもある。掘立柱建物は総柱建物が４棟、側柱建物が３棟ある。現況では西側から北側に直角に曲がる「L」字状の配置になっているが、西半分が削平されているので全体は不明。建物には重複しているものも有り、時期差があると考えられる。建物から東へ寄った地点に井戸がある。掘り方の規模は小さく、平面円形で径1.3m前後、深さ1.1mの不整形を呈する素掘の井戸である。

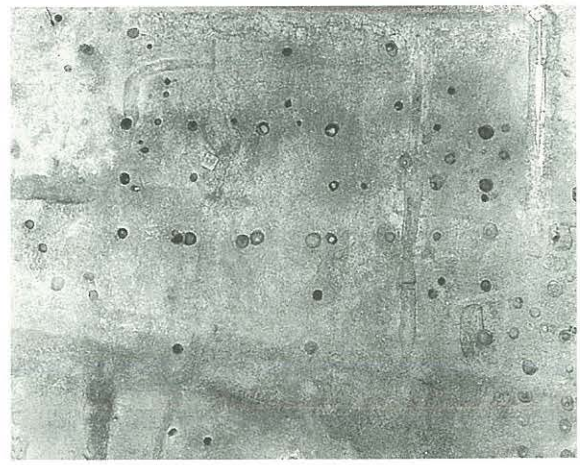
出土遺物　出土土器は土師器、須恵器、鉄滓等がコンテナ10箱程がある。時期は７世紀～８世紀の遺物である。

まとめ　これらの遺構は、出土遺物から時期差はあまりなく７～８世紀の集落である。その性格については他の地点の調査成果と併せて検討して導き出さねばならない。



1. 調査地点の位置（129 桑原　2782　1：8000）


2. 調査区西半部全景


3. 中央部掘立柱建物

0034 元岡・桑原遺跡群第24次調査（MOT－24）

所　在　地　西区大字桑原字金屎
調査原因　大学移転に伴う造成工事
調査期間　2000.9.10～2001.3.31（13年度継続中）
調査面積　4,590㎡
担　当　者　松村道博
処　　置　記録保存

位置と環境　調査地点は事業地の東側、金屎池の南に接した小支谷の斜面にあり、東から西側に開析する浅い谷頭に占地している。踏査では古墳時代の土器も採集されており、その時期の製鉄遺跡の可能性もあった。

検出遺構　表土剥ぎの結果、斜面の中腹と裾部の二箇所に鉄滓が集中して出土するところがあり、この部分に製鉄炉が存在するものと予想された。今年度は裾部の鉄滓が集中する部分を除き調査を実施した。

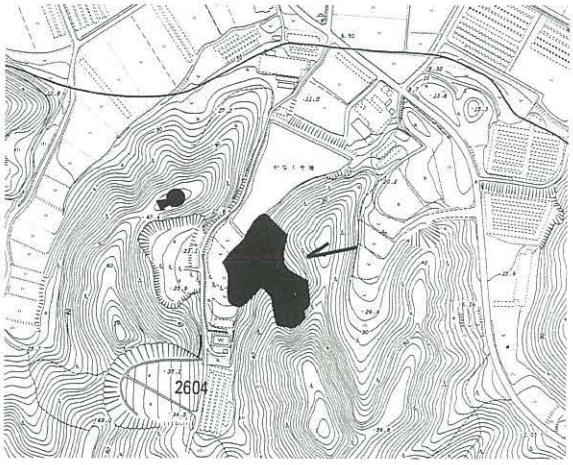
検出した遺構は斜面の中腹から製鉄炉3基、鍛冶炉3基、全体から焼土坑6基、中腹から裾部にかけて竪穴住居跡8棟を検出した。

製鉄炉は北側の丘陵の裾部斜面を削り平坦面を造成した後、斜面と直交する方向に炉を築いている。炉の形態は箱型炉で岩盤を長方形に掘り込み、両側に小さな廃滓土坑を設け炉の東西に鞴座？の坑を掘り込む。

竪穴住居跡は斜面の高い東側だけの遺存で斜面下方は削平を受け消滅している。平面形は隅丸長方形で壁溝を持つ。他に焼土坑がある。2基は平面形が隅丸の二等辺三角形で床面には粉状の木炭層が見られ、鉄滓も出土している。木炭窯であろう。

出土遺物　6世紀から9世紀にかけての須恵器、土師器がコンテナ5箱、鉄滓が取り上げただけで800箱あり、総数はその数倍になろう。

まとめ　製鉄炉と鍛冶炉は8世紀後半から9世紀前半、竪穴住居跡は6世紀末～7世紀前半である。焼土坑からは鉄滓が出土しているものもあり製鉄遺構と伴なう時期と推測される。



1. 調査地点の位置（129 桑原　2782　1：8000）

2. 4号製鉄炉（西から）

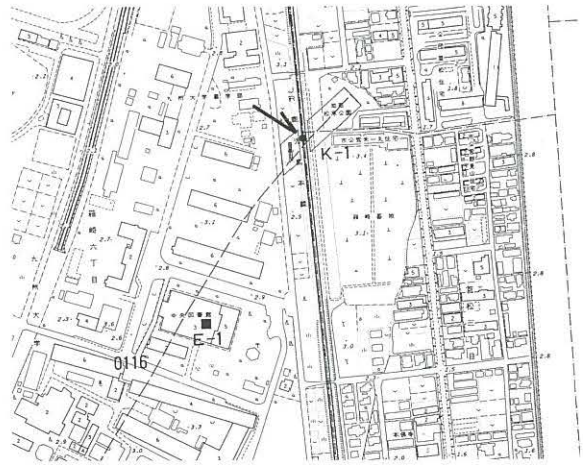
3. 土製送風管出土状況

0035 元寇防塁跡第９次調査（GKB－９）

所　在　地　東区筥松３丁目3575-47
調査原因　鉄道高架建設
調査期間　2000.9.4～9.13
調査面積　53㎡
担　当　者　榎本義嗣
処　　置　埋め戻し保存

１．調査に至る経緯

福岡市土木局筥崎連続立体開発事務所長より平成12年５月16日付、福土筥第203号にて、同市教育委員会宛てに同地内でのJR鹿児島本線高架事業に伴う埋蔵文化財事前審査についての依頼が行われた。これを受けて教育委員会埋蔵文化財課では該地が国史跡元寇防塁(箱崎地蔵松原地区)指定地に挟まれ、同遺構の推定線上に位置することから、同年６月14日に試掘調査を実施した。その結果、当該地において石列遺構を確認したため、両者での協議を行い、保存を前提とした確認調査を実施することとなった。なお、試掘調査および確認調査は同事業に伴い、仮設軌道が西側隣接地に敷設されている時期に実施している。鉄道高架用の橋脚は設計変更により今回の調査区外に設置されることとなった。また、調査区は記録後に埋戻し保存を行っている。



1. 調査地点の位置（33 貝塚　0116　1：8000）

２．遺跡の立地と環境

箱崎地区の元寇防塁は御笠川と多々良川の河口を結ぶ南北方向の古砂丘上に推定されている。その長さ約３kmで、薩摩国の分担とされる。今回の調査区は多々良川河口近くの砂丘北端部に占地し、JR鹿児島本線の軌道下に位置している。調査前の標高は約2.5mを測る。西側に隣接する史跡指定地では平成５年に第５次調査が実施され、防塁の一部と考えられる石材を検出している。

2. 調査区全景（北から）

３．検出遺構

調査区の基本層序は上層より、軌道下に敷設された小礫層（１層)、黄褐色砂層(２層)、標高約1.3mで砂丘基盤と考えられる茶味がかったしまりのある黄褐色粗砂層(３層)となり、各層はほぼ水平に堆積している。なお、２層は層境が不明瞭ながら、下層ほど砂質が粗く、２ａ層、２ｂ層に細分し得る。

元寇防塁と考えられる石列は２ｂ層から３層上位において確認できた。調査区のほぼ中央部に人頭よりやや大振りな自然礫10数個が北東―南西方向に数10cmの間隔をおいて直線的に並び、その南側後背部には拳大の小礫がその石列より浮いた状態で検出できた。北側の石列は防塁基底の一部と推定さ

3. 調査区全景（東から）

4. 調査区位置図（1／1000）

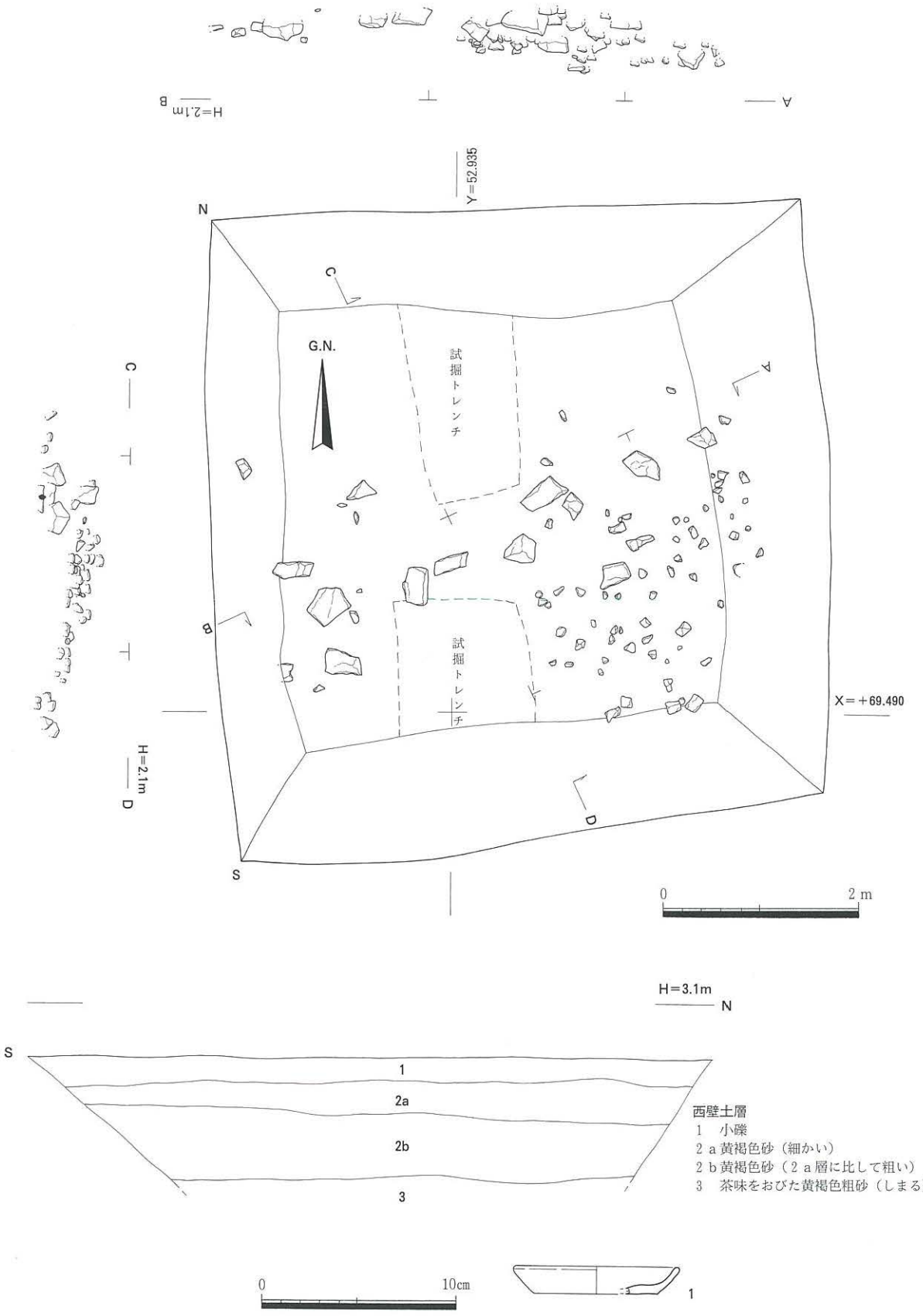
れ、その上面の標高は1.3～1.4mを測る。また、背後の小礫はその裏込め等に用いられたもので、その検出状態から二次的に移動したものと考えられる。石材は礫岩を主体とし、砂岩が少量含まれる。これらの検出状況や土層観察からは防塁の構築方法を明確にすることはできなかった。なお、埋戻し保存を前提とした調査のため、検出状況の図化は石材を取り上げずに行っていることから、未完状態である。

4．出土遺物

石列覆土中より土師器が5点出土した。いずれも細片であるが、1点のみ図化が可能であった。第5図1は土師器小皿で、復元口径8.4cm、器高1.4cm、底径6.4cmを測る。1/4程度が遺存する。外底部は回転糸切りで、板状圧痕は認められない。胎土には金雲母片が少量含まれる。

5．まとめ

今回の調査では、現在まで不明であった該地における元寇防塁と考えられる遺構を確認することができた。出土した土師器は小型化の進んだ小皿であり、その法量から推定される年代とも大きな矛盾は看取されない。調査区の南西部に位置する九州大学構内にも良好な遺存状況は期待できないものの、同遺構が残存している可能性がある。



5. 調査区全体図・西壁土層図（1／60）及び出土遺物実測図（1／3）

0036 有田遺跡群第199次調査（ART－199）

所 在 地　早良区有田２丁目20-８他
調査原因　展示場建設
調査期間　2000.9.1～9.12
調査面積　45㎡
担 当 者　米倉秀紀
処　　置　記録保存

調査概要　調査地点は八つ手状を呈する有田台地の最高所に位置し、標高約13mを測る。周辺では弥生時代初頭の環溝、古墳時代の住居跡群、ミヤケ状建物群、早良郡衙などの重要遺構が見つかっている。

検出遺構　調査したのは削平を受けるブロック部分と、出入口カット部分である。検出した遺構は４時期に分けられる。

１：古墳時代前期の住居跡２軒。調査範囲が狭いため、詳細不明。

２：８世紀半ば前後の早良郡衙に伴う溝。配列が分かっているものでは、最後の建物群と考えている時期で、郡衙の西を限る溝である。

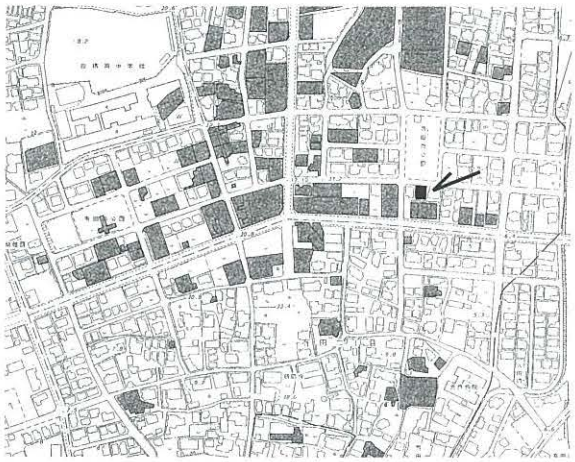
３：２の溝を埋めた後に作られた大型建物。一辺１ｍの柱穴３基を検出。従来知られていない時期の建物が、西側にあることが分かった。

４：戦国期の浅く広い溝。溝というより、小田部城にともなう、何らかの造成跡ではないか。

出土遺物　出土遺物は少なく、弥生土器・石器・土師器・須恵器・陶磁器が平箱５箱分が出土した。

まとめ　今回の調査は小面積であるが、４時期の遺構が重なり合い、煩雑でしかも全体像がわからず、難儀な調査であった。検出した遺構群のうち、大きな成果は、８世紀中頃と考えられる郡衙に伴う溝を埋めた後に大型建物を造っていることである。遺物が少ないため、詳細な時期は不明だが、溝を埋めていることから、８世紀後半代と考えられ、従来この時期の大型建物は台地最高所ではほとんど確認できておらず、あるいは郡衙の位置を変えた可能性も考えられ、今後の調査に期待がもてる。

報告書は2002年度以降に刊行予定。



1. 調査地点の位置（82 原　0309　1：8000）

2. 出入口部分全景（東から）

3. ブロック部分全景（南から）

0037 井相田D遺跡群第３次調査（ISD－３）

所 在 地　博多区西月隈６丁目地内
調査原因　道路建設
調査期間　2000.8.2～9.21
調査面積　1,800㎡
担 当 者　上角智希
処　　置　記録保存

位置と環境　御笠川中流域左岸の標高11～12mの段丘上に位置する。周辺は戦前まで水田地帯であったが、現在は埋め立てられて工場等が建っている。

３面について調査を実施した。標高9.4～9.5mの第１面では、古代末～中世初頭の水田面を検出した。畦畔の遺存状況は悪いが、調査区北半にて３本の平行する畦畔を確認した。調査区南半は自然流路が横断する。

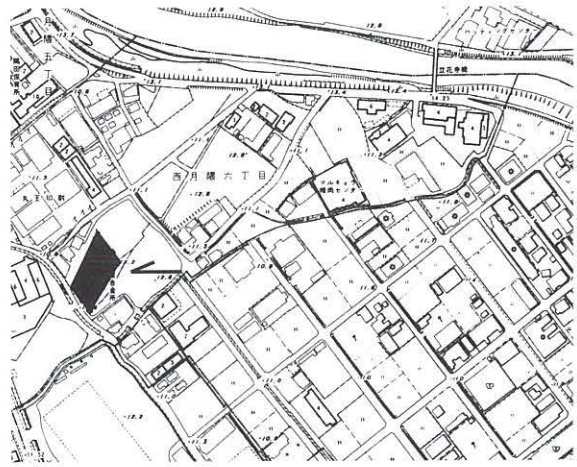
検出遺構　第２面は標高9.1～9.3mの青灰色粘土層上面に設定した。溝１条とピット１基を検出したが、遺物は出土しなかった。

隣接する第２次調査地点で発見された縄文時代埋没林の範囲確認のために、第３面を設定、青灰色粘土層を更に掘り下げた。３箇所に重機でトレンチを入れ、その１つから標高7.2m程度で自然木の幹２本が出土した

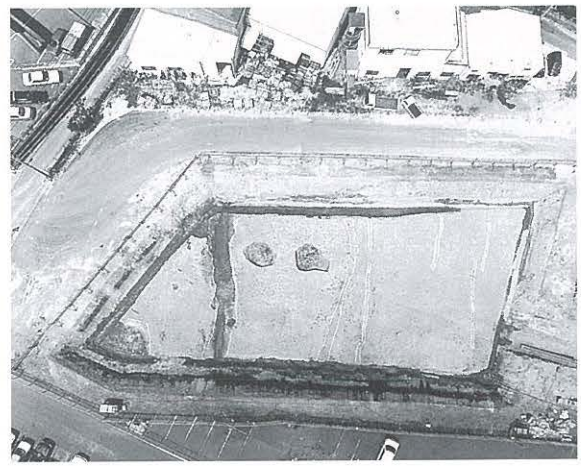
出土遺物　第１面の水田および自然流路からコンテナ１箱分の土器が出土した。土師器高台付椀、中国産白磁・同安窯系青磁、須恵器の坏・坏蓋のほか、弥生土器、黒曜石の石核があるが、いずれも小片である。古代末～中世前期のものに弥生時代のものが少量混入する。

まとめ　第１面では古代末～中世初頭の水田を検出した。畦畔の残存状況はよくない。第３面では湧水のため部分的なトレンチ調査となったが、縄文時代の埋没林が部分的に存在していた。

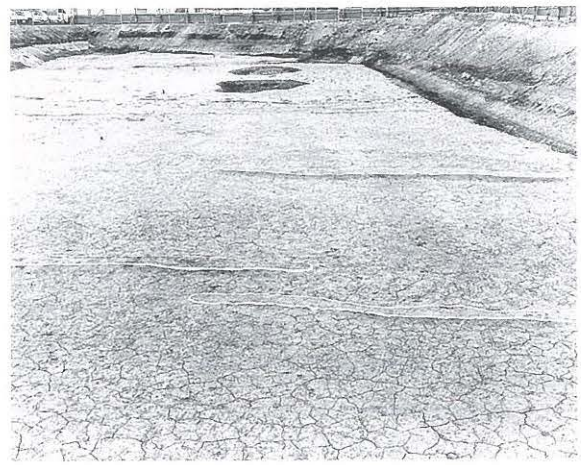
報告書は2001年度に刊行予定。



1. 調査地点の位置（11 金隈　2627　1：8000）



2. 第１面全景（下が南東）



3. 第１面水田跡（北東から）

0038 有田遺跡群第200次調査（ART－200）

所 在 地　早良区有田１丁目８-14
調査原因　個人専用住宅建築
調査期間　2000.9.18～10.4
調査面積　169㎡
担 当 者　米倉秀紀
処　　置　記録保存・一部現状保存

位置と環境　調査地点は八つ手状を呈する有田台地の最高所近くに位置し、標高約13mを測る。周辺では弥生時代初頭の環溝、古墳時代の住居跡群、ミヤケ状建物群、早良郡衙などの重要遺構が見つかっている。

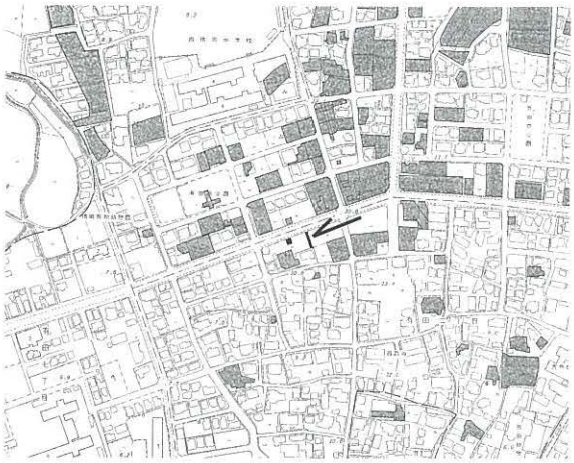
検出遺構　弥生時代前期の溝１条と戦国期の溝

地内は削平が著しく、溝以外にはピットが数基見つかっただけで、戦国期の溝も残りが悪かった。弥生前期の溝は断面「V」次形を呈する。予定建築物の基礎の関係上、遺構面から40㎝以下の掘削ができず、弥生前期の溝は２本のトレンチ調査しかできなかった。

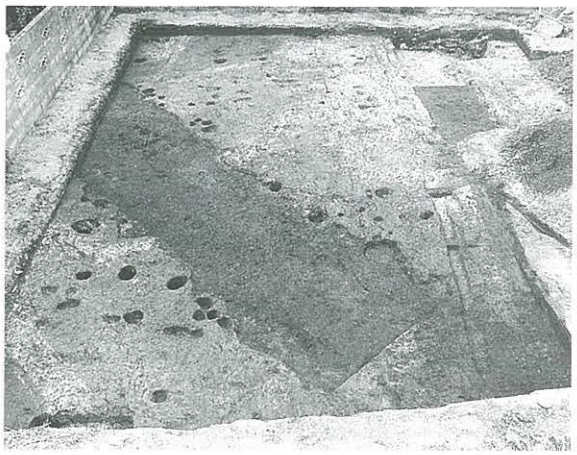
出土遺物　弥生時代前期土器、戦国期の陶磁器・土器等浅コンテナ１箱分が出土。

まとめ　弥生前期の溝は、周辺の調査から台地の東側斜面を囲む環濠であることが判明している。弥生時代初頭頃の大環濠とは別の環濠で、板付Ⅱ式の時期のものである。この溝は古墳時代前期まで完全には埋もれずに残っているが、中・下層には板付Ⅱ式土器しか含まれていないため、比較的短期間のうちに放棄され、その後は自然に埋もれたと考えられている。今回は限定的な調査であったが、環濠の再確認を行えた。

報告書は2002年度以降に刊行予定。



1. 調査地点の位置（82 原　0309　1：8000）



2. 調査区南半全景（北から）

3. 調査区北半全景（南から）

0039 野芥遺跡第10次調査（NKE－10）

所 在 地　早良区野芥１丁目地内
調査原因　道路建設（外環状線）
調査期間　20009.4～9.27
調査面積　300㎡
担 当 者　藏冨士　寛
処　　置　記録保存

位置と環境　野芥遺跡は早良平野の東側にあり、その東側には、飯倉丘陵が南北に伸びている。当調査地点は、５次調査地点の東側に位置し、５次調査では、溝状遺構、住居跡等が検出されている。特に溝中からは、多くの土師器が出土している。

現地表面より、1.2mほど掘り下げた標高16m付近(暗赤褐色砂質土)を第１面、更に0.5m程掘り下げた黒褐色土上面を第２面とし、計２面の調査を行った。

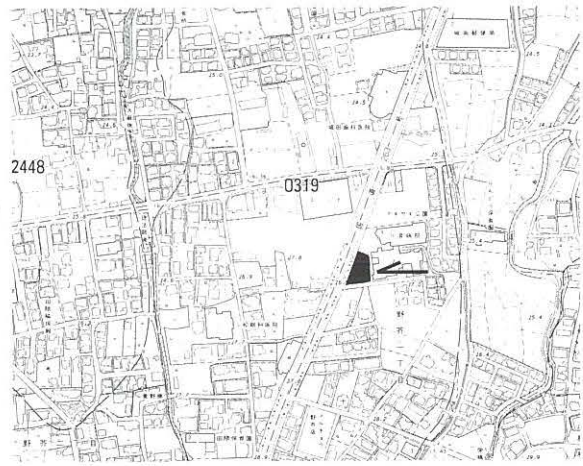
検出遺構　第１面では、溝状遺構３、そしてピット群が検出された。溝状遺構の内、２本は自然流路である。他の１本(溝１)は、調査区の南北方向に走るもので、幅0.8m、深さ0.2mを測る。ピット群は発掘区の西側に集中し、東側では数少ない。

第２面では、調査区中央に幅1.5mの大溝が検出された。深さは1.5mほど。地盤が多量の水分を含み、崩落の危険があったため、この溝は重機によるトレンチ調査のみに留めた。

出土遺物　出土遺物はごく少ない。溝１からは、土師皿片、青磁等が出土した。大溝を含め、第２面からの遺物の出土は無かった。

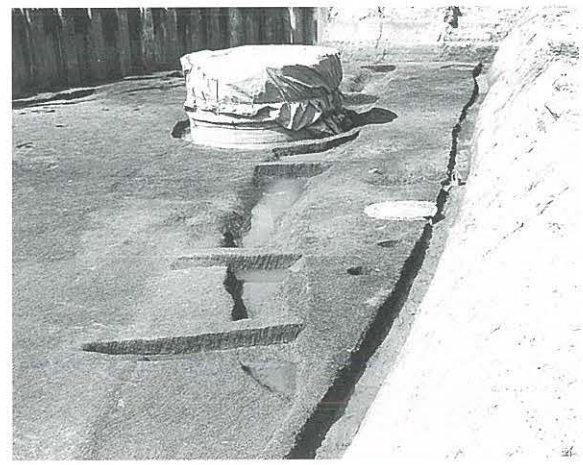
まとめ　今次調査の結果、当地は野芥遺跡の縁辺部にあたることが判明した。また、溝など、今次調査で検出した遺構は、周辺における遺跡のあり方などを加味して、評価・判断する必要があろう。

報告書は、2001年度刊行の予定である。



1. 調査地点の位置（83 野芥　0319　1：8000）

2. 調査区全景（南から）


3. 溝（南から）

0040 南八幡遺跡第10次調査（MHM－10）

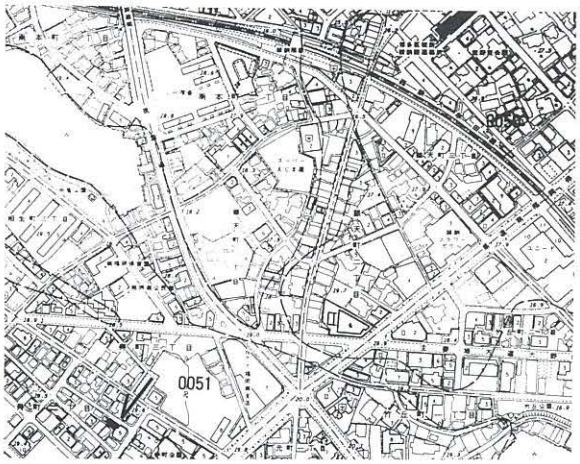
所 在 地　博多区寿町２丁目63
調査原因　共同住宅建築
調査期間　2000.9.25～9.30
調査面積　30㎡
担 当 者　佐藤一郎
処　　置　記録保存

位置と環境　南八幡遺跡は福岡平野を北に流れる那珂川と御笠川に挟まれた洪積台地上に立地する。本調査地は南八幡遺跡のほぼ中央、第３次調査地の北西50ｍに位置する。

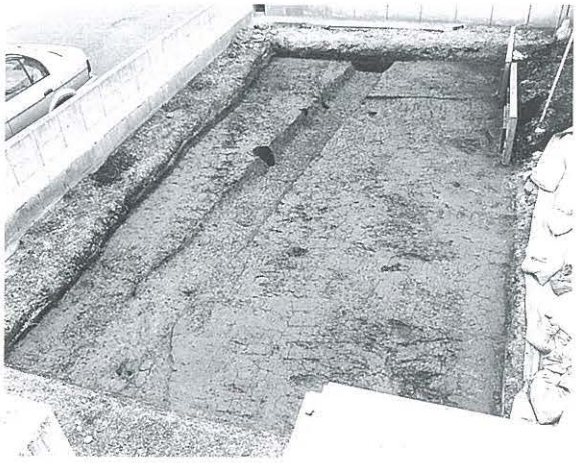
検出遺構　遺構面は地表土直下25㎝のローム層上面で検出され、標高10.2ｍを測る。検出した遺構は近代の溝１条である。
溝は幅70㎝、深さ25㎝を測り、延長８ｍ検出した。N-40°-Wに方位をとる。

出土遺物　遺物は溝の埋土から近代の磁器小片が数点出土したのみである。

まとめ　本調査地は地元の方の話によると、戦後高低差をならすために開墾され、著しい削平があったとのことで、それに伴って遺構が消滅したと考えられる。



1. 調査地点の位置（25 井尻　0051　1：8000）


2. 調査区全景（南東から）

0041　箱崎遺跡第23次調査（HKZ－23）

所 在 地　東区箱崎３丁目2404番地
調査原因　専用住宅兼共同住宅
調査期間　2000.9.22～11.2
調査面積　188㎡
担 当 者　長家伸
処　　置　記録保存

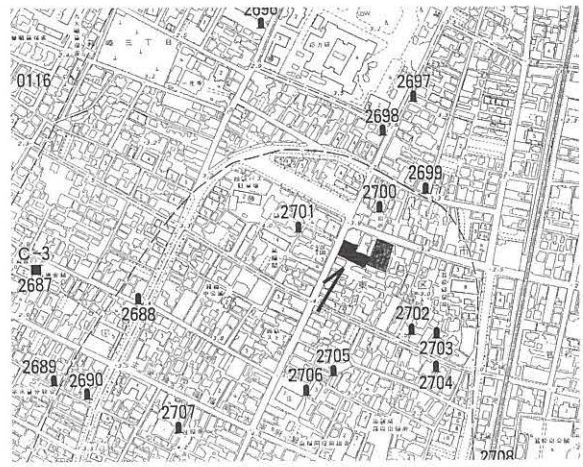
位置と環境　箱崎遺跡は、博多湾に面した砂丘上に立地する。砂丘は博多湾沿いにほぼ南北に延び、東側を宇美川によって後背湿地と画されている。これまでの調査によって古墳時代以降の遺構が確認されているが、特に11世紀代から遺構・遺物量が増加している。発展の契機となるのは筥崎宮創建(923年)と考えられるが、この時期の遺構は少数である。元寇の際には筥崎宮は焼失している。なお、この後箱崎には防塁が築かれている。

検出遺構　申請地は調査前には江戸末に建てられた家屋が西側半分にあり、東側は中庭となっていた。これを反映してか、東側には近世以降の遺構が多く、家屋下の申請地西側では中世前半を主体とした遺構が多く見られた。検出遺構には井戸、土坑、ピットがある。近世に位置付けられる石組みの井戸では、石組み石材として自然石使用の板碑を使用している。中世後期～末(近世初頭)のものである。また12世紀代と考えられる井戸は桶組による井筒を使用している。

出土遺物　遺物は総量でコンテナ13箱出土している。出土遺物では土師器・陶磁器が主体を占め、その他瓦・銅銭・須恵器・鍛冶滓なども見られる。

まとめ　今回は砂丘の北側縁辺部分に近い地点の状況を捉えることができた。近辺の調査事例が多い地区であり、今後細かな検討が可能となるであろう。

報告書は2001年度刊行予定。



1. 調査地点の位置（34　箱崎　2639　1：8000）

2. 調査区東半全景（東から）

3. 調査区西半全景（東から）

0042 老司B遺跡第１次調査（RZB－１）

所 在 地　南区老司２丁目29－１他６筆地内　調査面積　326㎡
調査原因　店舗（公衆浴場建設）　担 当 者　久住猛雄
調査期間　2000.10.2～11.9　処　　置　記録保存

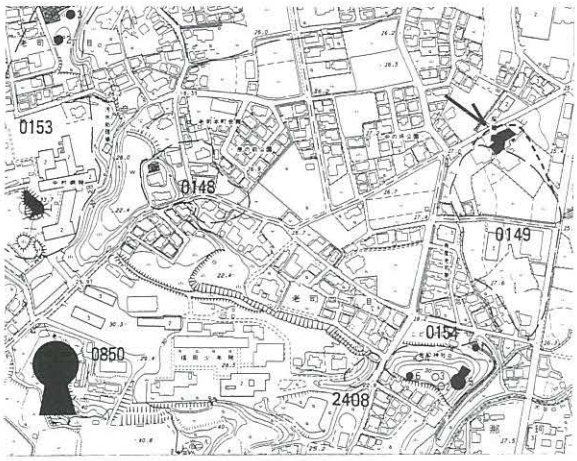
位置と環境　老司B遺跡は、福岡平野の南側、那珂川中流域西岸に位置する。調査地点は、背振山系から派生する丘陵の裾部の沖積微高地上にある。調査地から西南西500mには4世紀末の大型古墳である老司古墳があり、また、南250mには小型前方後円墳を含む老松神社古墳群や、奈良時代の「老司式」瓦を焼成した老司瓦窯跡群がある。調査地点付近の標高は16.5～17.0mである。

検出遺構　厚い客土と旧水田耕作土を除去し、標高16.0m前後で明青灰色ないし黄褐色粘質土の地山となり、その面で遺構を検出した。検出遺構は、砂の堆積から水路と判断される溝１、小溝（幅60cm未満）６、竪穴住居１、土坑4、不明遺構（不整形竪穴の底面か）２、柱穴47である。遺構の時期は、出土遺物から、水路は中世前期頃（？）、他の竪穴住居や小溝、柱穴、土坑の多くは奈良時代（８世紀）、一部は中世前期（12～13世紀）と考えられる。遺構は、南側は薄く、北側に多く展開するが、より丘陵上方に近く本来はより高い地形と想定される南側が削平され、よりレベルの低い斜面裾部である北側の遺構の残存率が大きいためと推測できよう。

出土遺物　出土遺物は、奈良時代の土師器、須恵器、瓦片のほか、中世前期の白磁や土師器がある。総量にしてパンケース３箱である。その他、竪穴住居から砥石１点と、覆土の一部を洗浄した結果、鍛造剥片を若干量検出した。

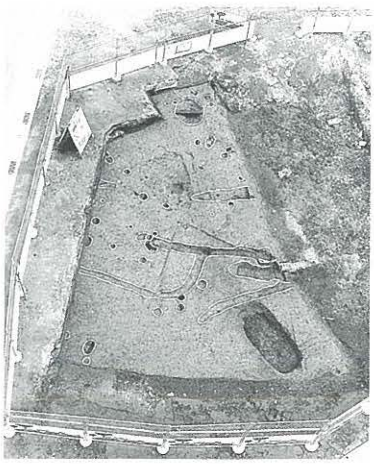
まとめ　竪穴住居は、主柱穴が不明で、鍛造剥片の出土から鍛冶工房の可能性がある。周囲の小溝は工房と関連があろう。住居床面直上に焼土、炭、粘土を含む土のブロックが分布し、鍛冶行為との関連が考えられる。

2001年度に報告書刊行予定。



1. 調査地点の位置（40 老司　0149　1：8000）

2. 調査区南半全景（北から）


3. 調査区北半全景（南西から）

0043 井尻B遺跡第19次調査（IGB－19）

所 在 地　南区井尻５丁目12-32
調査原因　個人専用住宅兼共同住宅建築
調査期間　2000.10.2～10.12
調査面積　133㎡
担 当 者　池田祐司
処　　置　記録保存

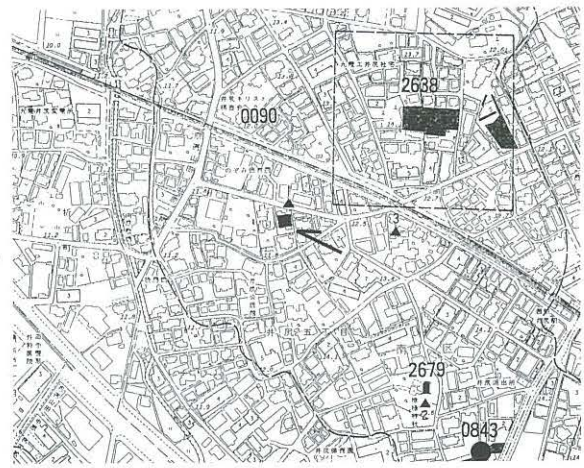
位置と環境　井尻Ｂ遺跡は須玖丘陵から延びる洪積台地上に広がる。調査地点は丘陵の西端ほぼ中央に位置し、標高12ｍを測る。調査区は西側1/3は谷状の湿地で丘陵部も傾斜する。

検出遺構　遺構は東西方向に走る溝１条とピットおよび土坑である。溝001は断面が浅いＵ字状を呈し、しまりのない黒色土を覆土とする。遺物は少なく古代末の土師器杯が出土している。この溝に連なる溝からは近世の瓦が出土している。

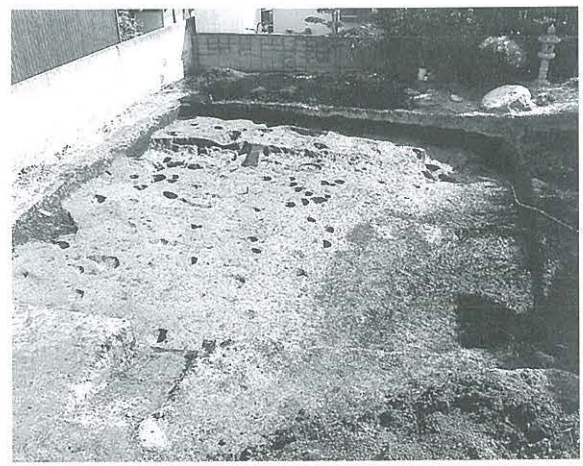
出土遺物　西側の谷状の落ちは昭和30年代まで存在した池の名残である。遺物は少なく、上部で染め付けの碗が、下部では須恵質の瓦、近世の陶器が出土している。瓦は外面叩き、内面ケズリまたは布目圧痕がみられる。

まとめ　注目される遺物として、奈良時代のものと考えられる須恵器質の瓦があげられる。北側の丘陵には古代寺院の存在が推定されており、出土した瓦もこれに関連する可能性があろう。

報告書は2003度刊行予定である。



1. 調査地点の位置（25 井尻　0090　1：8000）


2. 調査区東半（北から）

3. 谷部（北から）

0045 那珂遺跡群第77次調査（NAK－77）

所在地	博多区竹下３丁目39番地外58筆	調査面積	349㎡
調査原因	工場施設(乾燥パレット置場)建築	担当者	井上繭子
調査期間	2000.10.4～10.6	処置	記録保存

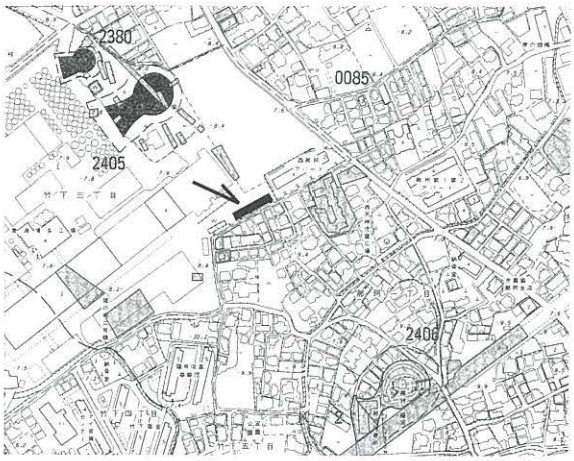
位置と環境　那珂遺跡群は、福岡平野を貫流する御笠川、那珂川に挟まれた平野内に位置し、春日丘陵から那珂川の蛇行に沿って伸びてくる洪積丘陵北端に立地する。本調査区は那珂遺跡群の北西付近、アサヒビール敷地内南側に位置し、現地表下約50㎝、標高約８ｍで遺構面である鳥栖ロームが検出された。

検出遺構　溝１条、土壙、ピットが検出された。溝は幅約30㎝、深さ60㎝を測り、北北西－南南東の方向をとる。弥生時代後期の遺物が出土している。

出土遺物　遺物はほとんどないが、土壙から甕棺と思われる破片が出土している。出土遺物はパンケース１箱分である。

まとめ　アサヒビール敷地内では各地点で調査が進み弥生時代～古墳時代を中心とする各遺構が検出されている。本調査区は既存の建物のため削平が激しく遺構も少なかったが、本来は集落の範囲内であったと考えられる。

調査報告書は2001年度に刊行予定である。



1. 調査地点の位置（37 東光寺　0085　1：8000）

2. 調査区東側全景（南から）

3. 溝SD01（北から）

0046 飯倉C遺跡群第6次調査（IKR－C－6）

所在地　城南区七隈2丁目1178-1地13筆　　調査面積　395㎡
調査原因　宅地造成　　担当者　蔵富士　寛
調査期間　2000.10.12～10.19　　処置　記録保存

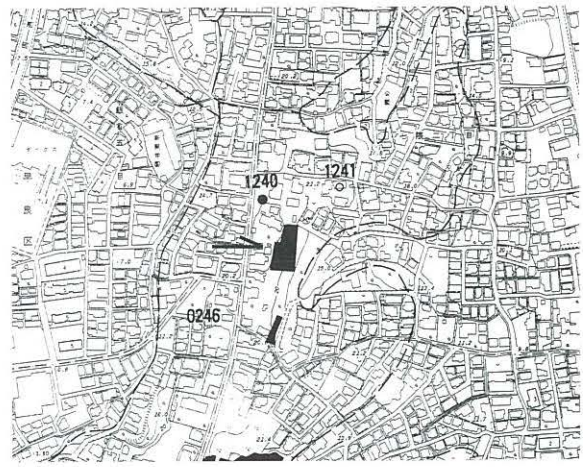
はじめに　平成12年8月25日、沢田勝利氏より当地における宅地造成に先立ち、埋蔵文化財事前審査申請書が提出された。これを受けて埋蔵文化財課では、同年9月14日に試掘調査を行い埋蔵文化財の存在を確認した。その後、両者間での協議の結果、同年10月12日より記録保存のための発掘調査を開始した。

位置と環境　早良平野の東側に位置し、油山から北に延びる狭長な丘陵は飯倉丘陵と呼ばれ、この丘陵一帯には飯倉遺跡群が立地している。

調査の概要　調査は30㎝ほどの表土を除去した後、明赤褐色土の上面で遺構を検出した。遺構面は調査区中央を境に、南北方向になだらかに傾斜している。特に南端部は後世の削平のため、大きな落ち込みが認められる。遺構としては土壙そしてピット群を挙げることができる。その密度はさほど濃いものではなく、調査区中央に集中する傾向がある。ほとんど遺物を伴わないためこれらの所属時期は不明。

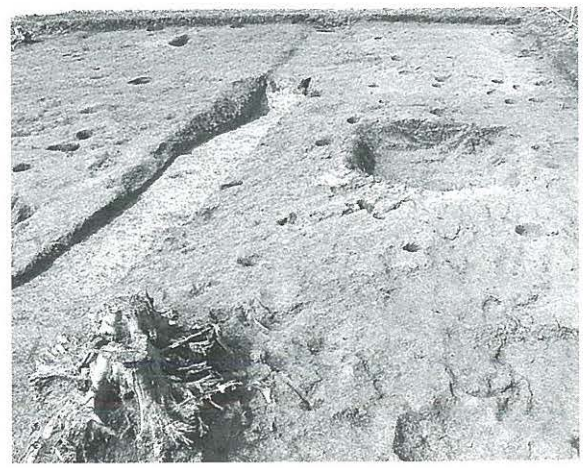
出土遺物　遺物出土量は極めて少なく、ほとんどが表土中から出土したものである。その種類としては、弥生土器、土師器、須恵器等がある。

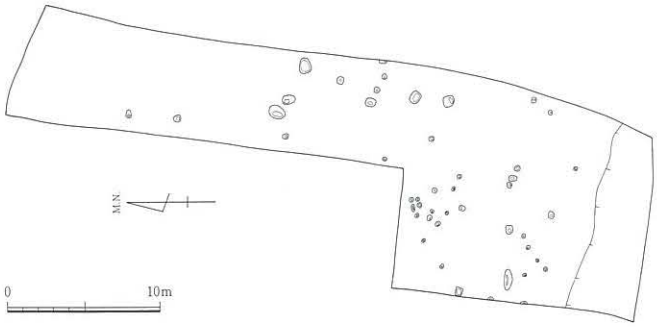
まとめ　当調査区における遺構の密度は薄いものであった。これは当該地点が丘陵の高所にあり、後世の削平を最も受けやすいという状況も影響していよう。



1. 調査地点の位置（73 茶山　0246　1：8000）

2. 調査区全景（1）（南から）


3. 調査区全景（2）（西から）



4. 遺構配置図（1／500）

0047 箱崎遺跡第24次調査（HKZ－24）

所在地	博多区箱崎１丁目2511番他4筆	調査面積	475㎡
調査原因	共同住宅建設	担当者	佐藤一郎
調査期間	2000.10.23～2001.1.31	処置	記録保存

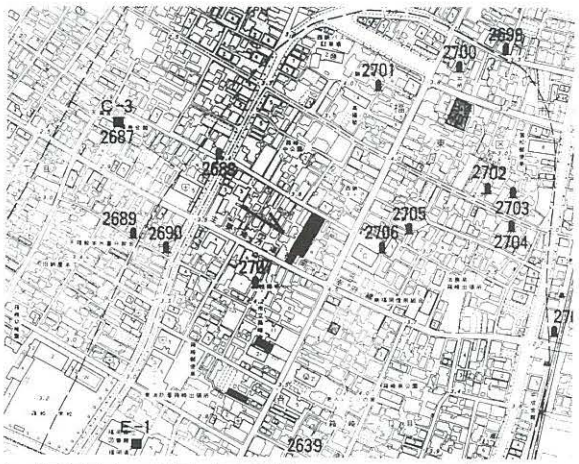
位置と環境　調査地点は、箱崎遺跡のほぼ中央に位置する。地下室による撹乱が入る中央部を除いた400㎡を調査対象とした。中央部撹乱南側は地山の砂層まで撹乱層が及んでいたが、同東側・北側では遺構の残存は良好で、現地表から約80㎝の撹乱層下で遺物包含層（灰褐色砂質土）を確認し、その上面では部分的に焼土層がみられた。包含層上面より30～40㎝下で地山の砂層となる。

検出遺構　包含層上面では土師器杯・小皿を多量に廃棄した土坑、青磁盤・陶器壷埋納土坑、幅狭の溝、柱穴多数を検出した。遺構の時期は13世紀後半～14世紀前半で、遺構の埋土には焼土・炭化物を含んでいる。砂層上面では土坑、柱穴群の他、井戸10基、木棺墓１基を検出した。時期は12世紀後半～13世紀前半。木棺墓は上面に2.1×1.4ｍの矩形に集石を配し、墓壙の四隅には径50～80㎝の扁平な石を据え、木棺は腐朽して残存せず、鉄釘も検出されず、釘を用いない組み合わせ式とみられる。横臥の人骨が残存し、頭部付近に土師器小皿４、白磁・碗２、皿１、刀子１が副葬されていた。

出土遺物　包含層上面で検出した遺構を中心として南宋後半～元代の龍泉窯系青磁がまとまった数量で出土した。そのほとんどは火災に遭って、表面がケロイド状をなし、煤が付着している。遺物の総量はコンテナ80箱。

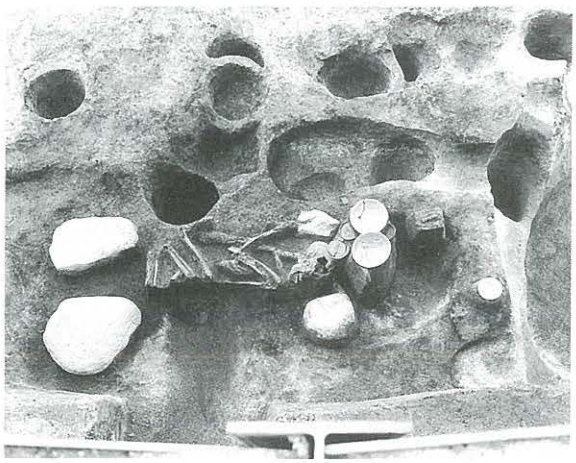
まとめ　周辺調査例と同様、掘立柱建物を構成する柱列、溝、墳墓は現在の町割と方位を同じくする。

報告書は2002年度に刊行予定である。



1. 調査地点の位置（34 箱崎　2639　1：8000）

2. 調査区全景（包含層下面）



3. 木棺墓（東から）

0048 那珂遺跡群第78次調査（NAK－78）

所在地	博多区竹下３丁目39番地他58筆	調査面積	611㎡
調査原因	工場（貯ビン場）建設	担当者	池田祐司
調査期間	2000.11.15～12.25	処置	記録保存

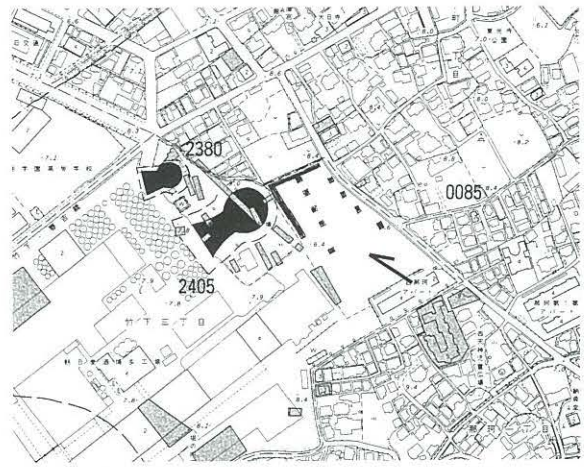
位置と環境　那珂遺跡は、那珂川と諸岡川に挟まれた中位段丘である那珂・比恵丘陵上に位置する。調査地点は那珂遺跡群の北寄りで、標高約８ｍで東光寺剣塚古墳の東に隣接する。現在は工場の空ビン置き場で、覆い屋建設に伴い基礎工事で遺構が壊される部分について調査を行った。

検出遺構　全域にわたって削平が大きく、残っている遺構、遺物は少ない。特に中央部が著しい。西側は元の地形が下がっているため近現代の削平は免れているが、遺構の密度は小さい。古墳は第１、２、３周溝を確認し、10次調査で復元推定していた墳形を追認することができた。特に不確定であった第3周溝を確認し、張り出し部がこれまでの復元より大きなものであることが分かった。第１周溝は近代まで用水等に使用され、改変が大きい。中世では併走すると考えられる溝を２条検出した。近世では土抗墓４基を検出している。

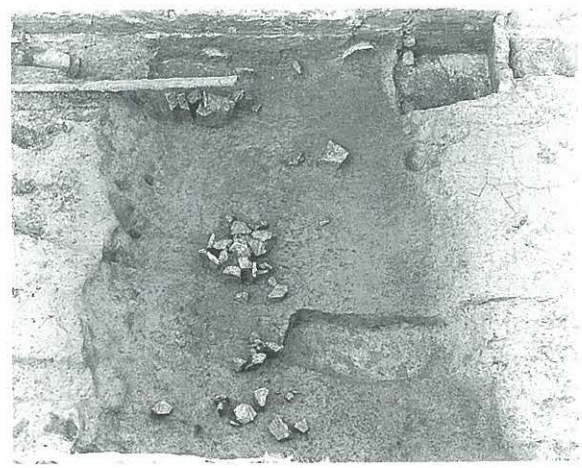
出土遺物　第２周溝から比較的多くの円筒埴輪が出土したが、破片が散乱し個体がまとまったものはない。第３周溝からの遺物は少ないが、張り出し部で形象埴輪が出土している。第１周溝からは近世の陶磁器、瓦、土器が出土している。また、近世の土壙墓には骨が遺存しているものがあり、寛永通宝、錫杖の頭、玉等が出土している。また、周溝からは甕棺等の弥生時代中期の土器が少量出土した。

まとめ　東光寺剣塚古墳の周溝復元の資料を得ることができた。埴輪は第２周溝に多く、その内側に並んでいたと考えられる。周溝は北側の畑に拡がることは明らかであり、保存が望まれる。

報告書は2001年度刊行予定である。



1. 調査地点の位置（37 東光寺　0085　1：8000）


2. Ⅰ区第２周溝（南から）

3. Ⅱ区第２周溝（南から）

0049 桑原飛櫛貝塚第２次調査（KWT－２）

所 在 地　西区桑原地内
調査原因　下水道築造工事
調査期間　2000.11.9～11.20
調査面積　3㎡
担 当 者　米倉秀紀
処　　置　工事立会

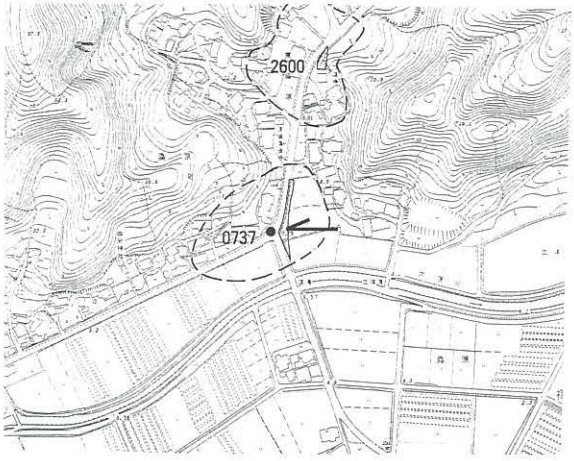
位置と環境　糸島半島のほぼ中央は、往古は東西から大きな海の湾入があり、以前は東西の湾入がつながっていたと考えられ、糸島水道と呼ばれていた。現在は東西の両湾入はつながっていなかったと考えられている。当貝塚は東の湾入部の北岸に位置する。貝塚の北には低丘陵があり、貝塚の丘陵直下の平坦面上に立地している。

検出遺構　下水道本体は、事前の協議により貝層の下をトンネル状に通す工法としたため、調査は竪坑部分のみとした。竪坑は１×1.5mの広い部分２箇所と、径1.8mの円管を押し込む工法部分２箇所で、前者は重機で試掘を行い、後者は事実上調査不可能の為、立会調査とした。前者はともに貝塚範囲外で、試掘の結果、遺構・遺物ともになかった。後者のうち１箇所は貝塚の中心近くで、厚さ約１mの貝層にあたり、遺物を採取した。

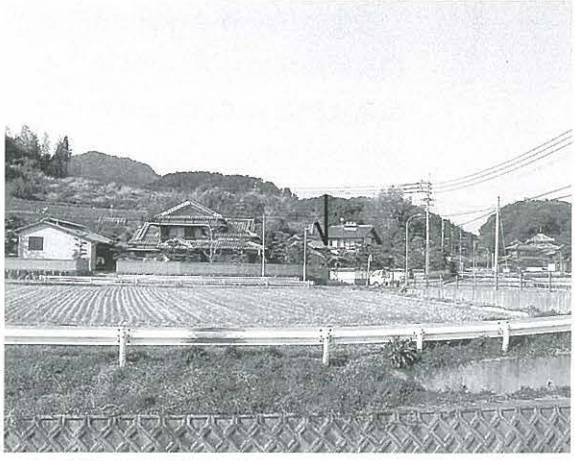
出土遺物　土嚢袋約100袋以上の貝を採取した。ごく一部を水洗いしたが、魚骨・獣骨・土器・石器等を含んでいる。今後水洗する予定である。

まとめ　今回の調査は、工法上発掘調査ができず、しかも土層の確認や写真の撮影もできなかった。ほぼ貝層の中心近くにあたり、工法上やむを得ないとは言え、今後充分注意しなければならない。採取した貝層は土嚢袋100袋以上に及ぶ。今後長期の時間をかけて整理していかなければならない。

報告書の刊行年次は未定である。



1. 調査地点の位置（129 桑原　0737　1：8000）


2. 調査地遠景（南から）

0050 立花寺遺跡第５次調査（RGG－５）

所 在 地　博多区立花寺２丁目地内
調査原因　市民農園整備
調査期間　2000.11.15～2001.1.13
調査面積　416㎡
担 当 者　長家 伸
処　　置　記録保存

位置と環境　立花寺遺跡は福岡平野の東側を画する月隈丘陵の西側斜面部分に立地する。これまでの調査で古墳時代後期～古代を主体とした遺構・遺物が確認されており、特に第２次調査では古代の建物群と共に初期貿易陶磁器などが出土している。申請地は調査前には宅地として使用されており、調査地点東側は墓所となっていたようである。調査区は丘陵が沖積面に落ち込む縁辺部分にあたり、中央を開析された谷部が広がる。

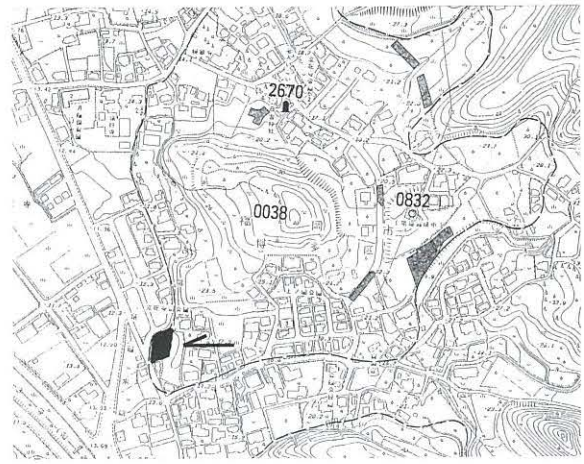
検出遺構　検出遺構には、弥生時代中期後半の溝１条、古墳時代後期の掘立柱建物１棟、中世前半期の井戸１基、溝１条のほか、土坑・ピットがある。

弥生時代の溝は谷部中央を東西に延びている。調査区東端に井堰状の木組みがあり、この東側は池状になっていた可能性がある。古墳時代後期掘立柱建物は２間×２間の総柱である。中世の井戸は３段の桶組が残存していた。また溝は建物を区画する施設の可能性がある。

出土遺物　遺物は総量でコンテナ23箱分出土している。出土遺物では弥生土器・土師器・須恵器・陶磁器が主体を占め、その他弥生時代の建築材、中世の井筒に使用された木材等が出土している。

まとめ　今回は沖積地前面の調査で各時代の遺構・遺物を検出した。総柱の建物は斜面を整地した後に建てられている。立花寺遺跡では古墳時代後期～古代の建物が面的に展開しており今回の建物もこの一部であろう。

報告書は2002年度刊行予定。



1. 調査地点の位置（11 金隈　0038　1：8000）

2. 調査区全景（西から）

3. 井筒検出状況

0051 板付遺跡第67次調査（ITZ－67）

所 在 地　博多区板付２丁目９－８　　調査面積　54㎡
調査原因　事務所建設　　担 当 者　藏冨士　寛
調査期間　2000.11.20～12.12　　処　　置　記録保存

位置と環境　当調査地点は、国史跡板付遺跡の北側に位置し、西隣には、過去福岡市教育委員会が行なった第60次調査地点が存在する。

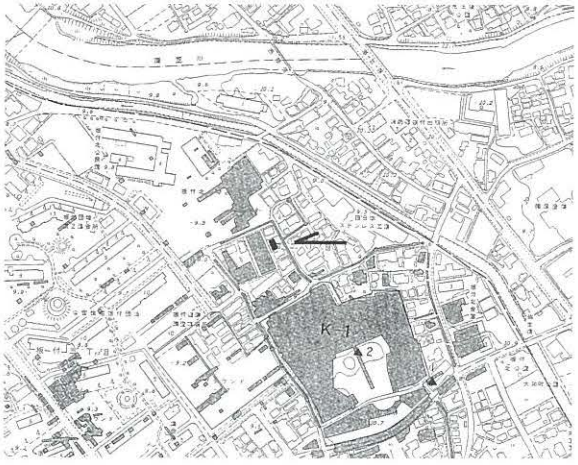
検出遺構　標高８ｍ程の八女粘土上にて、遺構を検出した。その内容は、土壙墓３、溝７、ピット群である。土壙墓は調査区北側で検出され、大きいものから順に2.2×1.2m、1.9×1.0m、2.0×1(＋α)ｍを測り、深さは20㎝程である。長方形を呈するという平面プラン、３基の内２基が軸をそろえ、近接して存在すること、残りの１基は２基に直交する主軸を持つこと、第60次調査における所見等を加味して、これら３基を「墓」と判断した。単なる土壙墓ではなく、木棺墓である可能性もあるが、土層の観察からは判断できなかった。

出土遺物　出土遺物が少なく、時期の決め手に欠くが、第60次調査時に検出された土壙墓は縄文時代晩期から弥生時代前期のものと判断されており、今次調査の土壙墓も同様の時期と考えることができよう。調査面積が狭く、ピット群からは有意な配列をみることはできなかった。出土遺物、そして埋土より、これらピット群は弥生時代中期後半のものと考えられる。溝は調査区南側で、複雑に切り合って存在する。最も大きい溝(溝１)は、最大幅2.2m、深さ0.5mを測る。出土遺物から、溝１は古代末～中世のものであろう。

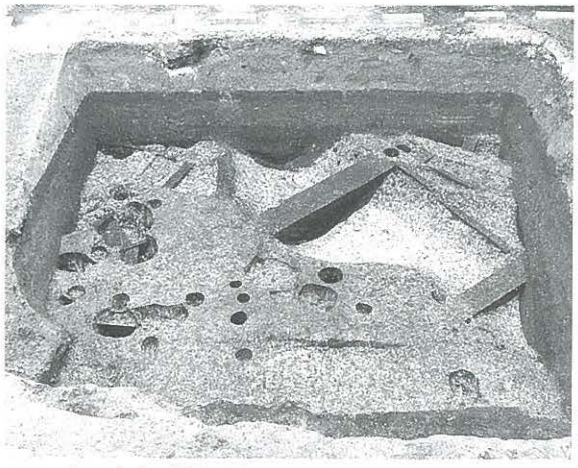
調査面積に比して、コンテナ２～３箱ほどと出土遺物も少ない。溝１からは、土師皿、杯、椀などが比較的まとまって出土した。

まとめ　今次調査における最大の成果は、土壙墓を３基確認できたことであろう。ピットにはいくつか柱痕跡の残るものがあり、何らかの建築物の存在が想定できる。

報告書は2001年度に刊行予定である。



1. 調査地点の位置（24 板付　0094　1：8000）


2. 調査区南半（北から）

3. 調査区北半（南から）

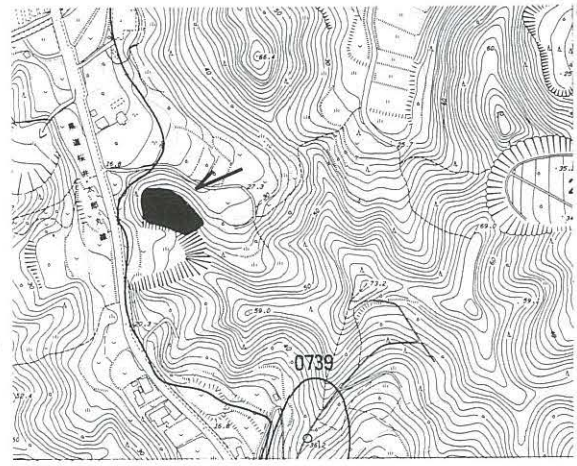
0052 元岡・桑原遺跡群第25次調査（MOT－25）

所 在 地　西区大字桑原字石ヶ原
調査原因　大学移転に伴う造成工事
調査期間　2000.12.19～2001.3.31
（13年度継続中）
調査面積　550㎡（古墳２基）
担 当 者　松浦一之介
処　　置　記録保存

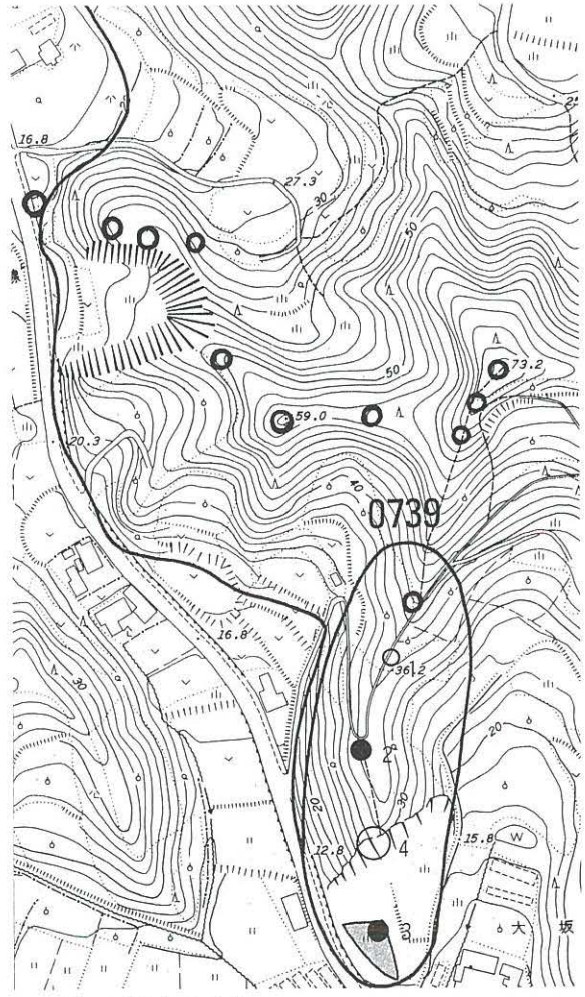
位置と環境　調査地点は、糸島半島の西部を東に流れる大原川の右岸に形成された舌状丘陵の尾根上に立地し位置し、標高30～70mを測る。丘陵群の頂上には、全長54mの前方後円墳である石ヶ原古墳が立地する。そこから桑原古墳群Ａ群、元岡古墳群Ａ群、同Ｊ群などの円墳群が数基ずつまとまって展開している。また県道桜井太郎丸線をはさんで西側には、桑原石ヶ元古墳群がある。

調査前の現況は山林で、周辺は近代の果樹園の造成により大きく削平されて、古墳群は大きく破壊されていた。

ま と め　調査はまず伐採作業から着手し、２、３号墳周辺の樹木及び竹の伐採に１ヶ月間以上を要した。同時に周辺の踏査を行った。平成８年度の踏査では、周辺に６基の古墳が確認されていたが、12年度の踏査の結果、新たに８基の古墳が想定された。伐採作業の終了の後、現況測量を行った。今年度は発掘調査を一部行い、次年度に継続した。



1. 調査地点の位置（129 桑原　2782　1：8000）



2. 踏査で確認した古墳

0053 博多遺跡群第127次調査（HKT－127）

所 在 地　博多区冷泉町41-1他
調査原因　店舗付きマンション建築
調査期間　2000.12.1～2001.2.9
調査面積　185.0㎡
担 当 者　杉山富雄
処　　置　記録保存

位置と環境　博多遺跡群は、博多湾奥に発達した砂州上に立地する遺跡である。本調査地点は、その最奥部微高地の緩い北斜面に立地する。標高５ｍほどの位置にある。

検出遺構　調査は３面に分けて行った。

第１面では、調査区北端部に整地層がひろがり、遺構はそれを切り込んで、土壙・小穴等が調査区中央部にかけて密集している。土師器を一括投棄した土壙(鎌倉時代)、灰混りの覆土に白磁碗を投棄した小穴が複数ある。

第２面の遺構には、整地層下から掘り込まれた土壙及び小穴の他に井戸並びに溝がある。溝は調査区の北の端を東西方向に走る。溝は、一度埋まったものが再度掘り返され、利用されているものと見て取れる。平安時代後半の年代をあてることができよう。

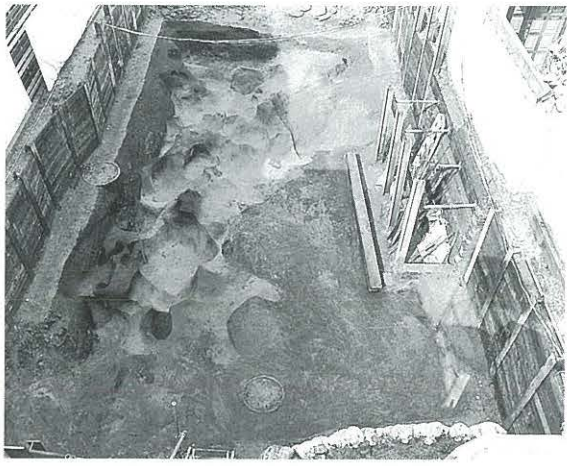
地山上の暗褐色の少量の遺物を含む砂層を掘り下げ地山面で遺構を検出した(第３面)。土壙などがまばらに出土した。遺物の量は極少なく、遺構の時期は、不確実であるが、奈良時代前後とできようか。

出土遺物　遺物の分量はコンテナ70箱ほどである。そのほとんどが土器類で、半ば以上は箆切底・糸切底の土師器坏・皿、次いで輸入陶磁器が多く、なかでも白磁碗・皿の類が半ばを占めるほかに少量の青磁および陶器類が含まれる。

まとめ　本地点には、井戸もあることから生活の場であったことは確かであるが、建物などの復元には至らなかった。また、旧地盤の復元資料からすると、北側は、西から入り込む谷に面しており、ちょうどその位置に溝が走る。土地利用についての何らかの境界を示しているものかもしれない。

報告書は2001年度刊行予定である。

1. 調査地点の位置（49 天神　0121　1：8000）



2. １区全景（西から）

3. １区土拡（東から）

0054 下月隈鳥越遺跡第３次調査（STO－3）

所 在 地　博多区月隈１丁目８番
調査原因　空港整備
調査期間　2000.12.04～2001.01.31
調査面積　480.0㎡
担 当 者　上角智希
処　　置　記録保存

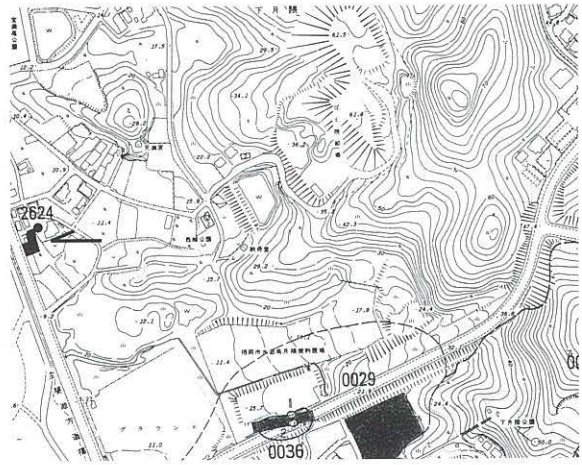
調査概要　本調査区は月隈丘陵から派生する舌状支丘の西裾に立地する。南北の両隣接地で第１・２次調査が実施され、古代の溝が検出されている。遺構面は急な斜面になっており、東側で標高10m、西側で7.6mを測る。

検出遺構　調査区南西部分の斜面で、並走・重複する５本の溝を検出した。最も大きな２号溝は幅110cm、深さ60cmを測る。

出土遺物　コンテナ１箱分の土器が出土したにとどまる。２号溝から出土した完形の須恵器坏蓋が唯一の良好な資料である。径が小さく返りをもち、宝珠つまみを有するもので、７世紀前半に位置付けられる。古代の土師器・須恵器が主であるが、中世の青磁片、弥生土器片も数点出土している。

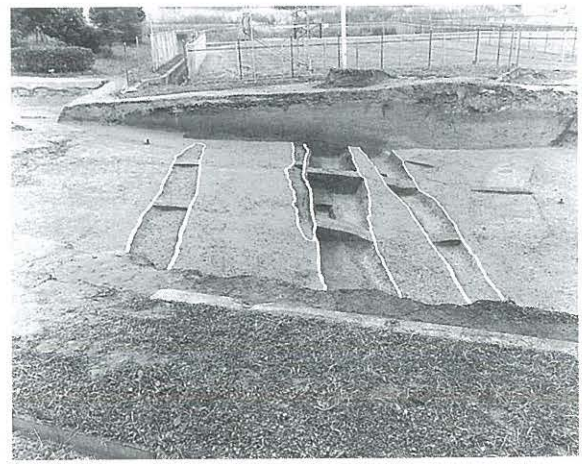
まとめ　略南北方向に並走する古代から中世前期にかけての溝５条を検出した。これらの溝は第１・２次調査で検出された溝とつながり、月隈丘陵の西裾の斜面に直線的に延びる長い溝が掘られていたことが分かった。溝の方位が条里制の方向に近いので、関連があるかもしれない。しかし、そうなれば出土須恵器の年代と矛盾が生じる。今後の検討課題である。

報告書は2001年度に刊行予定である。



1. 調査地点の位置（11 金隈　2778　1：8000）

2. 調査区北半（南から）


3. 調査区南西部の溝（北から）

0055 今宿五郎江遺跡第５次調査（IZG－５）

所在地　西区今宿137
調査原因　今宿中学校プール改築工事
調査期間　2000.12.19～2001.1.31
調査面積　150㎡
担当者　星野恵美
処置　記録保存

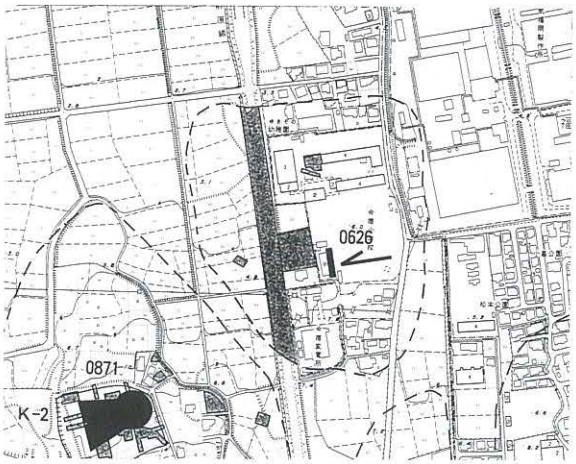
位置と環境　今宿五郎江遺跡は糸島平野東縁部の高祖山から今津湾に向かって、舌状に派生する丘陵の先端に立地する。今回の調査地点は今宿五郎江遺跡の中央部に位置し、標高は遺構検出面で５ｍを測る。北側の第１次調査では弥生時代後期の環濠が検出されている。西側の第２・３次調査では弥生時代中期から後期を中心とする溝・掘立柱建物跡が確認されている。第４次調査では弥生中期末に形成された包含層が厚く堆積している。

検出遺構　遺構は弥生時代中期末から後期初頭の溝２条・ピット、中世の溝１条・土坑・ピットである。中世の遺構は大きく削平されている。弥生時代の２条(SD01・SD02)の溝は、調査区をほぼ東西方向に走る。SD01は幅３～3.5ｍを測り、深さは東側で60㎝、西側で90㎝を測る。下層は水成堆積物がみられ、東から西に向かい水が流れた様相を呈している。溝の中には土器を中心に大量の遺物が廃棄されている。上層は南側から廃棄され、破片が多く、時期は中期末から後期初頭である。下層は北側から廃棄され、甕・壺・器台の完形品が多く見られ、時期は中期末である。この溝は西側の３次調査の溝に続く。SD02は幅２ｍ、深さ70㎝を測り、SD01同様、大量の土器が廃棄される。時期は上層が中期末～後期初頭、下層が中期末である。

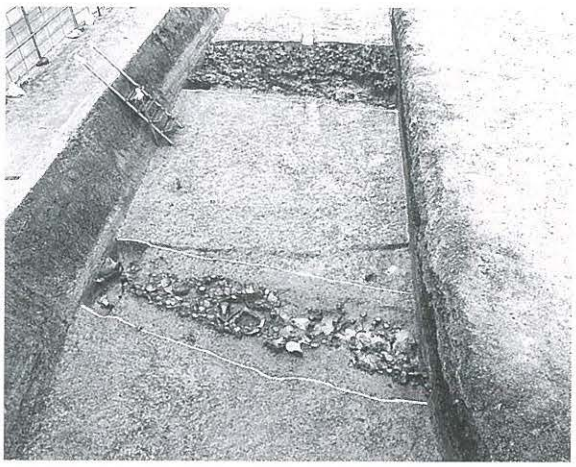
出土遺物　本調査ではコンテナで130箱分の遺物が出土した。土器以外にも石錘、石製紡錘車、不明鉄製品が出土している。

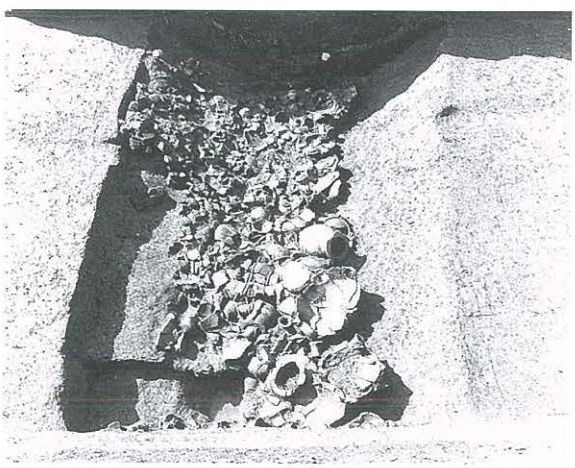
まとめ　これまでの調査で今宿五郎江遺跡の集落における半農半漁の生業形態が窺われた。今回の調査もこれに準ずるものであり、短期間にわたる数回の廃棄は、集落の消長を考えるうえで貴重な資料となろう。

調査報告書は2002年度に刊行の予定である。



1. 調査地点の位置（112 三日月山　0626　1：8000）


2. 溝SD01・SD02（北から）


3. 溝SD01遺物出土状況（東から）

0056 椎原Ｂ遺跡群第１次調査（SBB－１）

所 在 地　早良区大字椎原地内
調査原因　中山間地域整備事業（確認調査）
調査期間　2000.11.22～2001.3.22
調査面積　399.4㎡
担 当 者　横山邦継・阿部泰之
処　　置　記録保存

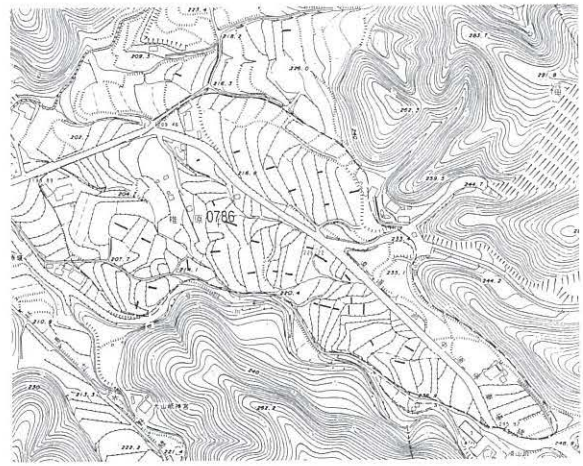
位置と環境　椎原Ｂ遺跡は、福岡市の西部域にあたる早良平野の南端に位置する。また、本遺跡は、標高が230～199mをはかる山間傾斜地に立地し、周辺には椎原Ａ遺跡、脇山遺跡群など主に中世期以降の遺跡が分布するが、椎原Ａ遺跡とともに他とは隔絶した谷筋にあたる。

検出遺構　近世以降の水田遺構。

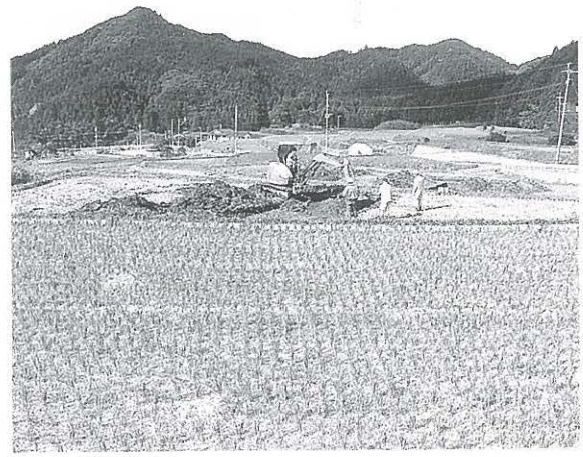
出土遺物　糸切り底土師皿、押型文土器、近世～現代陶磁器などパンコンテナ１箱分。

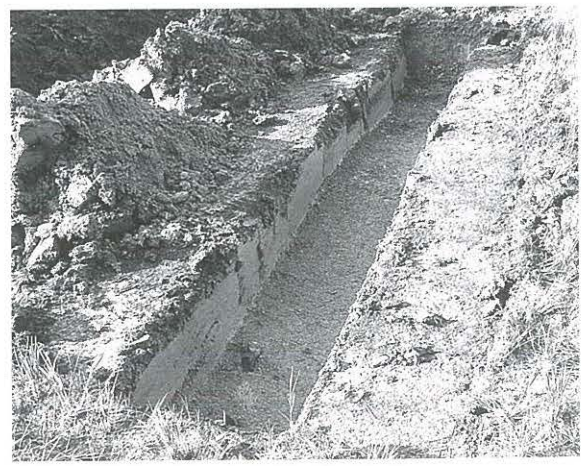
まとめ　試掘調査は、バックホーで約20～30㎝の表土を除去した後、人力による精査を行い遺構の検出にあたった。現況が急傾斜地にある小規模の棚田であったため、比較的大面積のものを選択し、過去の水田化にともなう削平を考慮して、主に傾斜面側にトレンチを設定した。掘削した試掘トレンチは区域全体で32本である。

遺構面と考えられる地山は、黄褐～赤褐色を呈する粘質砂礫土で、中には砂礫や人頭大以上の大礫を含む場合が多く、傾斜面側では70～100㎝、山側では表土直下で確認することができるが、これらの面での明らかな遺構は少なく殆どが過去の水田区画の変更作業と考えられる近世以降のものと考えられよう。ただ、試掘トレンチの地山面直上からは中世期に遡る糸切りの土師皿の細片が若干出土しており、この地域の開田の時期を示すものかと考えられる。また、出土遺物では他に遊離した縄文時代早期の山形押型文土器破片が出土した。



1. 調査地点の位置（早良12 椎原　0785　1：8000）


2. 調査前打ち合わせ（南から）


3. 試掘調査トレンチ（北から）

0057 那珂遺跡群第79次調査（NAK－79）

所 在 地　博多区那珂２丁目18-１
調査原因　那珂中学校プール改築工事
調査期間　2000.12.8～2.16
調査面積　746㎡
担 当 者　井上繭子
処　　置　記録保存

位置と環境　那珂遺跡群は福岡平野を貫流する御笠川、那珂川に挟まれた平野内に位置し、春日丘陵から那珂川の蛇行に沿って伸びてくる洪積丘陵北端に立地する。本調査区は那珂遺跡群の南寄りに位置し、北には第44次、西に第41次、東に第38次調査地点が所在する。遺構面は標高約９ｍの鳥栖ローム上面で、西側は削平されていた。

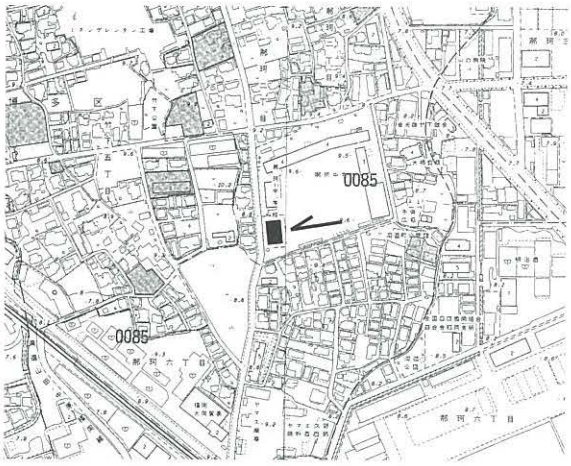
検出遺構　遺構面はかなり削平を受けており、特に調査区の中央付近は既存のプール水槽のため掘削されていた。検出遺構は溝３条、井戸２基、住居跡６軒である。

SD01とSD02とは一連のものである可能性があり、一度掘り直された痕跡がある。弥生時代中期～終末期の土器、７世紀前後の須恵器が出土している。SD03は白磁片が出土している中世の溝である。SE04は深さが３ｍ以上あり、底面で弥生時代後期の壷がほぼ完形で検出された。また、SE05も深さが３ｍ以上あり、弥生時代中期頃の壷や甕が計30個体以上投げ込まれていた。住居跡の１軒は２本の主柱穴を持ち方形を呈するが、貼床のみの検出であり、他の住居跡については不明である。

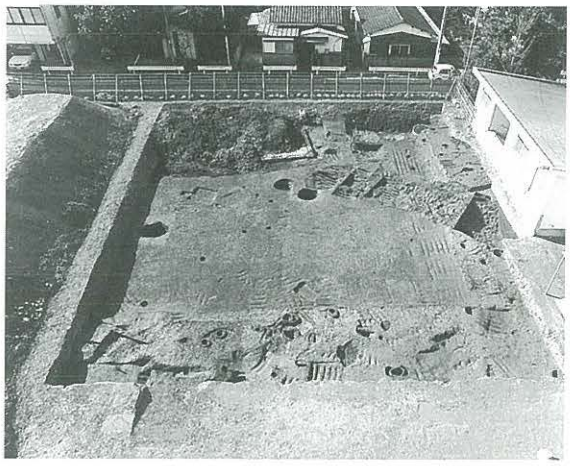
出土遺物　主に溝、井戸からの出土である。遺物は弥生時代中期～終末の土器、古墳時代の須恵器、中世の白磁である。特にSE05の遺物は一括資料として良好である。出土遺物はパンケース14箱分である。

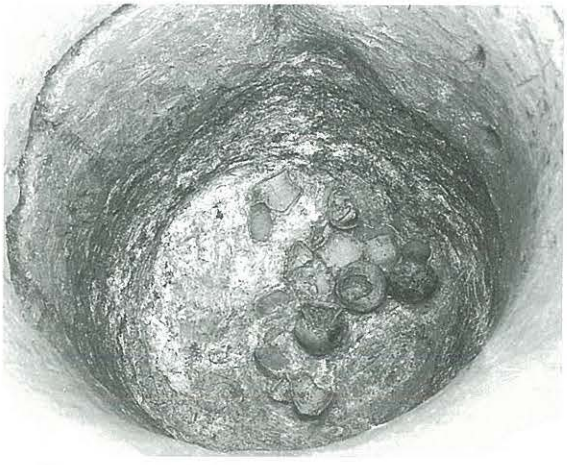
まとめ　プール等の削平により、遺構は予想以上に少なかったが、弥生時代から中世に至る時期の各遺構が検出された。特に井戸や住居跡から集落の広がりが推定される。また、SD01とSD02は周辺の調査から考えても、古墳の周溝である可能性が高い。

報告書は2002年度に刊行予定である。



1. 調査地点の位置（24 板付　38 塩原　0085　1：8000）


2. 調査区北側全景（東から）


3. 井戸SE05土器出土状況（南から）

0058 博多遺跡群第128次調査（HKT－128）

所 在 地　博多区博多駅前１丁目360
調査原因　水道局庁舎建設
調査期間　2001.1.15～2.28
調査面積　307㎡
担 当 者　長家　伸
処　　置　記録保存

位置と環境　博多遺跡群は現JR博多駅の北側に広がる遺跡群で、博多湾に面した砂丘上に立地する。今回の対象地は砂丘の南東隅の縁辺部にあたり、申請地南隣の現庁舎部分では南側に落ち込みが確認され、後背湿地の前面にあたる地区である。

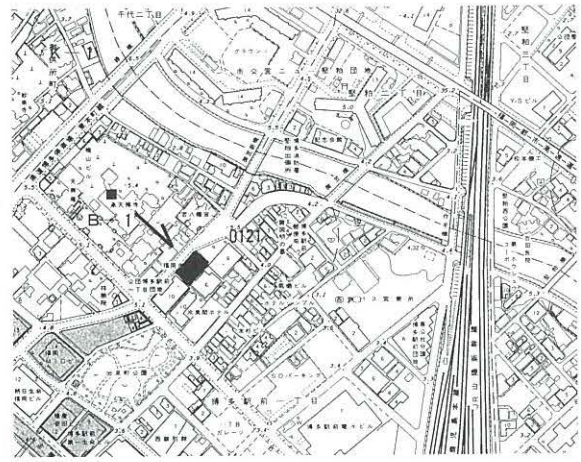
申請地は水道局庁舎建築前は移転前の旧博多駅プラットホーム東側端にあたり、現地表から1.3mまでは大きく撹乱を受けていた。上層撹乱土を除去すると地山の砂丘砂が大半で露出したため、１面での調査となった。

検出遺構　検出遺構には掘立柱建物、井戸、土坑、ピットがある。掘立柱建物は主軸方位が現状の地割りにほぼ並行し、東西桁行13間(20m)、南北梁行５間(７m)の長大な建物である。出土遺物から中世末に位置づけられ、周辺の状況及び出土遺物などから承天寺に関連する建物の可能性が考えられる。また井戸は５基検出しており、いずれも中世後半～末に位置づけられる。中でも石組みを行う井戸には、石塔が転用されており寺域内に建立されていたものを使用したものであろう。石塔のうち年号を刻むものには「永享」年(15世紀前半代)の銘が見られる。その他の遺構も概ね中世後半以降のものであろう。

出土遺物　遺物は総量でコンテナ47箱出土している。出土遺物では土師器・陶磁器が主体を占めるが、古式土師器なども出土している。また石塔部品が20個程度出土している。

まとめ　今回の調査で旧承天寺に関連すると考えられる遺構・遺物が確認された。寺域などには不明な点多く今後検討していきたい。

報告書は2002年度刊行予定。



1. 調査地点の位置（36 博多駅　0121　1：8000）

2. 調査区全景（東から）

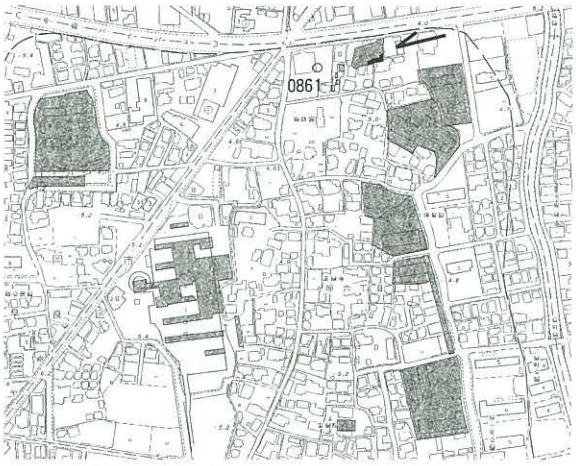
3. 石組井戸（東から）

0059 原遺跡群第21次調査（HAA－21）

所　在　地　早良区原６丁目652-2　　調査面積　52㎡
調査原因　集会所建設　　担　当　者　米倉秀紀
調査期間　2000.10.23～10.26　　処　　置　記録保存

1．調査に至る経緯

株式会社ラークより、早良区原６丁目652-2における事前審査願が平成12年10月11日に埋蔵文化財課に提出された。当該地は平成元年に第14次調査として発掘調査されていたが、敷地内の南端部が未調査であったため、その部分の調査を実施した。



1. 調査地点の位置（82 原　0310　1：8000）

2．遺跡の立地

原遺跡は早良平野北側にある、標高５ｍ前後の低い沖積微高地上に立地する。すぐ西側には弥生時代の環濠集落等を有する有田遺跡がある。調査地は原遺跡の最北端に位置する。前述のように、申請地は以前に第14次調査が行われており、弥生時代から中世の集落等が検出されている。今回は申請地内の南端部分の約70㎡を調査対象とした。

2. 調査区全景（西から）

3．調査の記録

調査区内の東半は大きな撹乱に拠って削平されており、実質的に調査を実施したのは52㎡である。検出した遺構は掘立柱建物１棟、井戸１基とピットである。

掘立柱建物ＳＢ

第14次調査から続く。桁行２間、梁間２間を測り、四面庇が付く。柱間は桁行が２ｍ、梁間が1.9ｍである。建物中央のピットもこの建物の柱穴かもしれない。出土遺物は土器の細片が少量出土した。

井戸ＳＥ

調査区南壁際で半分弱を検出したため、全景がわからないが、中央が深く、井戸と思われる。確認長1.6ｍ、確認深80cmを測る。陶磁器・土器の細片が出土した。

出土遺物

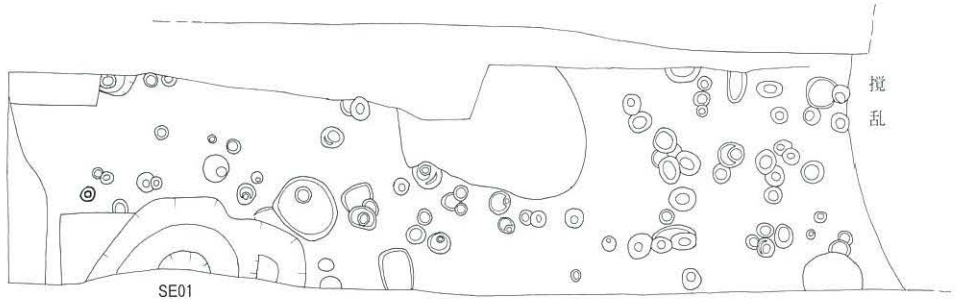
全体の出土量は浅コンテナ半分程度である。図示できたのは３点で、いずれもSE01の出土。

１は青磁碗で、外面に鎬蓮弁を施している。緑灰色を呈する。２は青磁碗もしくは鉢で、復元口径16cmを測る。オリーブ灰色を呈する。３は高台径6.2cmを測る瓦器碗の底部片である。

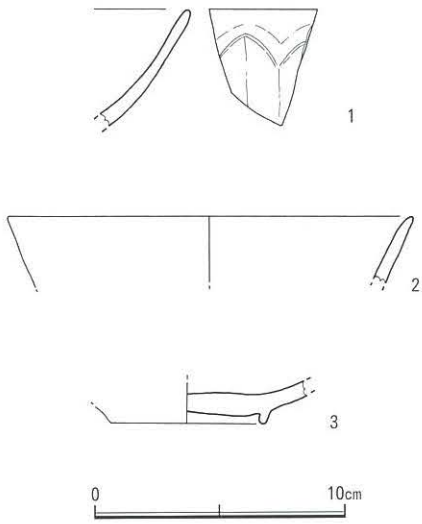
4．まとめ

今回の調査は第14次調査の残り部分であり、第14次調査同様、中世の集落跡の一部を検出する事ができた。掘立柱建物は２×２間の四面庇付きというやや特異な建物であった。今後周辺の調査例が増加したときに検討できるであろう。

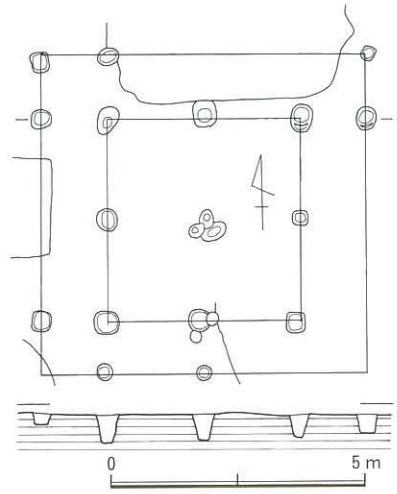
3. 原遺跡第14・21次調査全体図（1／300） 0 10m



4. 第21次調査遺構配置図（1／100） 0 2 m



6. 出土遺物実測図（1／3）



5. 掘立柱建物（1／150）

0060 福岡城跡第45次調査（FUE－45）

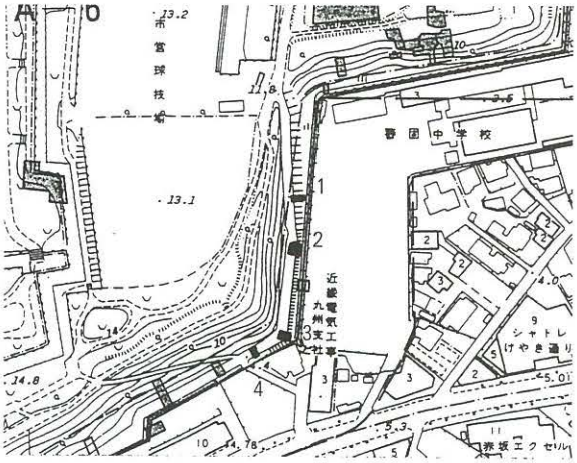
所 在 地　中央区城内1-2
調査原因　公園整備
調査期間　2001.1.20～1.31
調査面積　87㎡
担 当 者　井澤洋一
処　　置　盛土保存

位置と環境　福岡城は、鶴翼状に広がる博多湾の海岸線の中央にあたり、博多湾に向かって北に延びた舌状丘陵の先端部に立地する。試掘調査は、舞鶴城跡公園の南側、赤坂方面の入口に通じる園路再整備に伴って実施したもので、調査地点は福岡城二の丸の南東部に位置する。この園路は、東西方向の土塁の堀側袖部を切って設けられている。

検出遺構　試掘調査は、堀内側の腰巻石垣の検出を目的とするもので、園路に沿って4ヵ所のトレンチを設定した。調査の結果、第1・2トレンチ内において、腰巻石垣の一部を検出した。第2トレンチで発見した石垣は、3段ほど遺存しており、上部の一部は撤去されていた。現存の高さは約70cmを測る。腰巻石垣に用いた石材は玄武岩で、長さ約80cm大の扁平な自然石である。石垣の法面は約83度の傾斜をもつ。この石垣の前面には転用した石材を敷きつめて犬走り的な段を形成している。第2トレンチでは石垣が抜かれており、発見した石垣の長さは約150cmに過ぎない。

出土遺物　トレンチ内より陶磁器、瓦、獣骨などが出土した。

まとめ　福岡城内の石垣は、堀に面した部分を土塁とし、二の丸・本丸は高石垣を築くなど、独特な構造であることで知られている。明治通りの堀に面した土塁の下部については、下部を腰巻石垣とし、上部を土塁とする構造となっている。三の丸・二の丸の南側堀は、現在埋め立てられており、従来の試掘調査では、堀内側の腰巻石垣の存在について否定的な結果が出ていたが、今回の調査によって城外郭の堀に面した土塁の下部に腰巻石垣が巡らされていることが明確となった。



1. 調査地点の位置（60 舞鶴　0193　1：4000）

2. 第2トレンチ石垣

3. 第2トレンチ石垣

0061 麦野A遺跡群第10次調査（MGA－10）

所 在 地　博多区麦野５丁目2-33
調査原因　共同住宅建設
調査期間　2001.1.17～3.17
調査面積　404.6㎡
担 当 者　中村啓太郎
処　　置　記録保存

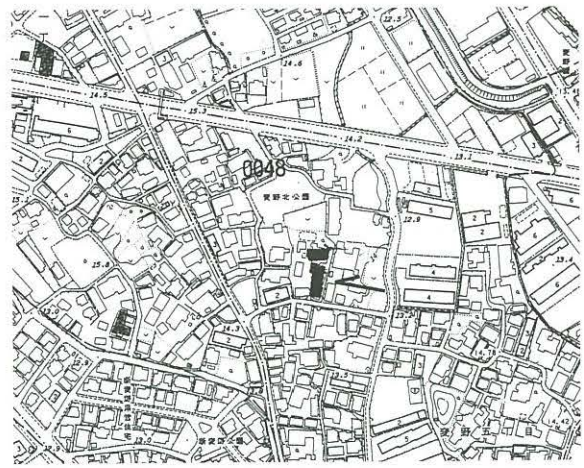
位置と環境　麦野A遺跡は、御笠川西側の南北に延びた台地上に立地する。本調査地点は遺跡群の中央部、標高約15mの地点に位置する。計画建物の配置から調査地点は２地点に分かれる。

検出遺構　現地表から10～50㎝程掘下げたところで遺構面である鳥栖ロームとなる。削平、撹乱により遺構の残りは悪いが、検出した遺構は古代の竪穴住居１軒、掘立柱建物１棟、溝、中世～近世の掘立柱建物１棟、井戸、溝、土坑、ピット等である。竪穴住居はほとんど床面での検出で、角に竈を付設する。

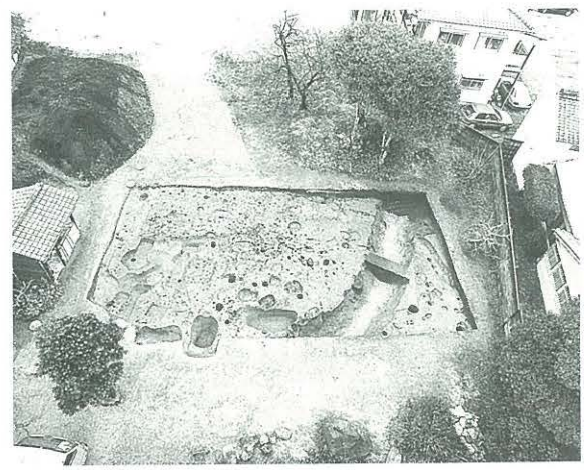
出土遺物　井戸、溝からの出土を中心に土師器、須恵器、輸入陶磁器類、陶器等コンテナ７箱分申出土した。

まとめ　北隣する第７次調査では柵列、溝による公的施設の存在を窺わせたが、本調査地点において関連遺構は確認されず、集落的様相を示した。

報告書は2001年度刊行予定である。



1. 調査地点の位置（12 麦野　0048　1：8000）



2. 第１地点全景（南から）

3. 竪穴住居跡（西から）

0062 博多遺跡群第129次調査（HKT－129）

所在地　博多区古門戸町39・40
調査原因　社屋ビル建設
調査期間　2000.6.12～2001.3.28
調査面積　160㎡
担当者　久住猛雄・阿部泰之
処置　記録保存

位置と環境　調査地は、博多遺跡群北半である息ノ濱砂丘の西側中央部に位置する。現地表の標高は5.0～5.2m前後を測る。室町時代に日明貿易の拠点となった妙楽寺の故地の南側に隣接する。

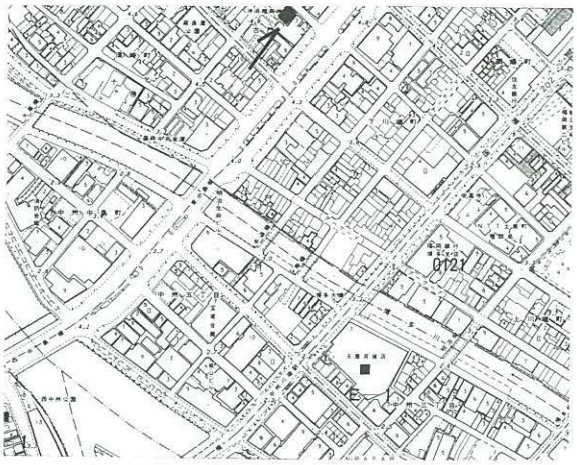
検出遺構　現地表下1.5～1.6mまでは工事業者による鋤取りが行なわれ、以下を人力掘削による調査とした。鋤取り面以下60～80cmまでは近世中期から中世末期の包含層で、明確な遺構面を検出できず、これら包含層を除去した標高2.5～2.7mで褐灰色砂質土の遺構面を認めた（第１面）。

第１面の遺構は、出土遺物から13～14世紀が主体であるが、一部12世紀後半頃を含む。遺構密度はきわめて濃密で、土坑45、溝状遺構３、大小多数の柱穴（150以上）を検出した。調査区中央に、略南北の溝（SD1001）があり、13～14世紀の町割の一端を示すか。第２面は、標高2.2m前後の淡黄褐色砂層（地山砂丘）に設定した。遺構密度は薄くなるが、柱穴は多い。一部に遺物出土はあるが不明瞭な覆土のものを含む。土坑20、井戸１、整地層状遺構、多数の柱穴（110以上）がある。第２面の遺構の年代は、糸切り底以外にヘラ切り底土師器も含み、11世紀末～12世紀中頃が考えられる。

出土遺物　出土遺物は、パンケース中箱で40箱前後の総量である。中世から近世までの輸入陶磁器、国産陶磁器、土師器（杯・皿）、瓦質土器、土師質土器（鍋・鉢）、瓦器、瓦、鉄製品、銅銭、獣骨（鯨・イルカ類が目立つ）がある。

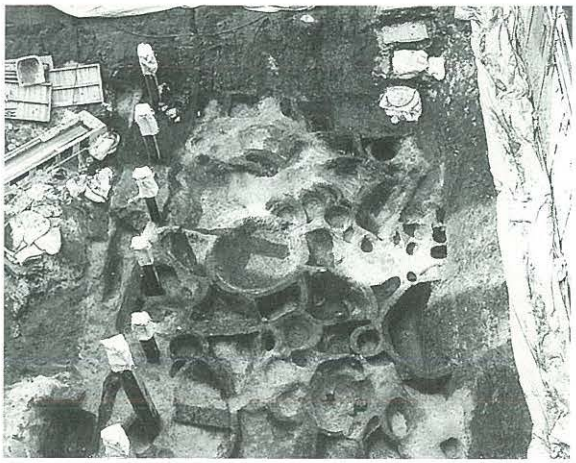
まとめ　本調査では、息ノ濱の街場が隆盛化しはじめる13～14世紀の濃密な遺構を検出し、さらに息ノ濱では少ない11世紀後半から12世紀の遺構を検出し、中世都市「博多」の展開を考える上での重要な成果を得た。

報告書は2002年度刊行予定である。



1. 調査地点の位置（49 天神　0121　1：8000）

2. 調査区東半（１区）第１面全景（北から）



3. 調査区西半（２区）第１面全景（南から）

0063 原東遺跡群第２次調査（HRH－２）

所 在 地　早良区飯倉４丁目252-1
調査原因　分乗宅地造成
調査期間　2001.2.13～3.13
調査面積　378㎡
担 当 者　蔵富士　寛
処　　置　記録保存

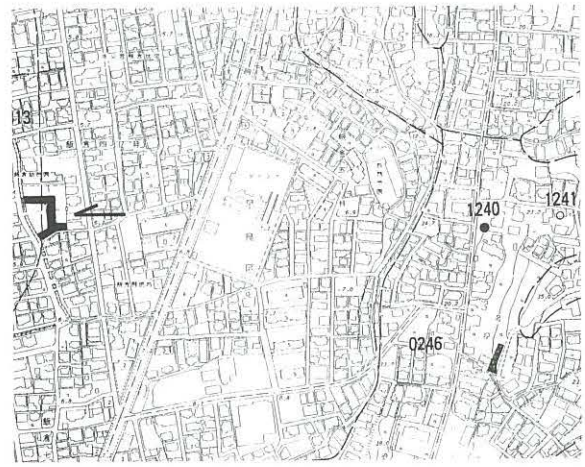
位置と環境　原東遺跡は、室見川中流の東岸に位置し、西側には原遺跡群、東側には飯倉遺跡群が存在する。

検出遺構　検出した遺構は、溝、甕棺墓、土坑、ピット群である。溝は弥生時代前期に位置付けられる環濠の一部である。現状で、幅２ｍ、深さ1.3ｍを測る。溝底部からは、数多くの礫が認められた。環濠は一部途切れており、陸橋状の高まりをみることができる。その陸橋部分は幅0.6ｍ程で、ごく狭い。溝は東側に向かってわずかに弧を描いており、環濠の東側が集落部分に相当する可能性が高い。甕棺墓は弥生時代中期後半のもので、合計７基検出された。その内の２基は切り合いを持つ。土坑は平面長方形を呈し、最も大きいものでは、長さ３ｍ、幅２ｍを測る。遺構の遺存状況は悪く、深さは10～20㎝程しかない。その形状から、おそらく貯蔵穴であると考えられる。出土遺物は少ない。ピット群は、柱痕跡を残すものが多い。出土遺物は少なく、その時期は不明だが、特に陸橋部分に集中しており、これらピット群は環濠との関連で把握されるべきものかもしれない。

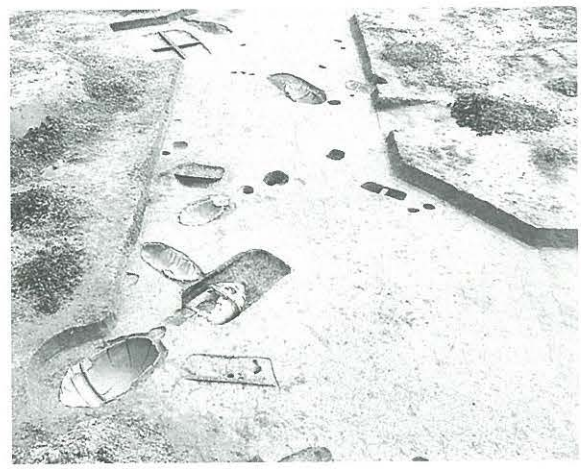
出土遺物　遺物は、コンテナで40箱ほど出土している。環濠出土の弥生土器、そして甕棺がその大半を占める。

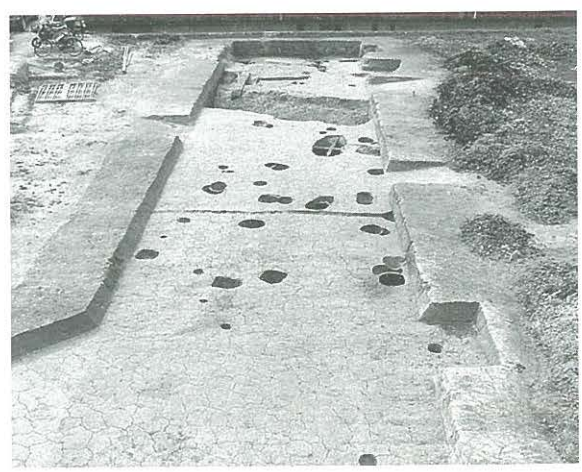
まとめ　原東遺跡群は過去、調査次数が少なく、その有様も不明な部分が多かった。今次調査で、弥生時代の集落(環濠)、墓地を検出したことは、今後の調査につながるものといえる。特に、環濠の広がり、そして内側の状況を確認することは、これからの課題といえよう。

報告書は2001年度に刊行予定である。



1. 調査地点の位置（73 蒲田　0313　1：8000）


2. 調査区全景(1)　(東から)


3. 調査区全景(2)　(北から)

0064 福岡城跡第46次調査（FUE－46）

所　在　地　中央区大名２丁目438・443・444-2　　調査面積　166㎡
調査原因　商業ビル建設・駐車場電備　　担　当　者　横山邦継・常松幹雄
調査期間　2001.3.2～3.20　　処　　置　記録保存

位置と環境　調査地は、福岡城の城郭東端より薬院新川にいたる幅100～60mの堀のうち、西側の赤坂門から薬院門までの間にあたる『中堀』の北岸の屈曲部に 位置する。

検出遺構　中堀は、築城時は素掘りの堀であったが、文化９年(1812)とその翌年にかけて石垣に改修されたという記録が残る。

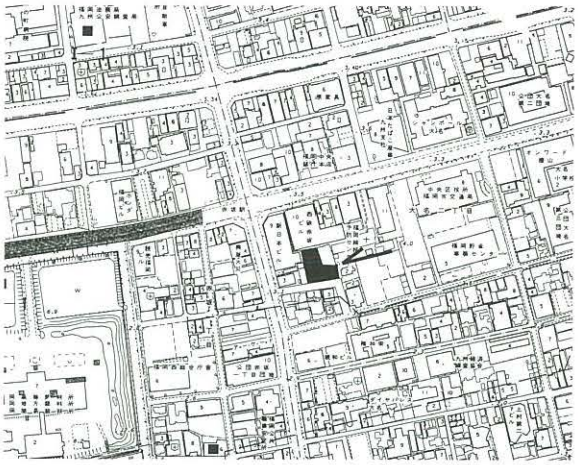
中堀北側ラインの石垣屈曲部で、東西・南北の各延長が9.4mの部分にあたり、上部には砂岩切石を使用した後世の積み足しの石垣が２～３段残る。

出土遺物　有田産染付磁器、近世瓦当類などパンケース３箱。

まとめ　今回調査で検出できた中堀は、赤坂門から東に延びる堀石垣が南側へ屈曲する部分で、東西・南北ともに9.4mを確認することができた。また、東西の堀石垣を基準にすると南北の石垣は約105度開いており、絵図にみる形状とほぼ同一である。

石垣の構造は、幅１mほどの緩い掘り方の前面に松材と考えられる丸太を一列に敷き、前面を杭止めした後、やや大振りの玄武岩礫を敷きこの上に角礫を２段に積んでいる。さらに４段目の天端には比較的扁平に加工した角礫を化粧石として積んでいる。基底部からの高さはほぼ１m程度で、胴木の材が殆ど腐食していない点から最下部の石材付近までは常時湿潤な環境にあったと推定することができよう。

調査報告書は2002年度以降に刊行予定である。



1. 調査地点の位置（60 舞鶴　0193　1：8000）

2. 中掘石垣全景（南西から）

3. 石垣構築状況細部（西から）

0065 比恵遺跡群第73次調査（HIE－73）

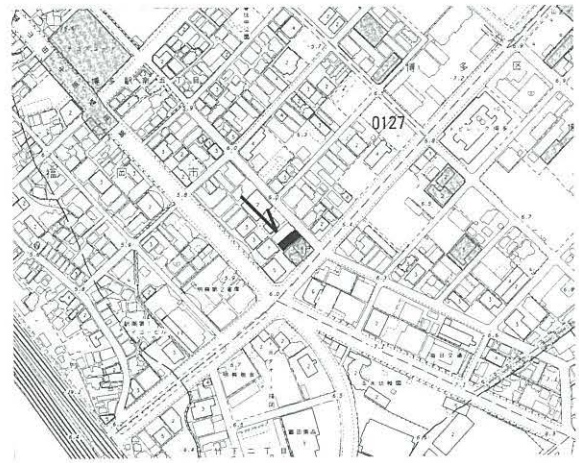
所 在 地　博多区博多駅南５丁目39-1
調査原因　駐車場建設
調査期間　2001.3.01～3.8
調査面積　100㎡
担 当 者　井上繭子
処　　置　記録保存

位置と環境　比恵遺跡群は、福岡平野を北流する御笠川と那珂川に挟まれた中位段丘上に立地する。本調査区は比恵遺跡群の南に位置し、遺構面は現地表下約1.3～２m、標高約4.1～4.8mで検出された。

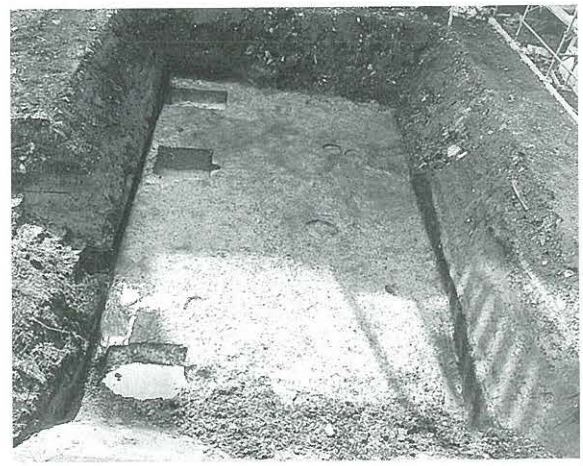
検出遺構　本調査区は、弥生時代の溝、井戸、古代以降の溝が検出された第23次調査地点の北側に位置する。遺構はピットが５個検出された。遺構面は八女粘土層であり、その上層には遺物を含む黒褐色粘質土層が堆積している。遺物はほとんど出土していない。

ま と め　遺構面である八女粘土層は、南西から北東へ向かって低く傾斜しており、台地の落ち際に近いと推定される。第23次調査地点で検出された溝は本調査区の東側に伸びていくのであろう。

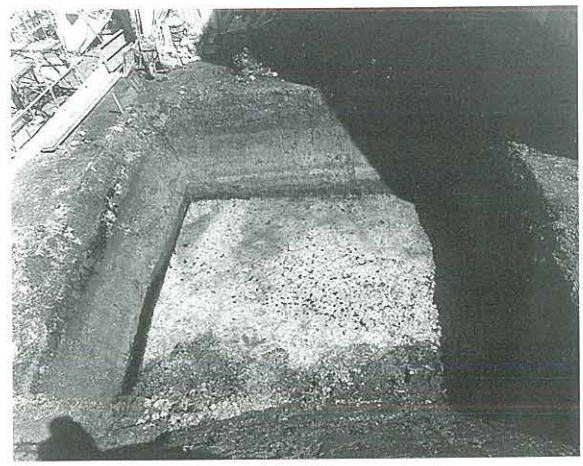
調査報告書は2002年度以降に刊行予定である。



1. 調査地点の位置（37 東光寺　0127　1：8000）



2. 調査区南西側全景（北東から）



3. 調査区北東側全景（南西から）

0066 西新町遺跡第13次調査（NSJ－13）

所 在 地　早良区西新６丁目１-10
調査原因　学校施設改築
調査期間　2000.7.3～2001.2.16
調査面積　2043.9㎡
担 当 者　福岡県教育委員会
吉田東明・宮地聡一郎・平尾和久
処　　置　記録保存

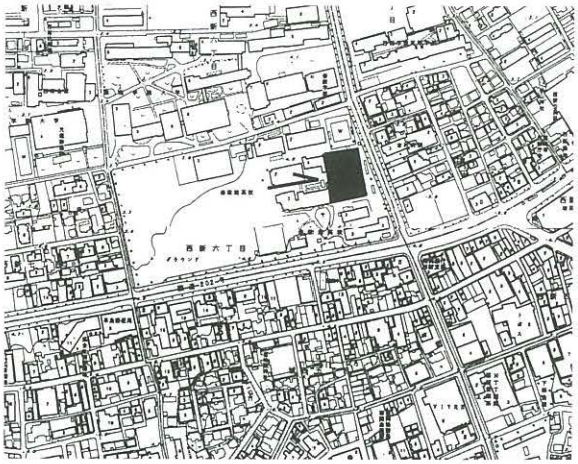
位置と環境　西新町遺跡は早良平野の東北端、博多湾に面した古砂丘上に立地する。平成10年度より遺跡東部に位置する福岡県立修猷館高校の校舎改築が実施されており、福岡県教育委員会文化財保護課が事前発掘調査を行っている。平成12年度は第２期工事予定地の調査を行った。これは第12次調査区の東隣に当たる。遺構面は現地表下１m、標高約３mを測る。

検出遺構　検出した主な遺構は、古墳時代前期の竪穴住居跡、土坑、近世土坑等で前回の調査とほぼ同様。但し攪乱が著しく良好な遺存状態のものは少ない。竪穴住居跡は86棟を数える。これらの竪穴住居跡にはカマドを付設する例が少なからず見られ、またカマドの形状は一系的ではない。カマドの対面に粘土塊を設置する例も数例見られる。

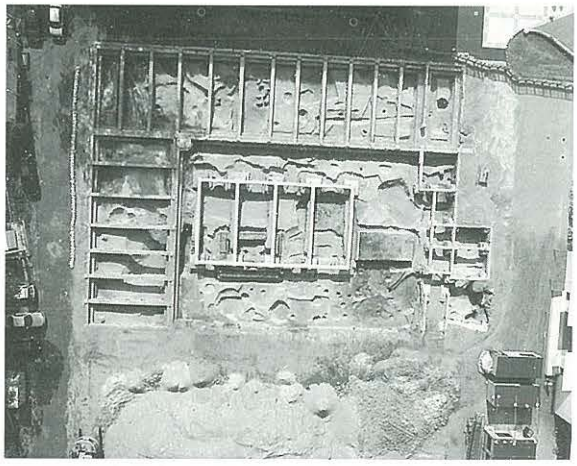
出土遺物　遺物はコンテナ数で約250箱が出土した。古墳時代の遺物には土師器、半島系土器、金属器、石製品、土製品等がある。近世の遺物には陶磁器、窯道具、金属器等がある。

まとめ　今回の調査区は第12次調査区とともに古墳時代前期集落の中心域となることが確認できた。カマドの設置や半島系土器の出土は朝鮮半島との関係を物語るものであり、今後は更に詳細な縁地同定作業が必要である。玉原石や玉砥石、ガラス玉鋳型の出土は本格的な玉生産を想定させる。その他漁労具も相当数出土しており、生業体系の把握に多角的視座からの検討が図られなければならない。近世高取窯については未だ不明な点が多く、文献からの追求も含めた総合的解明が必要とされる。

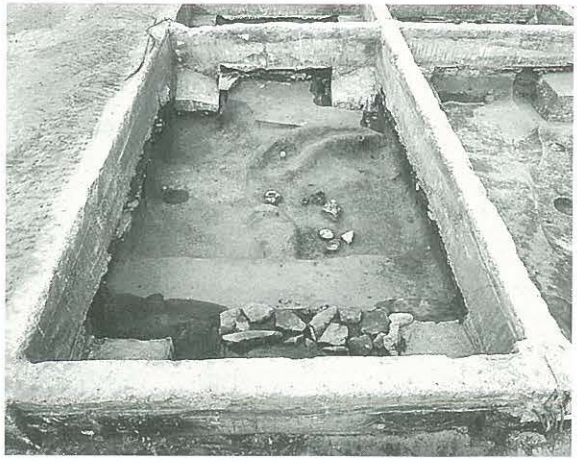
調査報告書は2002・2003年度に刊行予定。



1. 調査地点の位置（71 西新　72 荒江　0240　1：8000）



2. 調査区南半全景（北から）

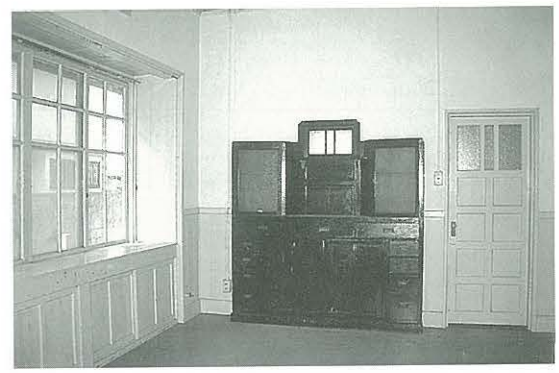


3. 71号竪穴住居跡（南から）

Ⅲ．平成12年度の新指定文化財

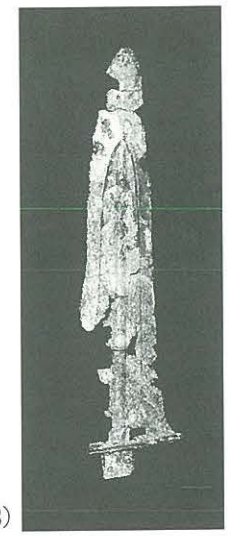
平成12年度に新たに指定を受けた文化財は以下の８件である。指定年月日は、いずれも平成13年３月12日である。

１．指定区分　市指定
　指定種類　有形文化財・建造物
　名　　称　九州大学西新外国人教師宿舎第３号棟
　員　　数　１棟
　所 在 地　福岡市早良区西新２丁目16番
　所有者(管理者)　九州大学


(1)

２．指定区分　市指定
　指定種類　有形文化財・彫刻
　名　　称　木造十六羅漢像（附　石膏型）
　員　　数　16躯
　所 在 地　福岡市博多区御供所町６番１号
　所有者(管理者)　宗教法人聖福寺　代表役員細川日峰

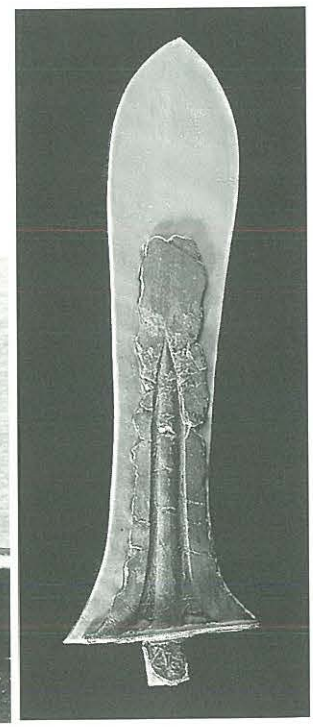
(2)


(3)

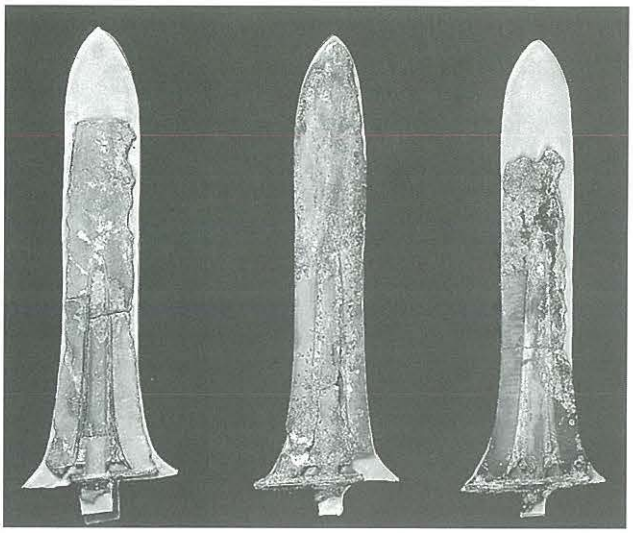
３．指定区分　市指定
　指定種類　有形文化財・考古学資料
　名　　称　銅戈（有田遺跡出土）
　員　　数　１口
　所 在 地　福岡市早良区百道浜３丁目１番１号
　所有者(管理者)　福岡市（福岡市博物館）
　〔文献〕福岡市教育委員会
　　「福岡市歴史資料館年報No. 5」1976
　　「有田遺跡－福岡市有田古代集落遺跡代２次調査－」1968

４．指定区分　市指定
　指定種類　有形文化財・考古学資料
　名　　称　銅戈（西入部白塔出土）
　員　　数　１口
　所 在 地　福岡市早良区百道浜３丁目１番１号
　所有者(管理者)　福岡市（福岡市博物館）
　〔文献〕福岡市教育委員会
　　「福岡市歴史資料館年報No. 3」1974

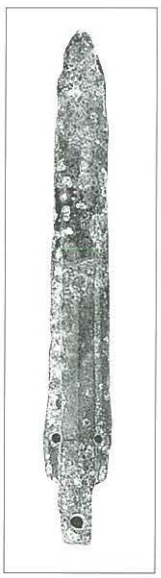
(4)



5．指定区分　市指定
指定種類　有形文化財・考古資料
名　称　銅戈（下山門敷町遺跡出土）
員　数　3口
所 在 地　福岡市博多区井相田2丁目1番94号
所有者(管理者)　福岡市（福岡市埋蔵文化財センター）
〔文献〕福岡市歴史資料館
「福岡平野の歴史」1977
「早良王墓とその時代」1986

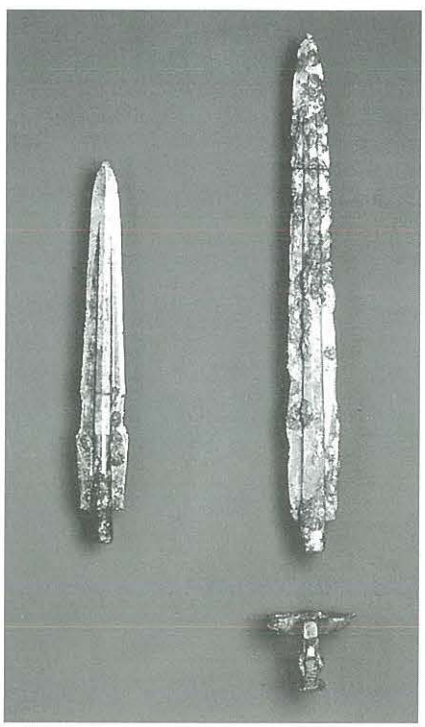

(5)

6．指定区分　市指定
指定種類　有形文化財・考古資料
名　称　今宿遺跡出土品（第2次調査）
員　数　2点
所 在 地　福岡市博多区井相田2丁目1番94号
所有者(管理者)　福岡市（福岡市埋蔵文化財センター）
〔文献〕福岡市教育委員会
「今山・今宿遺跡」福岡市埋蔵文化財調査報告書
第75集　1981


(6)

(7)

7．指定区分
指定種類　有形文化財・考古資料
名　称　比恵遺跡出土品（第6次調査）
員　数　3点
所 在 地　福岡市博多区井相田2丁目1番94号
所有者(管理者)　福岡市（福岡市埋蔵文化財センター）
〔文献〕福岡市教育委員会
「比恵遺跡第6次調査・遺構編」第94集　1983
「比恵遺跡第6次調査・遺物編」第130集　1986



8．指定区分　市指定
指定種類　有形文化財・考古資料
名　称　野方久保遺跡出土品（第2次調査）
員　数　10点
所 在 地　福岡市博多区井相田2丁目1番94号
所有者(管理者)　福岡市（福岡市埋蔵文化財センター）
〔文献〕福岡市歴史資料館
「早良王墓とその時代」1986

(8)

福岡市指定文化財一覧

平成13年3月30日現在

区分	有形文化財		無形文化財		有形民俗文化財		無形民俗文化		記念物		総数	
	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数
国指定	77	770	9	9	0	0	1	1	15	15	102	795
県指定	63	4948	5	9	16	108	8	8	8	8	100	5081
市指定	89	2453	3	3	8	216	12	12	15	18	127	2702
総数	229	8171	17	21	24	324	21	21	38	41	329	8578

福岡市指定文化財一覧

区分	史跡名称	所在地	指定年月日	指定面積	時代
国1	丸隈山古墳	西区周船寺	昭和3年2月7日	3,354.88㎡	古墳時代
国2	元冠防塁	東区筥松	追加指定 昭和63年3月15日	1,547.37㎡	鎌倉時代
	a 地蔵松原	中央区地行	昭和6年3月30日	165,104.00㎡	
	b 地行	早良区西新	追加指定 昭和56年3月16日	43,908.00㎡	
	c 西新	早良区百道			
	d 百道	西区小戸			
	e 脇	西区小戸			
	f 向浜	西区姪浜			
	g 生の松原(姪浜)	西区生の松原			
	h 生の松原	西区青木			
	i 青木	西区横浜			
	j 横浜	西区今津、長浜			
	k 今津				
国3	福岡城跡	中央区城内	昭和32年8月29日	479,384.00㎡	江戸時代
			追加指定 昭和57年10日14日	3,112.00㎡	
国4	大塚古墳	西区今宿	昭和42年12月15日	8,098.73㎡	古墳時代
国5	聖福寺境内	博多区御供所町	昭和44年11月7日	78,392.38㎡	鎌倉時代
国6	金隈遺跡	博多区金隈	昭和47年5月17日	12,227.00㎡	弥生時代
国7	野方遺跡	西区野方	昭和57年6月27日	21,166.00㎡	弥生時代
国8	板付遺跡	博多区板付	昭和51年6月21日	27,796.44㎡	弥生時代
			追加指定 平成12年3月16日	1,409.41㎡	
国9	今山遺跡	西区横浜	平成5年11月12日	79,401.66㎡	弥生時代
国10	吉武高木遺跡	西区吉武	平成6年10月4日	24,988.00㎡	弥生時代
			追加指定 平成12年9月6日・21日	17,040.91㎡	
国11	老司古墳	南区老司4丁目57	平成12年12月20日	7113.19㎡	古墳時代
県1	枯野塚 附 哺川墓、句碑、寄附碑	東区馬出	昭和31年7月28日	27.39㎡	江戸時代
県2	比恵環溝住居遺跡	博多区駅南	昭和35年1月12日	615.50㎡	弥生時代
県3	亀井(南冥・昭陽)家の墓	中央区地行	昭和38年5月4日		江戸時代
県4	宮崎安貞墓 附宮崎安自書斎1棟	西区周船寺	昭和40年4月6日		江戸時代
県5	元岡瓜尾貝塚	西区元岡	昭和43年2月3日	180.00㎡	縄文時代
市1	東光院境内	博多区吉塚	昭和49年8月12日	5,506.00㎡	江戸時代
市2	平尾山荘	中央区平尾	昭和49年8月12日	3,701.00㎡	江戸時代
市3	今里不動古墳	博多区金隈	昭和62年3月30日		古墳時代
市4	夫婦塚2号墳	西区金武	平成1年3月30日	634.00㎡	古墳時代
市5	能古焼古窯跡	西区能古	平成2年3月29日	1,946.00㎡	江戸時代
市6	梅林古墳	城南区梅林	平成3年3月30日	818.50㎡	古墳時代
市7	那珂八幡古墳	博多区那珂	平成4年3月23日	3,765.81㎡	古墳時代
市8	草場古墳群(古墳4基)	西区下山門	平成4年3月23日	1,465.00㎡	古墳時代
市9	那珂遺跡	博多区那珂	平成5年3月25日	592.00㎡	弥生時代
市10	若八幡古墳	西区徳永	平成5年3月25日	17,118.00㎡	古墳時代
市11	福岡藩主栗田家墓所	博多区御供所	平成7年3月30日	1,600.00㎡	江戸時代
市12	福岡藩主黒田家墓所	博多区千代	平成8年3月25日	4,234.00㎡	江戸時代
市13	山の鼻1号古墳	西区徳永	平成8年3月25日	8,367.00㎡	古墳時代

平成12年度刊行　福岡市埋蔵文化財発掘調査報告書一覧

集	報告書名	掲載遺跡調査番号
660	梅林遺跡第２次調査 一般国道202号線福岡外環状道路及び福岡市営地下鉄３号線建設に伴う発掘調査２	9842
661	羽根戸南古墳群第３次調査 前方後円墳３其を含む４世紀～７世紀の古墳群の報告－本文編・図版編－	9744
662	福岡外環状道路関係埋蔵文化財調査報告10 福岡市博多区諸岡所在笹原遺跡群第３次調査　板付所在三築遺跡群第３次調査	9838・9937
663	比恵29　比恵遺跡群第72次調査概要	0009
664	箱崎10　箱崎遺跡第18次・第19次調査報告	9921・9930
665	吉塚７　吉塚遺跡群第７次調査の概要	9908
666	博多75　博多遺跡群第118次調査の概要	9927
667	博多76　博多遺跡群117次調査の概要	9919
668	博多77　博多遺跡群第116次・119次調査概要	9917
669	博多78　博多遺跡群第121次発掘調査報告	9960
670	博多79　博多遺跡群第123次調査報告	9970
671	比恵30　比恵遺跡群第69・70・71次発掘調査報告	9925・9942・9955
672	那珂27　那珂遺跡群67次調査の概要	9858
673	那珂27　那珂遺跡群70・74次発掘調査報告	9906
674	那珂29　那珂遺跡群第72次調査・三筑遺跡第４次調査報告	9935・9944
675	吉武遺跡群XⅢ —第Ⅰ・Ⅱ次調査の縄文時代・古墳時代から平安時代の調査報告— 飯盛・吉武圃場整備事業関係調査報告６	8102・8234 8235・8335・8415・8416 8426・8518・8535・8650 8662・8714・8752・8838
676	高畑遺跡17次　外環状道路関係埋蔵文化財調査報告11	9833
677	雀居遺跡６　雀居ムラのガイド・データーブック	9241・9317
678	井尻Ｂ遺跡９　第９・10次遺跡調査報告	9745・9758
679	中南部（6） 桧原遺跡群第５次調査、曰佐遺跡群第２次調査、警弥郷Ｂ遺跡群第４次調査報告	9943・9957・9944
680	板付周辺遺跡調査報告書第22集	7716
681	片江Ｂ遺跡　片江Ｂ遺跡群第２次調査報告書	8612
682	樋井川Ａ遺跡　樋井川Ａ遺跡第１次調査報告	9664
683	西新町遺跡７　西新町遺跡第10次調査報告	9533
684	有田・小田部第36集	8655・9132・9527
685	入部XI　東入部遺跡群第２次調査報告（3）	9165
686	松木田遺跡群２　第３次調査下層（縄文時代早期）遺物編	9641
687	中山遺跡　内野圃場整備地内埋蔵文化財調査報告書	9920
688	原遺跡10　原遺跡群第20次調査	9928
689	神松寺遺跡２　拾六町平田遺跡３　大林遺跡１	9968・9959・9977
690	卯内尺古墳	9118
691	野方久保遺跡	9909
692	周船寺遺跡群４	9956
693	九州大学統合移転用地内埋蔵文化財発掘調査概報１　元岡・桑原遺跡群発掘調査	
694	国史跡　元寇防塁（生の松原地区）復元修理報告書	9817
695	鴻臚館跡11　平成11年度発掘調査報告	9910
○	福岡市埋蔵文化財年報VOL.14　平成11（1999）年度版	

平成12年度調査　遺跡索引（アイウエオ順）

	調査番号	頁
【ア行】		
有田遺跡群第197次	0013	31
有田遺跡群第198次	0020	38
有田遺跡群第199次	0036	55
有田遺跡群第200次	0038	57
飯倉Ｃ遺跡第６次	0046	64
井尻Ｂ遺跡群第16次	0004	22
井尻Ｂ遺跡群第17次	0027	45
井尻Ｂ遺跡群第18次	0028	46
井尻Ｂ遺跡群第19次	0043	62
井相田Ｄ遺跡第３次	0037	56
板付遺跡第67次	0051	69
今宿五郎江遺跡第５次	0055	73
曰佐遺跡群第３次	0011	29
【カ行】		
笠抜遺跡第１次	0021	39
笠抜遺跡第２次	0025	39
桑原飛櫛貝塚第２次	0049	67
久保園遺跡第２次	0017	35
鴻臚館跡（福岡城跡第44次）	0008	26
元寇防塁（地蔵松原地区）第９次	0035	52～54
【サ行】		
椎原Ｂ遺跡第１次	0056	74
下月隈Ｃ遺跡群第６次	0018	36
下月隈鳥越遺跡第３次	0054	72
城の原遺跡群第１次	0024	42～43
【タ行】		
田島Ａ遺跡第３次	0010	28
田島Ａ遺跡第４次	0029	47
田島Ａ遺跡第５次	0032	47
田島Ａ遺跡第６次	0044	47
寺島遺跡第１次	0012	30
【ナ行】		
那珂遺跡群第76次	0016	34
那珂遺跡群第77次	0045	63
那珂遺跡群第78次	0048	66
那珂遺跡群第79次	0057	75
七隈古墳群Ｃ群第１号墳	0007	25
西新町遺跡第13次	0066	85
野方平原遺跡第２次	0003	21
野芥遺跡第10次	0039	58
野多目Ａ遺跡群第７次	0014	32
【ハ行】		
博多遺跡群第124次	0006	24
博多遺跡群第125次	0023	41
博多遺跡群第126次	0030	48
博多遺跡群第127次	0053	71
博多遺跡群第128次	0058	76
博多遺跡群第129次	0062	81
箱崎遺跡第22次	0022	40
箱崎遺跡第23次	0041	60
箱崎遺跡第24次	0047	65
原遺跡群第21次	0059	77～78
原東遺跡第２次	0063	82
比恵遺跡群第72次	0009	27
比恵遺跡群第73次	0065	84
福岡城跡第44次（鴻臚館跡）	0008	26
福岡城跡（三の丸）第45次	0060	79
福岡城跡（中堀）第46次	0064	83
【マ行】		
三苫遺跡群第５次	0015	33
南八幡遺跡第10次	0040	59
麦野Ａ遺跡第８次	0005	23
麦野Ａ遺跡第９次	0031	49
麦野Ａ遺跡第10次	0061	80
席田青木遺跡群第４次	0026	44
元岡・桑原遺跡群第20次	0001	19
元岡・桑原遺跡群第21次	0002	20
元岡・桑原遺跡群第22次	0033	50
元岡・桑原遺跡群第23次	0019	37
元岡・桑原遺跡群第24次	0034	51
元岡・桑原遺跡群第25次	0052	70
【ラ行】		
立花寺遺跡第５次	0050	68
老司Ｂ遺跡第１次	0042	61

福岡市埋蔵文化財年報
VOL.15
平成12（2000）年度版

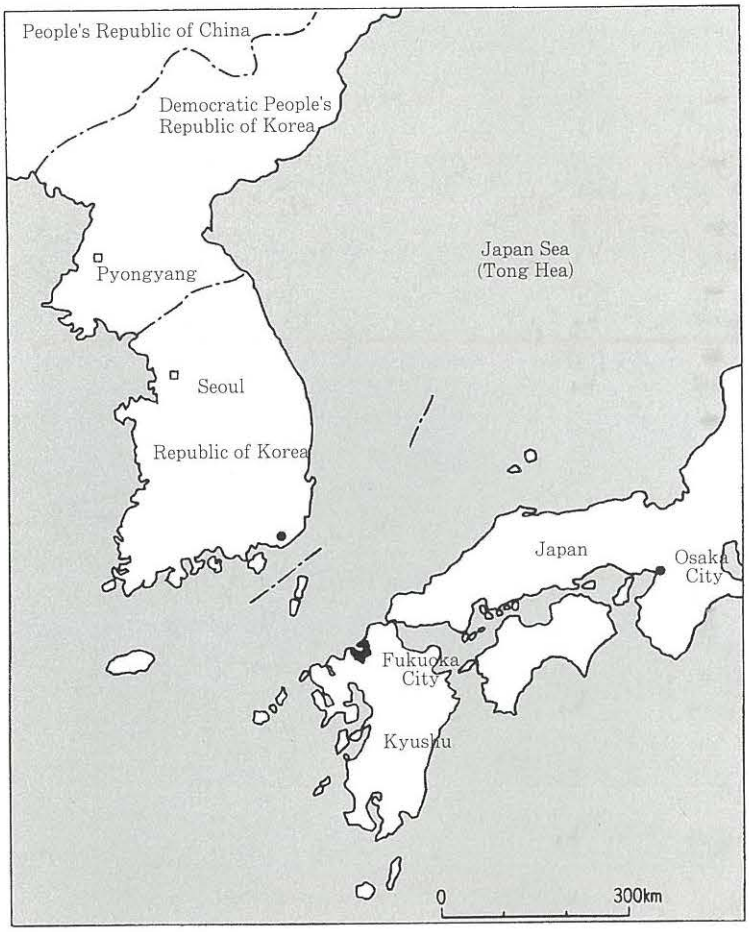
発　行　日　　平成14年３月28日
編集・発行　　福岡市教育委員会
埋蔵文化財課
福岡市中央区天神１丁目8-1
TEL　092－711－4667
印　　刷　　Ｐ＆Ｄビジネス株式会社
福岡市東区松島４丁目６番8号
ＴＥＬ　092－621－1130

THE ANNUAL REPORT

OF

THE BURIED CULTURAL RELICS OF FUKUOKA CITY

VOLUME 15



THE BOARDS OF EDUCATION OF FUKUOKA CITY

MARCH 2002

JAPAN